

# 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 調査結果報告書

平成29年7月

飯塚市

## < 目 次 >

<b>第1章 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1. 調査の目的 .....	1
2. 調査設計及び回収結果 .....	1
3. 調査結果の見方 .....	1
4. 回答者の基本属性 .....	2
(1) 回答者の性別 .....	2
(2) 年齢構成 .....	2
(3) 居住地区 .....	2
(4) 家族構成 .....	3
(5) 介護の必要度 .....	3
(6) 介護・介助が必要な主な原因 .....	3
(7) 主な介護・介助（希望）者 .....	4
(8) 経済状況 .....	4
(9) 居住形態 .....	4
<b>第2章 調査結果</b> .....	<b>5</b>
1. からだを動かすことについて .....	5
(1) 運動器 .....	5
(2) 転倒 .....	7
(3) 閉じこもり .....	9
2. 食べることについて .....	16
(1) 低栄養 .....	16
(2) 口腔機能 .....	17
(3) 口腔ケア・口腔の健康状態 .....	21
(4) 孤食 .....	25

3. 毎日の生活について	26
(1) 認知機能	26
(2) 手段的自立度 (IADL)	29
(3) 知的能動性	32
(4) 他社との関わり	36
(5) 趣味・生きがい	40
(6) 現在暮らしている地域に足りないもの	42
4. 地域での活動について	43
(1) 地域活動や趣味活動について	43
(2) 地域づくりについて	45
5. たすけあいについて	47
(1) たすけあいの状況	47
(2) 相談経路	48
(3) 友人関係	49
(4) 地域で支援してほしいこと・できること	52
6. 健康について	54
(1) 健康について	54
(2) うつ	57
(3) 飲酒	58
(4) 喫煙	59
(5) 疾病の状況	60
(6) かかりつけの医師・歯科医師がいるか	62
7. 終末期について	63
(1) 終末期について	63
8. 今後の介護希望について	66
(1) 今後の介護希望について	66
<b>第3章 調査票</b>	<b>68</b>



## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

本調査は、高齢者の生活状況や健康状態、地域とのつながりなどについて把握し、地域の高齢者を取り巻く課題に即した今後の介護・高齢者保健福祉施策に反映させるとともに、第7期飯塚市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定するための基礎資料とする。

### 2. 調査設計及び回収結果

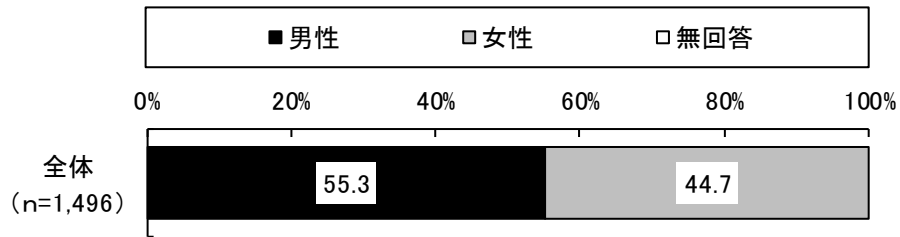
調査対象と 標本数	要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者：2,100人（無作為抽出）
調査方法	郵送配布－郵送回収
有効回収数 (率)	1,496人（71.2%）
調査期間	平成29年5月2日～5月31日

### 3. 調査結果の見方

- 回答は、原則として各質問の調査数を基数（n）とした百分率（%）で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- クロス集計の表側に使用している「性・年齢別」「居住地区別」等の基本属性では、副問（サブクエスチョン）等の回答者が限定される質問もあるため、図表中の表側項目の調査数を合計しても、必ずしも調査の有効回収数にならない場合がある。
- クロス集計等において、基数（n）となる調査数が少数となる場合は参考までに数値を見る程度に留め、結果の利用には注意を要する。
- 本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「第3章 調査票」を参照のこと。

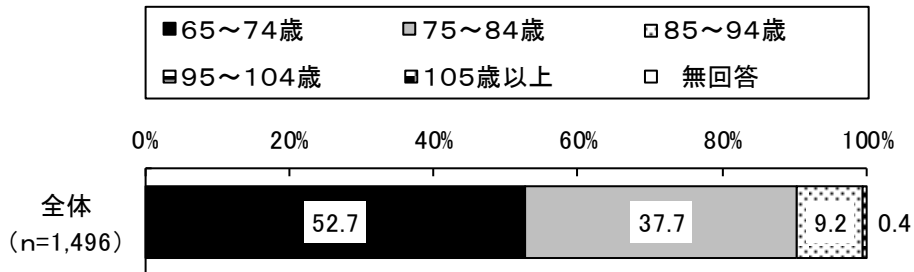
## 4. 回答者の基本属性

### (1) 回答者の性別



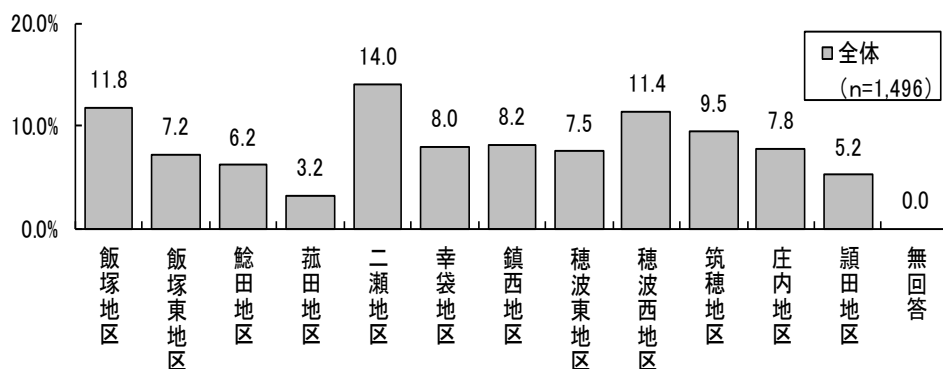
■回答者の性別は、男性が55.3%、女性が44.7%と男性の割合が高い。

### (2) 年齢構成



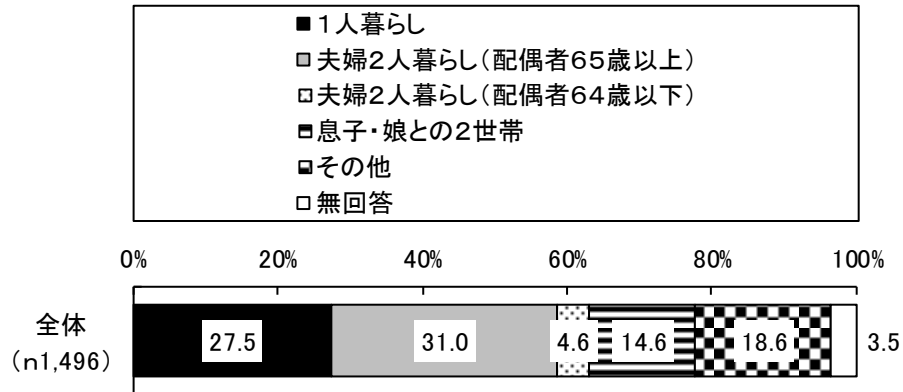
■回答者の年齢構成は、「65～74歳」(52.7%)が最も高く、「75～84歳」「85～94歳」がそれぞれ37.7%、9.2%で続いている。

### (3) 居住地区



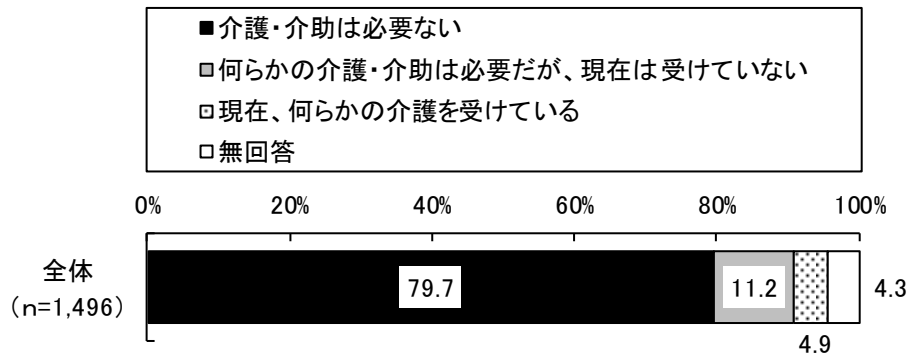
■回答者の居住地区は、「二瀬地区」(14.0%)が最も高く、次いで「飯塚地区」(11.8%)、「穂波西地区」(11.4%)、「筑穂地区」(9.5%)と続く。

(4) 家族構成



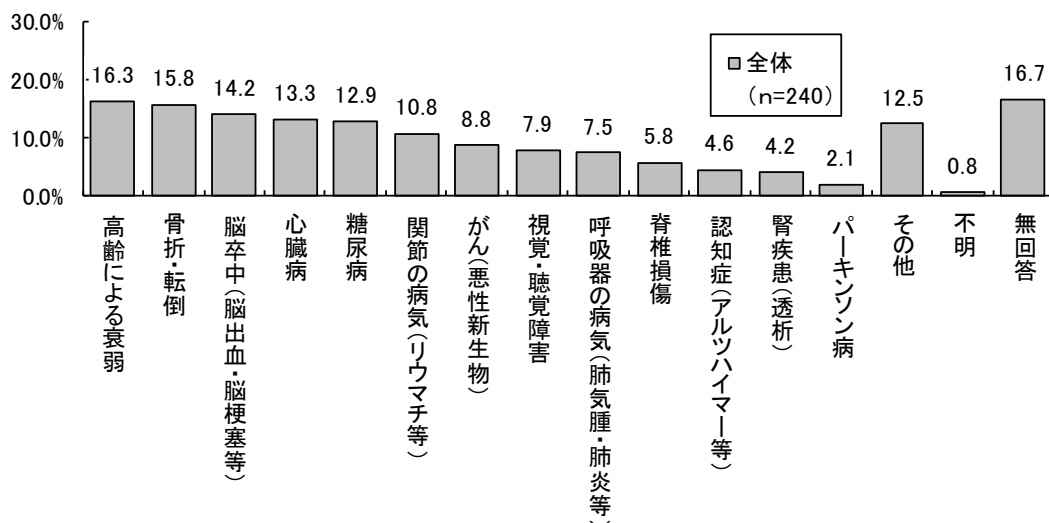
■回答者の家族構成は、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(31.0%)が最も高く全体の約3割を占める。

(5) 介護の必要度



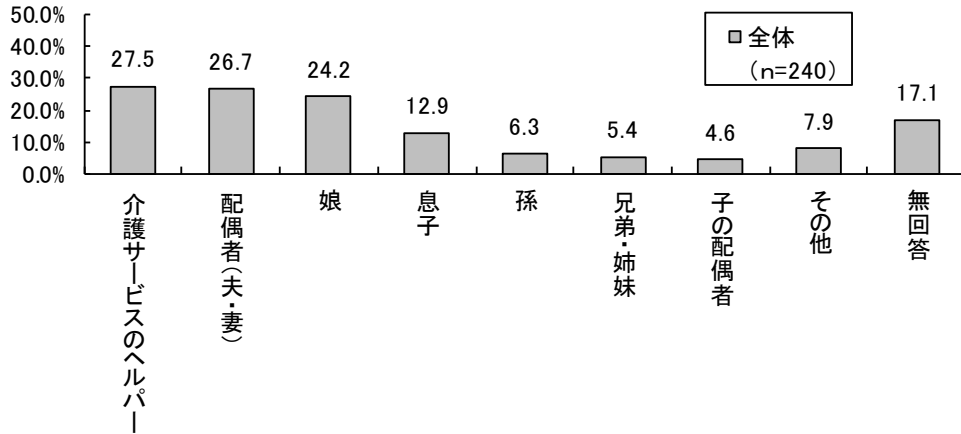
■回答者の介護の必要度は、「介護・介助は必要ない」(79.7%)が最も高く全体の約8割を占める。

(6) 介護・介助が必要な主な原因



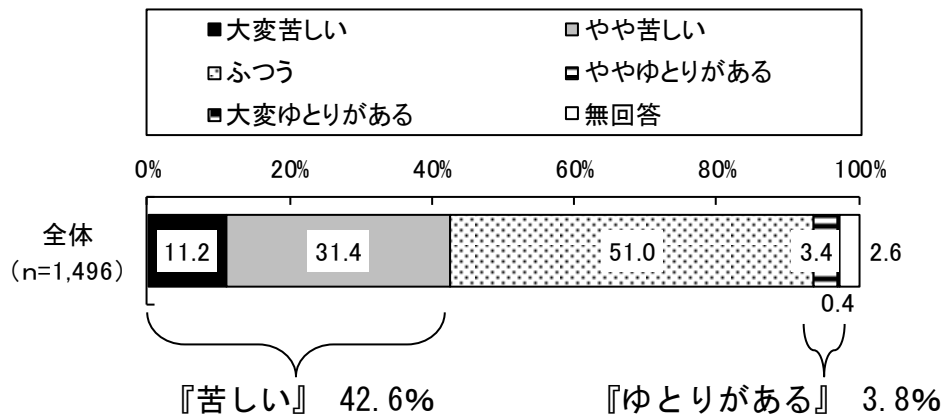
■介護・介助を必要とする回答者のその主な原因は、「高齢による衰弱」(16.3%)が最も高く、次いで「骨折・転倒」(15.8%)、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(14.2%)と続く。

(7) 主な介護・介助（希望）者



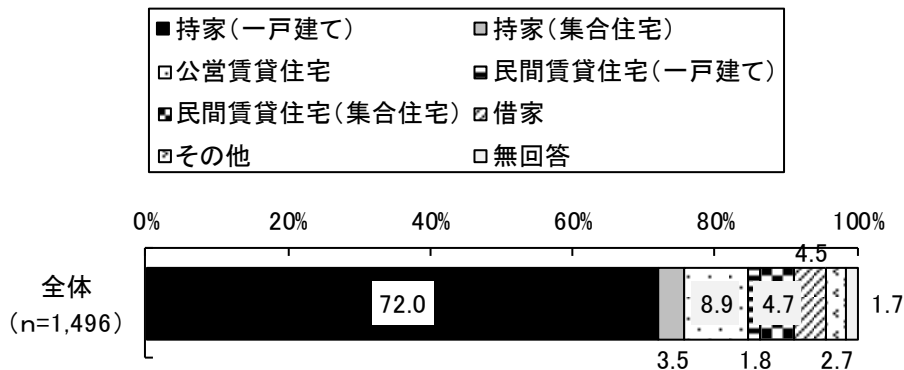
■介護・介助を必要とする回答者の主な介護・介助（希望）者は、「介護サービスのヘルパー」(27.5%) が最も高く、次いで「配偶者(夫・妻)」(26.7%)、「娘」(24.2%) となっている。

(8) 経済状況



■回答者の経済状況は、「ふつう」(51.0%) が最も高くなっているが、次いで「やや苦しい」(31.4%) となっており、「大変苦しい」(11.2%) と合わせると約4割が経済状況が『苦しい』と感じている。

(9) 居住形態



■回答者の居住形態は、「持家(一戸建て)」(72.0%) が最も高い。



## 第2章 調査結果

本章は、以下の7項目で構成する。

問番号	設問	内容
問2	からだを動かすことについて	運動器機能の低下・転倒リスク・閉じこもり傾向を把握
問3	食べることについて	口腔機能の低下・低栄養の傾向を把握
問4	毎日の生活について	認知機能の低下、IADLの低下を把握
問5	地域での活動について	ボランティア等への参加状況、今後の参加意向
問6	たすけあいについて	うつ傾向を把握
問7	健康について	知的能動性・社会的役割・社会参加の状況等を把握
問8	終末期について	終末期の過ごし方の意向を把握
問9	今後の介護希望について	今後の介護希望を把握

本調査では、各設問の選択肢（チェックリスト）を点数化するなどして、高齢者が要介護状態になる各種リスクの判定を行っている。※リスク判定基準は、国の資料「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」（2016.9.30版）に準じる。

### 1 からだを動かすことについて

ここでは、運動機能の低下・転倒リスク・閉じこもり傾向を把握する。

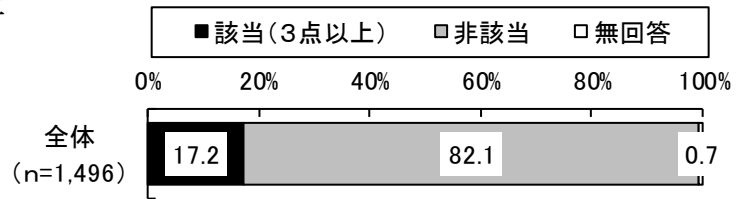
#### （1）運動器

高齢者の運動器の機能に関して、リスク判定を行う。下表の5つの設問のうち、網掛け部分に3問（点）以上該当した場合、運動器の機能低下と判定される。

問番号	内容	回答
問2	(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない (1点)
	(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない (1点)
	(3) 15分位続けて歩いていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない (1点)
	(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか	1 何度もある (1点) 2 1度ある (1点) 3 ない
	(5) 転倒に対する不安は大きいですか	1 とても不安である (1点) 2 やや不安である (1点) 3 あまり不安でない 4 不安でない

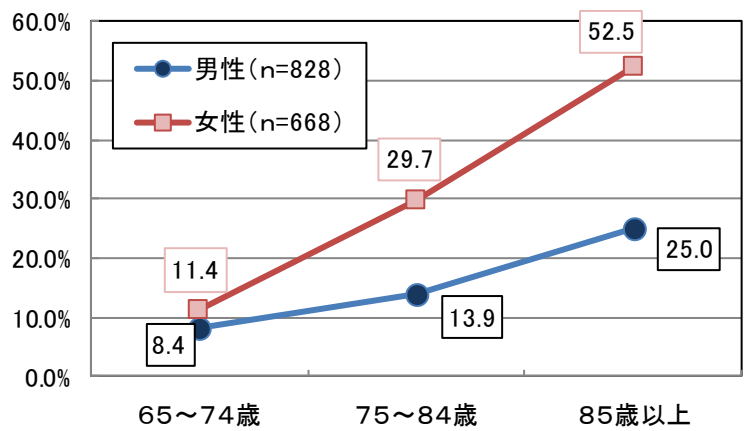
〔運動器判定〕

■基本チェックリストに基づく運動器判定の該当者（3点以上の者）は、全体で17.2%となっている。



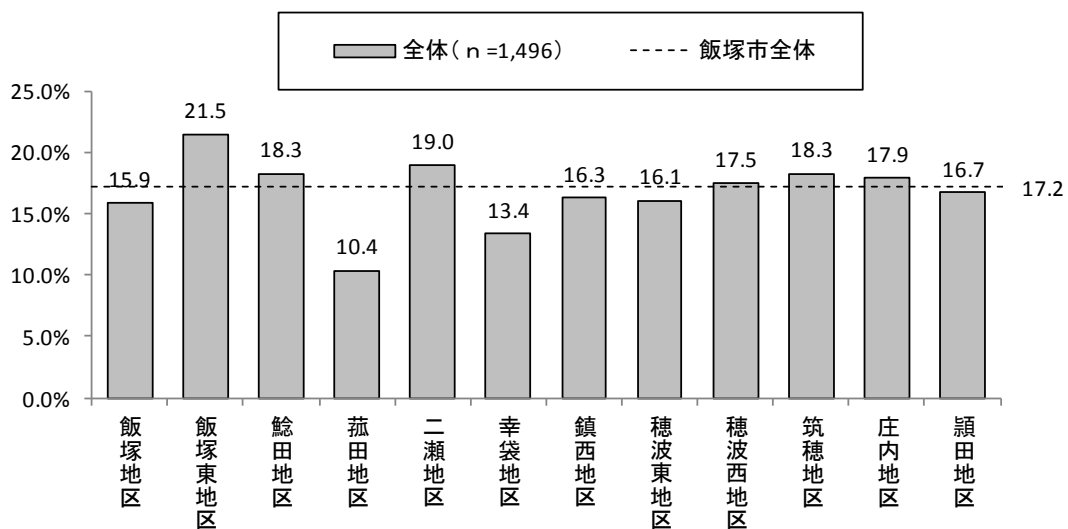
〔性・年齢別 運動器判定（「該当」の割合）〕

■性・年齢別にみると、該当者の割合は男女とも年齢とともに高くなっていくが、各年齢層とも男性に比べ女性の該当者の割合が高くなっている。特に、75歳以上の後期高齢者でリスクが増しており、女性の85歳以上ではリスク該当者は5割以上を占める。



〔居住地区別 運動器判定（「該当」の割合）〕

■居住地区別にみると、該当者の割合は、飯塚東地区(21.5%)で最も高く、菰田地区(10.4%)で最も低くなっている。



(2) 転倒

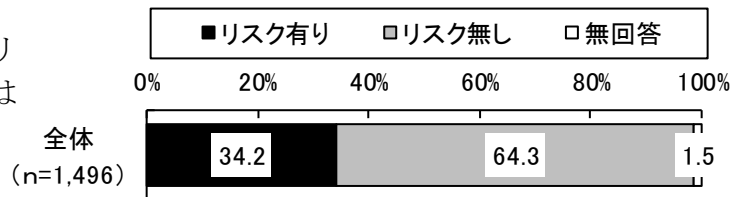
① 転倒経験

高齢者の転倒経験から転倒リスクの判定を行う。以下の設問のうち、網掛け部分に該当した場合、転倒リスクのある高齢者と判定される。

問番号	内容	回答
問2	(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか	1 何度もある 2 1度ある 3 ない

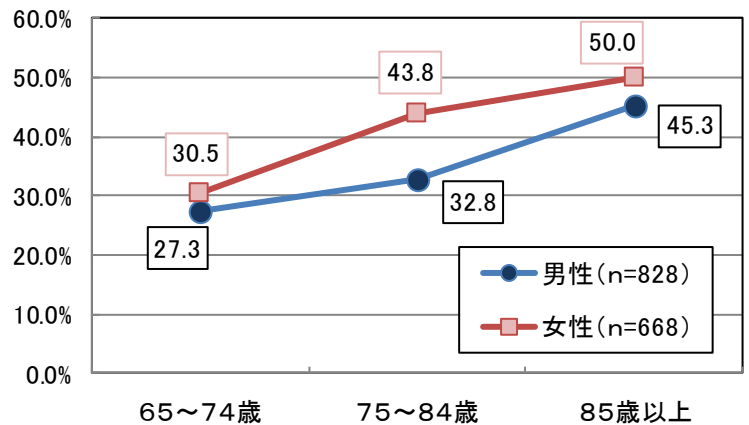
〔転倒リスク判定〕

■基本チェックリストに基づく転倒リスク判定の該当者（リスク有り）は全体で34.2%となっている。



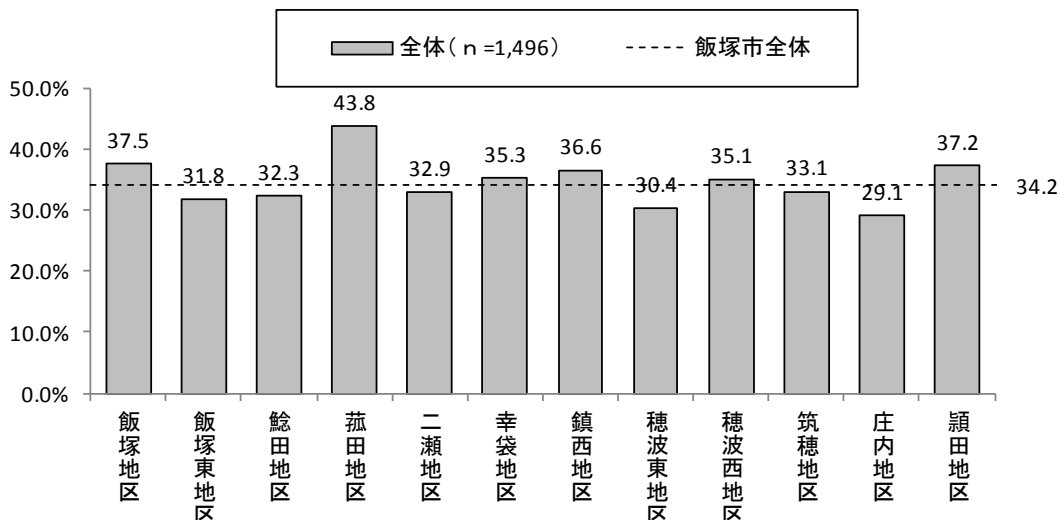
〔性・年齢別 転倒リスク判定（「該当」の割合）〕

■性・年齢別にみると、該当者の割合は男女とも年齢とともに高くなっており、各年齢層とも男性に比べ女性の該当者の割合が高くなっている。



〔居住地区別 転倒リスク判定（「該当」の割合）〕

■居住地区別にみると、該当者の割合は、菰田地区(43.8%)で最も高く、庄内地区(29.1%)で最も低くなっている。

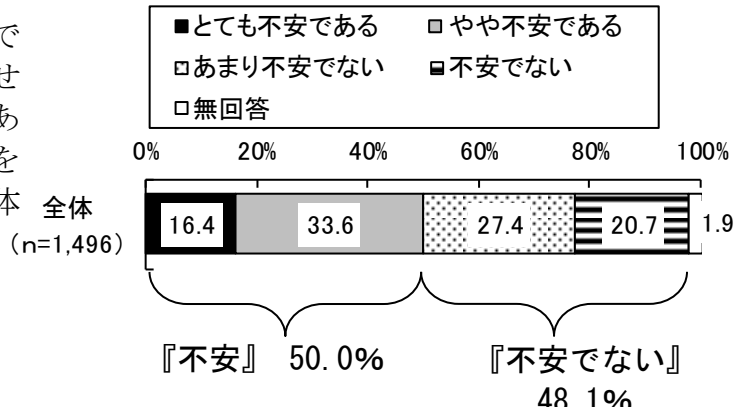


② 転倒に対する不安

問番号	内容
問2 (5)	転倒に対する不安は大きいですか

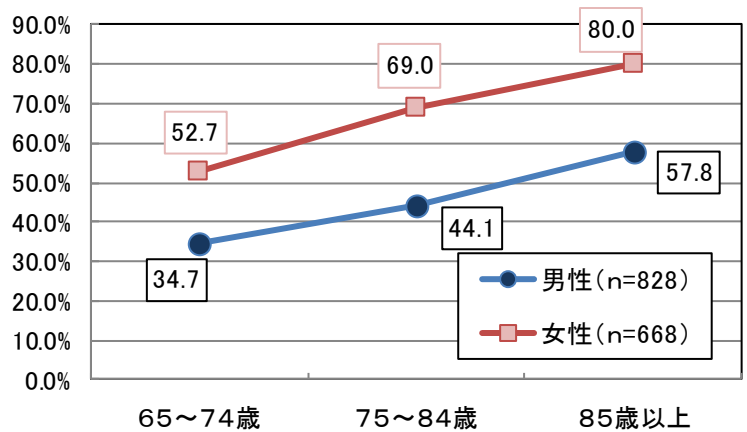
〔転倒に対する不安〕

■ 転倒に対する不安が「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『不安』の割合は全体で50.0%、「あまり不安でない」と「不安でない」を合わせた『不安でない』の割合は全体で48.1%となっている。



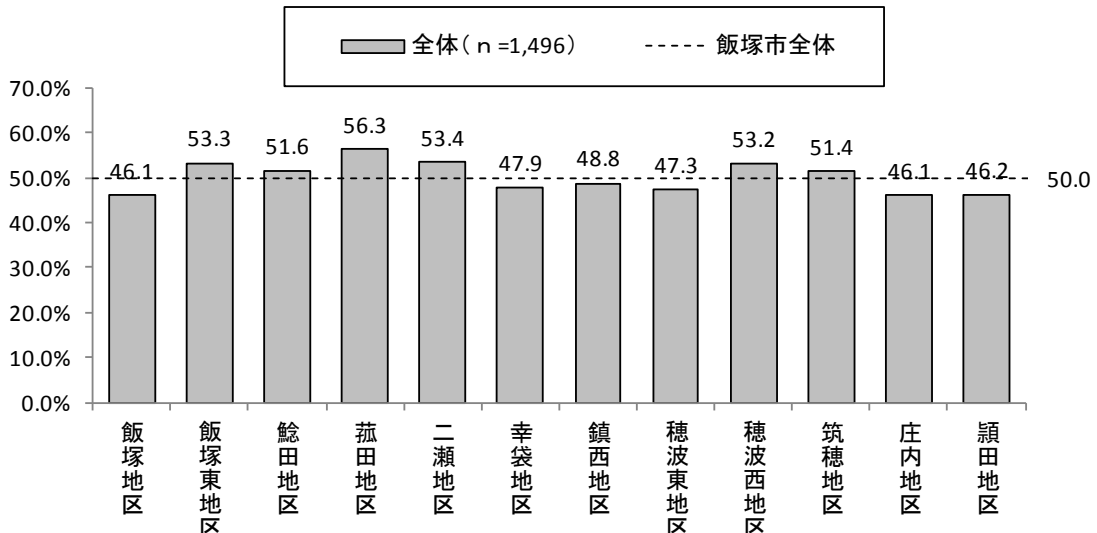
〔性・年齢別 転倒に対する不安 (『不安』の割合)〕

■ 性・年齢別にみると、『不安』の割合は男女とも年齢とともに高くなっていくが、各年齢層とも男性に比べ女性の『不安』の割合が高くなっている。特に、女性85歳以上の高齢者で不安に思う人が8割に達する。



〔居住地区別 転倒に対する不安 (『不安』の割合)〕

■ 居住地区別にみると、転倒に対する『不安』の割合は、菰田地区 (56.3%) で最も高く、飯塚地区と庄内地区 (ともに46.1%) で最も低くなっている。



(3) 閉じこもり

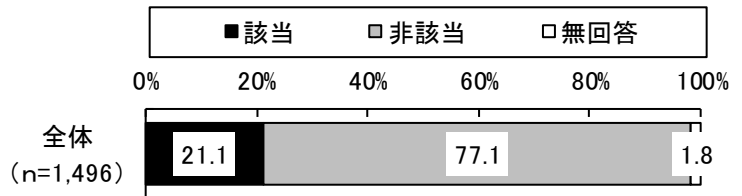
① 閉じこもり

高齢者の外出状況から閉じこもりリスクの判定を行う。以下の設問のうち、網掛け部分に該当した場合、閉じこもり傾向のある高齢者と判定される。

問番号		内容	
問2	(6)	週に1回以上は外出していますか	1 ほとんど外出しない 2 週1回 3 週2～4回 4 週5回以上

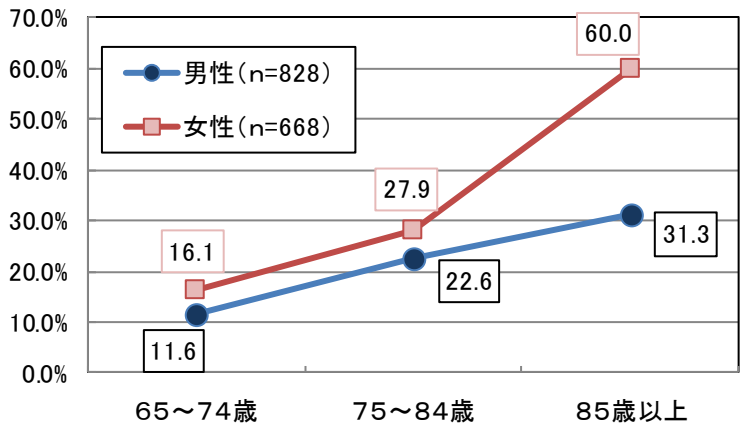
〔閉じこもり傾向判定〕

■基本チェックリストに基づく閉じこもり傾向の該当者は全体で21.1%となっている。



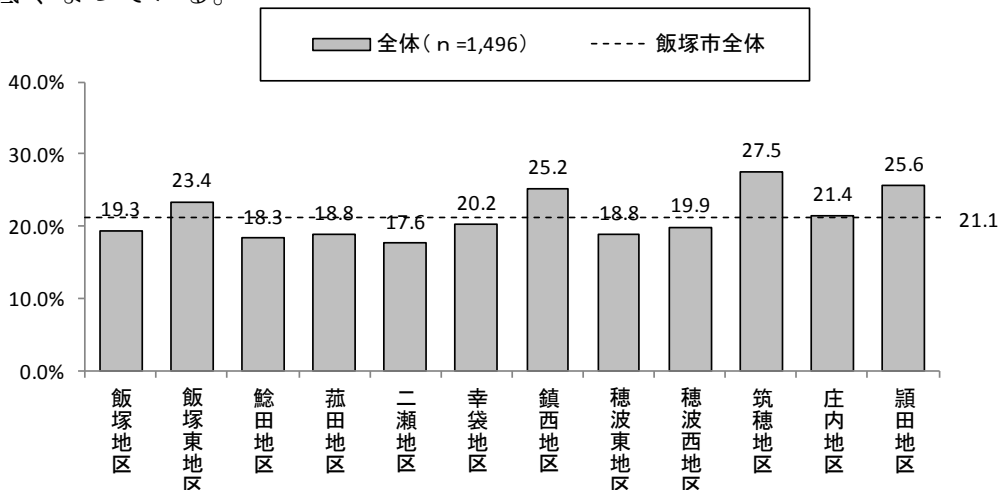
〔性・年齢別 閉じこもり傾向判定（「該当」の割合）〕

■性・年齢別にみると、該当者の割合は男女とも年齢とともに高くなっている。また、各年齢層とも男性に比べ女性の該当者の割合が高くなっている。特に、女性85歳以上の高齢者で該当者が6割に達する。



〔居住地区別 閉じこもり傾向判定（「該当」の割合）〕

■居住地区別にみると、該当者の割合は、筑穂地区(27.5%)で最も高く、二瀬地区(17.6%)で最も低くなっている。

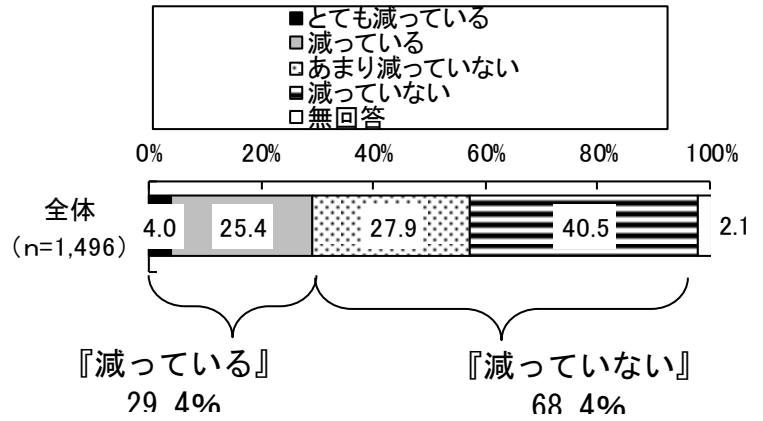


② 外出の回数

問番号	内容
問2	(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

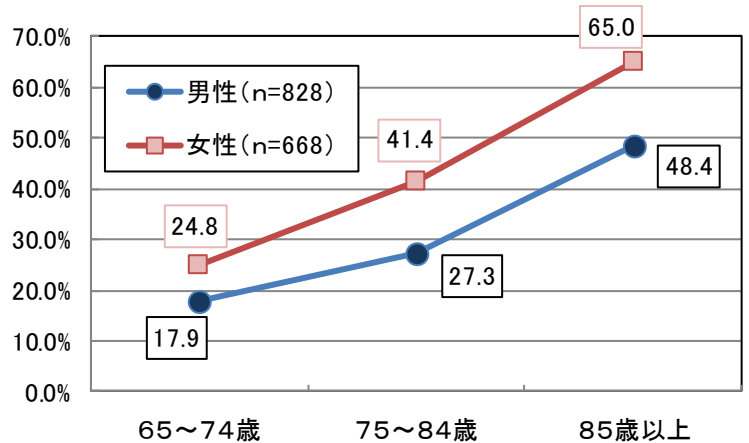
〔外出の回数〕

■外出の回数が「とても減っている」と「減っている」を合わせた『減っている』の割合は全体で29.4%、「あまり減っていない」と「減っていない」を合わせた『減っていない』の割合は全体で68.4%となっている。



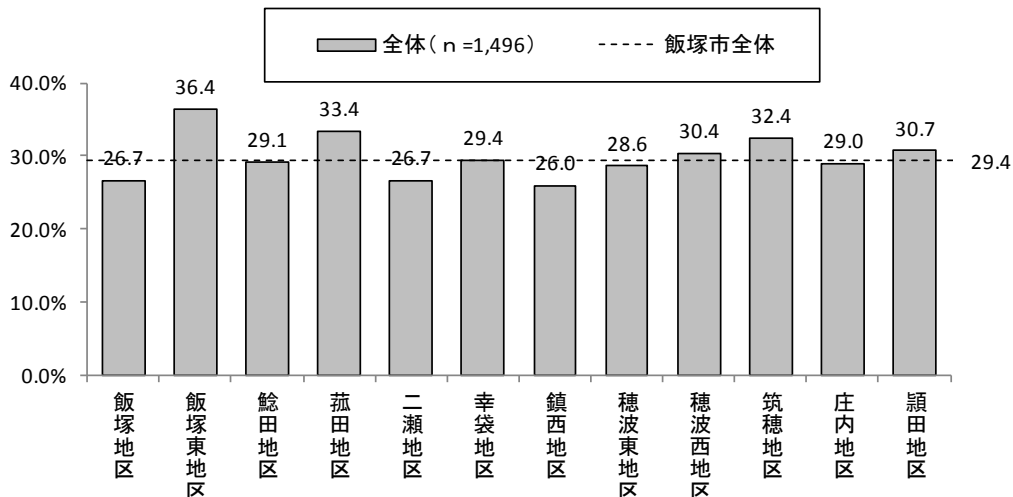
〔性・年齢別 外出の回数 (『減っている』の割合)〕

■性・年齢別にみると、『減っている』の割合は男女とも年齢とともに高くなっているが、各年齢層とも男性に比べ女性の『減っている』の割合が高くなっている。特に、女性85歳以上の高齢者で『減っている』の割合が6割以上を占める。



〔居住地区別 外出の回数 (『減っている』の割合)〕

■居住地区別にみると、外出の回数が『減っている』の割合は、飯塚東地区 (36.4%) で最も高く、鎮西地区 (26.0%) で最も低くなっている。

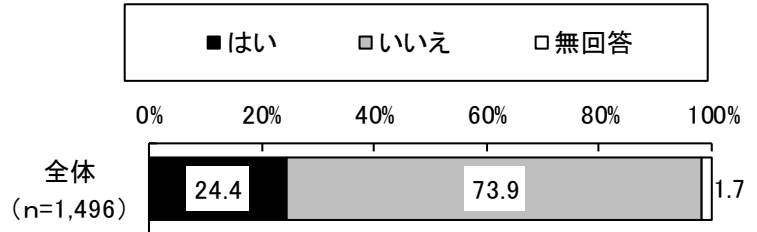


③ 外出を控えているか

問番号	内容	
問2	(8)	外出を控えていますか

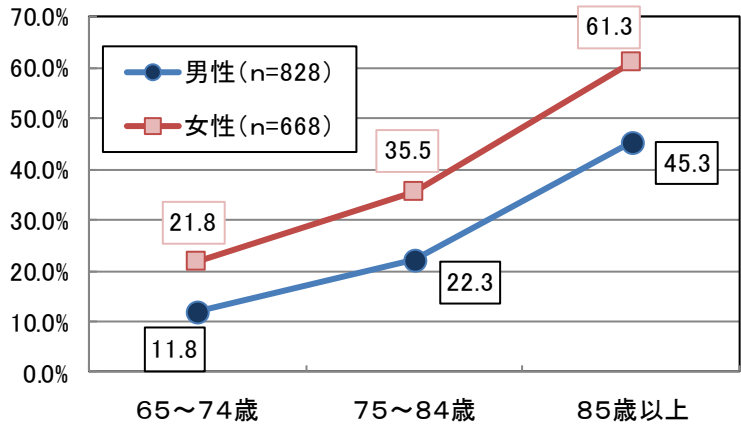
〔外出を控えているか〕

■外出を控えているかについて、「はい（控えている）」の割合は全体で24.4%となっている。



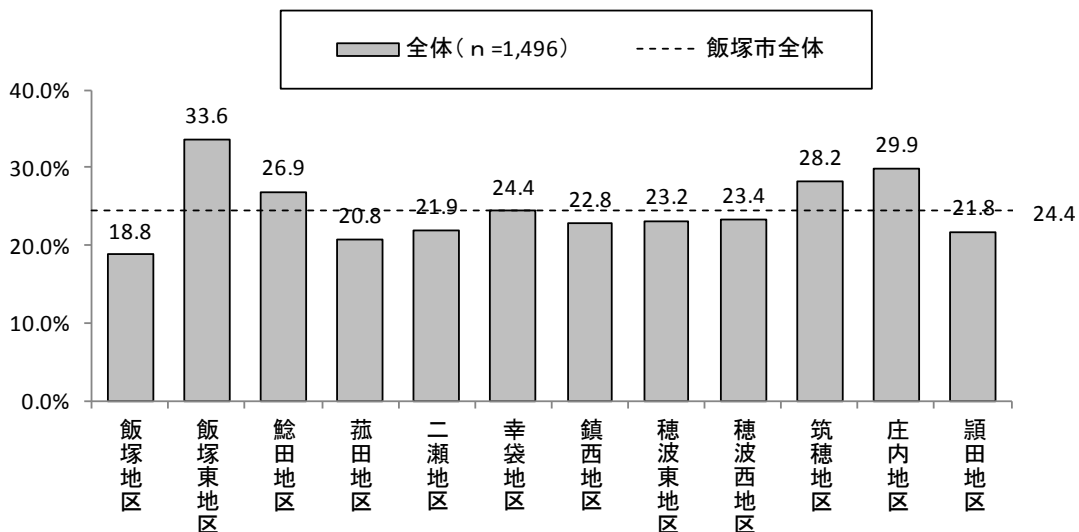
〔性・年齢別 外出を控えているか（「はい（控えている）」の割合）〕

■性・年齢別にみると、「はい（控えている）」の割合は男女とも年齢とともに高くなっているが、各年齢層とも男性に比べ女性の「はい（控えている）」の割合が高くなっている。特に、女性85歳以上の高齢者で「はい（控えている）」の割合が6割以上を占める。



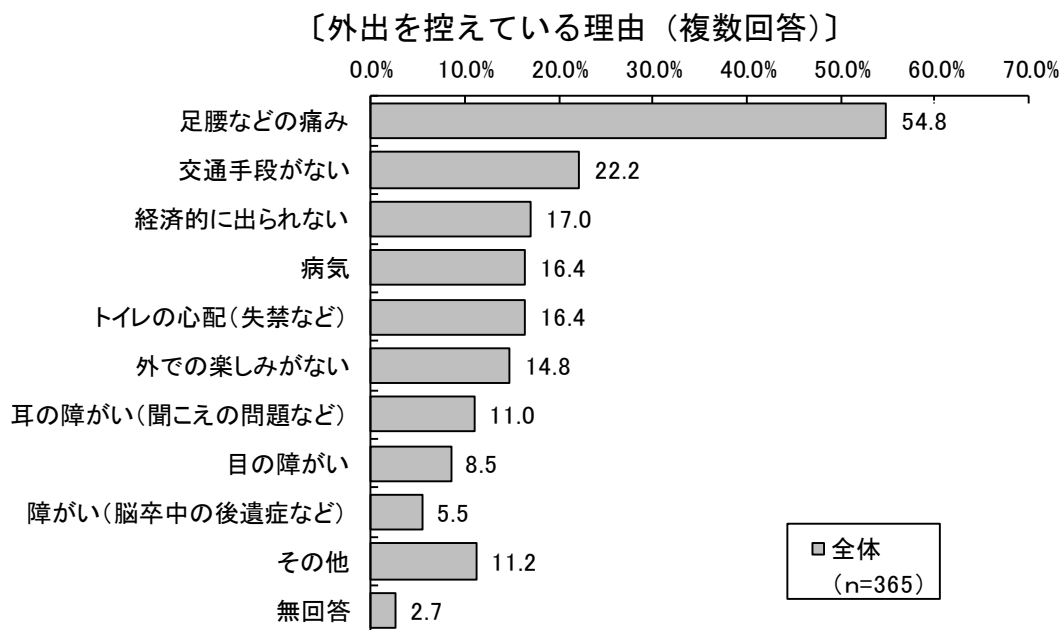
〔居住地区別 外出を控えているか（「はい（控えている）」の割合）〕

■居住地区別にみると、「外出を控えている」人の割合は、飯塚東地区（33.6%）で最も高く、飯塚地区（18.8%）で最も低くなっている。



④ 外出を控えている理由

問番号	内容
問2	(8) 【(8)で「1. はい(外出を控えている)」の方のみ】 ① 外出を控えている理由は、次のどれですか



■外出を控えている回答者のその理由は、「足腰などの痛み」(54.8%)が最も高く、次いで「交通手段がない」(22.2%)、「経済的に出られない」(17.0%)と続く。



〔性・年齢別 居住地区別 外出を控えている理由（％）〕

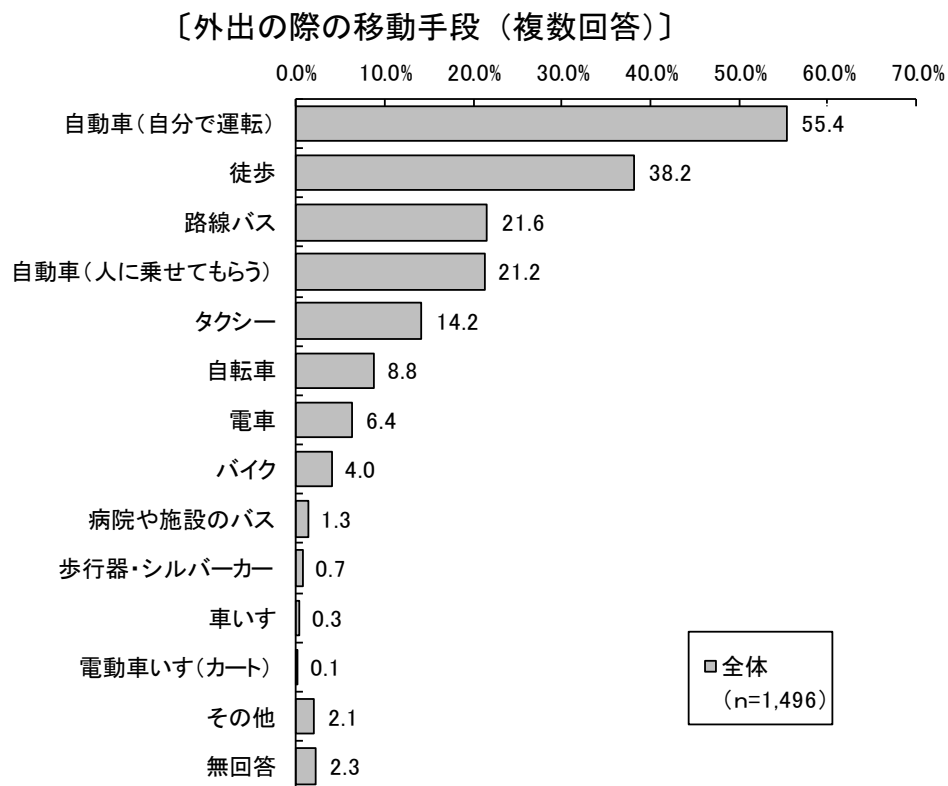
	調査数「人」	病 気	障 がい（脳 卒中の 後）	足 腰 な ど の 痛 み	ト イ レ の 心 配 （失 禁 な ど）	耳 の 障 が い （聞 こ え の 問 題 な ど）	目 の 障 が い	外 で の 楽 し み が な い	経 済 的 に 出 ら れ な い	交 通 手 段 が な い	そ の 他	無 回 答	
全体	365	16.4	5.5	54.8	16.4	11.0	8.5	14.8	17.0	22.2	11.2	2.7	
性・年齢別	【男性計】	148	16.9	9.5	52.0	18.9	11.5	12.2	13.5	14.9	18.2	6.1	4.1
	65～74歳	58	20.7	15.5	50.0	13.8	5.2	13.8	10.3	25.9	12.1	6.9	5.2
	75～84歳	61	14.8	4.9	49.2	21.3	14.8	6.6	16.4	6.6	19.7	4.9	4.9
	85歳以上	29	13.8	6.9	62.1	24.1	17.2	20.7	13.8	10.3	27.6	6.9	-
	【女性計】	217	16.1	2.8	56.7	14.7	10.6	6.0	15.7	18.4	24.9	14.7	1.8
	65～74歳	65	18.5	3.1	44.6	13.8	4.6	4.6	20.0	36.9	18.5	20.0	3.1
	75～84歳	103	15.5	3.9	60.2	15.5	11.7	8.7	11.7	14.6	30.1	9.7	1.9
	85歳以上	49	14.3	-	65.3	14.3	16.3	2.0	18.4	2.0	22.4	18.4	-
全体	365	16.4	5.5	54.8	16.4	11.0	8.5	14.8	17.0	22.2	11.2	2.7	
居住地区	飯塚地区	33	12.1	3.0	69.7	15.2	9.1	6.1	12.1	12.1	18.2	12.1	-
	飯塚東地区	36	5.6	11.1	52.8	16.7	16.7	19.4	11.1	8.3	22.2	8.3	5.6
	鯉田地区	25	28.0	-	52.0	20.0	8.0	12.0	12.0	20.0	12.0	24.0	-
	菰田地区	10	10.0	-	40.0	30.0	10.0	-	20.0	10.0	20.0	20.0	-
	二瀬地区	46	19.6	6.5	54.3	23.9	8.7	8.7	15.2	17.4	19.6	8.7	8.7
	幸袋地区	29	13.8	13.8	48.3	6.9	3.4	10.3	24.1	31.0	24.1	3.4	-
	鎮西地区	28	14.3	3.6	46.4	21.4	10.7	7.1	17.9	17.9	17.9	14.3	-
	穂波東地区	26	7.7	3.8	53.8	7.7	11.5	-	15.4	7.7	19.2	15.4	3.8
	穂波西地区	40	15.0	10.0	65.0	12.5	20.0	7.5	12.5	17.5	15.0	10.0	5.0
	筑穂地区	40	25.0	2.5	60.0	15.0	7.5	7.5	12.5	15.0	40.0	5.0	-
	庄内地区	35	25.7	2.9	51.4	14.3	14.3	8.6	14.3	20.0	25.7	14.3	-
頼田地区	17	11.8	-	41.2	23.5	5.9	5.9	17.6	29.4	29.4	11.8	5.9	

■性・年齢別にみると、「足腰の痛み」の割合は、男女ともに85歳以上で最も高く、6割以上を占める。

■居住地区別にみると、「交通手段がない」の割合は、筑穂地区で最も高く、4割に達する。

⑤ 外出の際の移動手段

問番号		内容
問2	(9)	外出する際の移動手段は何ですか



■外出の際の移動手段は、「自動車（自分で運転）」（55.4％）の割合が最も高く、次いで「徒歩」（38.2％）、「路線バス」（21.6％）、「自動車（人に乗せてもらう）」（21.2％）と続く。

〔性・年齢別 居住地区別 外出の際の移動手段（％）〕

	調査数「人」	外出の際の移動手段（％）														
		徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答	
全体	1496	38.2	8.8	4.0	55.4	21.2	6.4	21.6	1.3	0.3	0.1	0.7	14.2	2.1	2.3	
性・年齢別	【男性計】	828	34.9	11.0	4.0	74.5	10.7	5.1	12.9	0.6	0.4	0.1	0.4	8.7	1.0	2.5
	65～74歳	490	36.3	10.2	4.7	80.2	8.2	6.1	12.0	0.4	0.6	-	0.2	5.3	0.6	2.2
	75～84歳	274	30.7	12.0	2.9	71.9	10.2	3.6	12.8	0.4	-	-	0.7	12.0	1.5	2.9
	85歳以上	64	42.2	12.5	3.1	42.2	32.8	3.1	20.3	3.1	-	1.6	-	20.3	1.6	3.1
	【女性計】	668	42.2	6.1	4.0	31.7	34.1	7.9	32.3	2.1	0.3	-	1.2	21.0	3.6	2.1
	65～74歳	298	41.3	9.7	5.4	52.0	24.5	9.7	27.2	1.0	0.3	-	0.3	13.4	2.7	2.0
	75～84歳	290	46.2	4.1	3.4	19.0	37.9	6.9	38.6	2.4	-	-	1.7	25.9	3.8	2.1
85歳以上	80	31.3	-	1.3	2.5	56.3	5.0	28.8	5.0	1.3	-	2.5	31.3	6.3	2.5	
全体	1496	38.2	8.8	4.0	55.4	21.2	6.4	21.6	1.3	0.3	0.1	0.7	14.2	2.1	2.3	
居住地区	飯塚地区	176	58.5	13.6	0.6	44.3	20.5	13.1	29.5	1.7	-	-	0.6	21.0	2.3	1.1
	飯塚東地区	107	34.6	4.7	7.5	50.5	26.2	6.5	29.9	1.9	0.9	0.9	-	15.0	0.9	2.8
	鯉田地区	93	38.7	10.8	1.1	55.9	19.4	12.9	33.3	-	-	-	-	10.8	3.2	3.2
	菰田地区	48	54.2	4.2	4.2	47.9	20.8	4.2	22.9	2.1	-	-	-	12.5	2.1	2.1
	二瀬地区	210	36.7	8.6	3.8	50.0	22.9	6.2	24.8	0.5	0.5	-	0.5	16.2	1.4	2.9
	幸袋地区	119	34.5	8.4	5.9	62.2	21.0	3.4	18.5	0.8	0.8	-	-	13.4	1.7	2.5
	鎮西地区	123	33.3	8.9	4.9	63.4	22.0	1.6	17.9	1.6	-	-	1.6	13.8	1.6	1.6
	穂波東地区	112	43.8	10.7	4.5	55.4	19.6	10.7	17.9	-	-	-	0.9	17.0	3.6	2.7
	穂波西地区	171	41.5	8.8	5.3	55.6	21.6	2.3	18.7	1.2	0.6	-	0.6	11.1	1.2	3.5
	筑穂地区	142	22.5	4.9	4.9	62.0	20.4	7.7	9.2	2.8	0.7	-	1.4	9.9	4.9	2.8
	庄内地区	117	24.8	7.7	3.4	63.2	17.1	2.6	13.7	2.6	-	-	1.7	11.1	1.7	1.7
	穎田地区	78	37.2	11.5	2.6	59.0	21.8	2.6	25.6	-	-	-	1.3	14.1	1.3	-

■性・年齢別にみると、「自動車（自分で運転）」の割合は、男女ともに年齢層が上がるほど割合が少なくなっていく。一方で、「自動車（人に運転してもらう）」の割合は、男女ともに年齢層が上がるほど割合が多くなっていく。

■居住地区別にみると、「自動車（自分で運転）」の割合は鎮西地区（63.4％）で最も高く、飯塚地区（44.3％）で最も低い。また、「電車」の割合は飯塚地区（13.1％）で最も高く、鎮西地区（1.6％）で最も低い。「路線バス」の割合は鯉田地区（33.3％）で最も高く、筑穂地区（9.2％）で最も低い。

2 食べることについて

ここでは、低栄養の傾向や、口腔機能、口腔ケア・口腔の健康状態、孤食の状況を把握する。

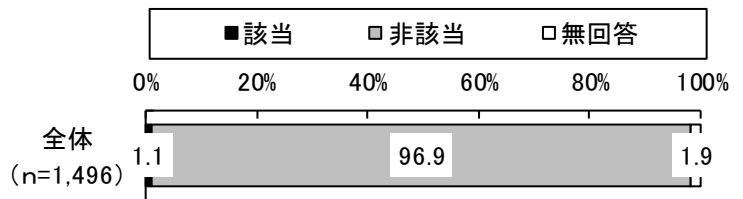
(1) 低栄養

高齢者の身長・体重から、BMIを算出し、低栄養のリスク判定を行う。BMIが18.5以下、かつ、この半年間で体重減少があった場合、低栄養状態と判定される。

問番号	内容	回答
問3	(1) 体重(kg) ÷ {身長(m) × 身長(m)}	≤18.5
問3	(7) 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	1 はい 2 いいえ

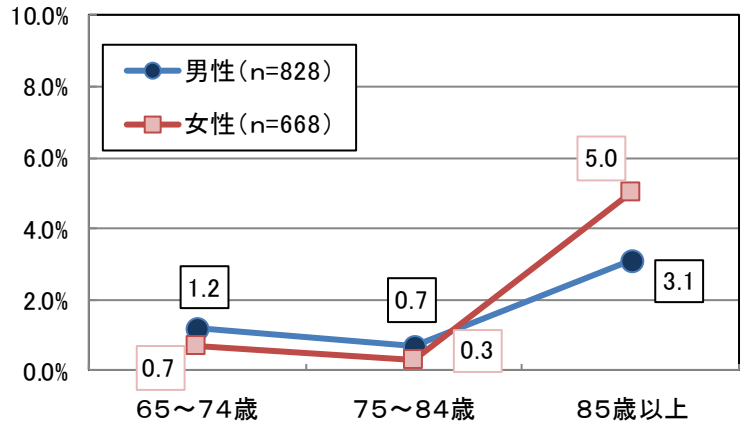
〔低栄養傾向判定〕

■基本チェックリストに基づく低栄養状態の該当者は全体で1.1%となっており、他のリスク判定項目に比べて非常に低くなっている。



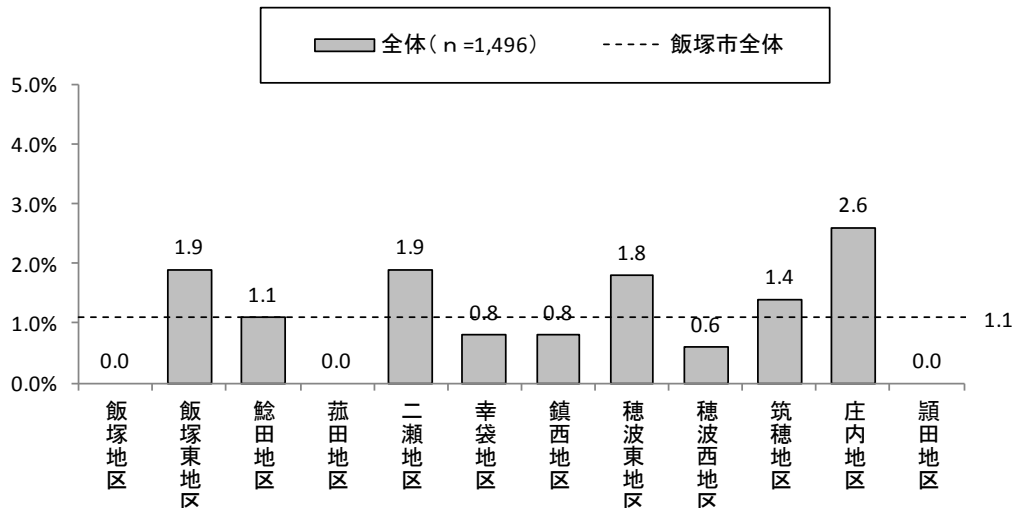
〔性・年齢別 低栄養傾向判定 (「該当」の割合)〕

■性・年齢別にみると、該当者の割合は、男女ともに85歳以上で高くなっているが、数値は他のリスク判定項目に比べて非常に低い。



〔居住地区別 低栄養傾向判定 (「該当」の割合)〕

■割合が少なく、居住地区別による大きな差はみられない。



(2) 口腔機能

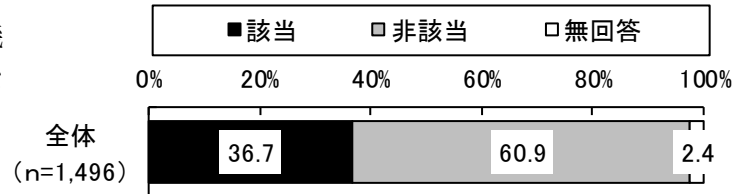
① 咀嚼機能

咀嚼機能の低下を把握する。以下の設問のうち、網掛け部分に該当した場合、咀嚼機能の低下が疑われる高齢者と判定される。

問番号	内容	回答
問3	(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1 はい 2 いいえ

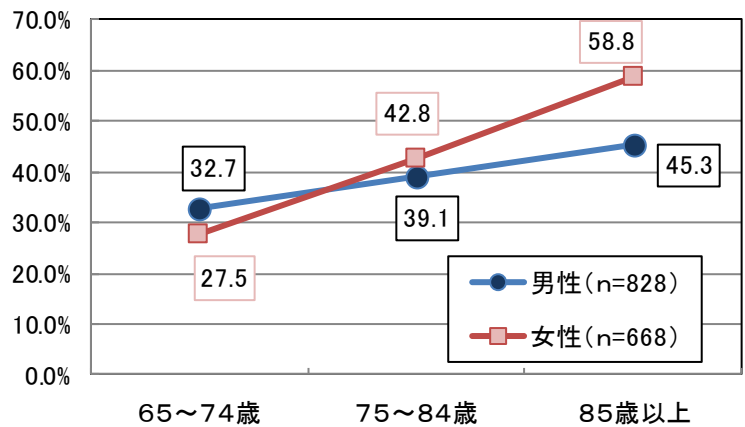
〔咀嚼機能判定〕

■基本チェックリストに基づく咀嚼機能判定の該当者は全体で36.7%となっている。



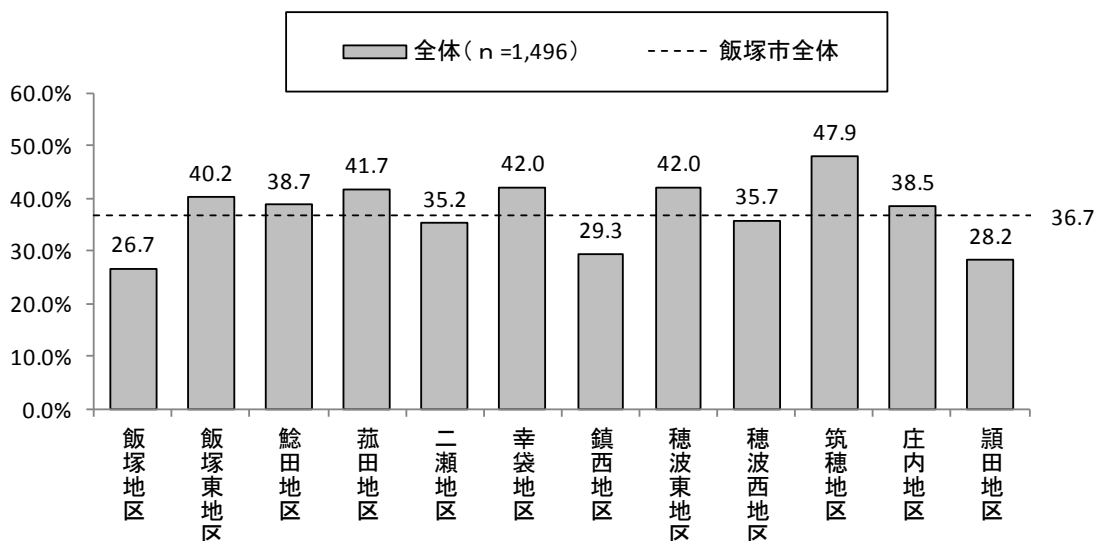
〔性・年齢別 咀嚼機能判定 (「該当」の割合)〕

■性・年齢別にみると、該当者の割合は男女とも年齢とともに高くなっている。特に、女性85歳以上の高齢者で該当者が約6割を占める。



〔居住地区別 咀嚼機能判定 (「該当」の割合)〕

■居住地区別にみると、該当者の割合は、筑穂地区(47.9%)で最も高く、飯塚地区(26.7%)で最も低くなっている。



## 第2章 調査結果

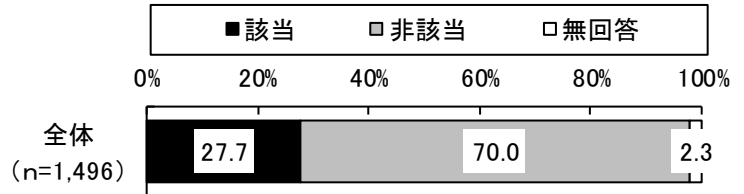
### ② 嚥下機能

嚥下機能の低下を把握する。以下の設問のうち、網掛け部分に該当した場合、嚥下機能の低下が疑われる高齢者と判定される。

問番号	内容	回答
問3	(3) お茶や汁物等でむせることがありますか	1 はい 2 いいえ

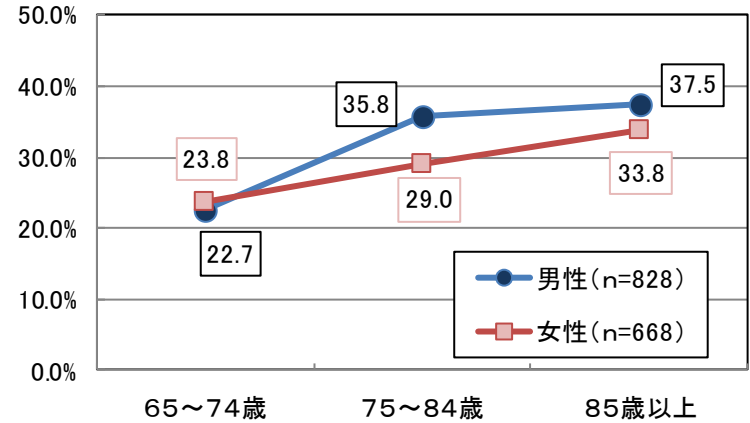
#### 〔嚥下機能判定〕

■基本チェックリストに基づく嚥下機能判定の該当者は全体で27.7%となっている。



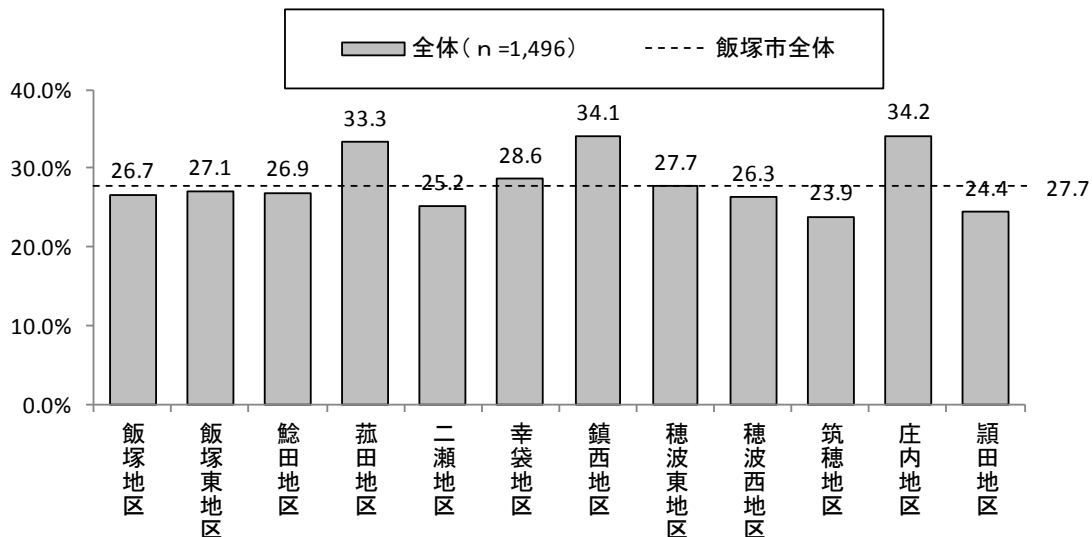
#### 〔性・年齢別 嚥下機能判定（「該当」の割合）〕

■性・年齢別にみると、該当者の割合に男女差はほとんどないが、年齢とともに高くなっている。



#### 〔居住地区別 嚥下機能判定（「該当」の割合）〕

■居住地区別にみると、該当者の割合は、庄内地区(34.2%)で最も高く、筑穂地区(23.9%)で最も低くなっている。



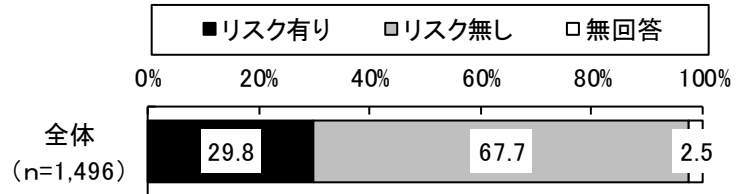
③ 肺炎発症リスク

肺炎発症リスクの判定を行う。以下の設問のうち、網掛け部分に該当した場合、肺炎発症リスクのある高齢者と判定される。

問番号	内容	回答
問3	(4) 口の渇きが気になりますか	1 はい 2 いいえ

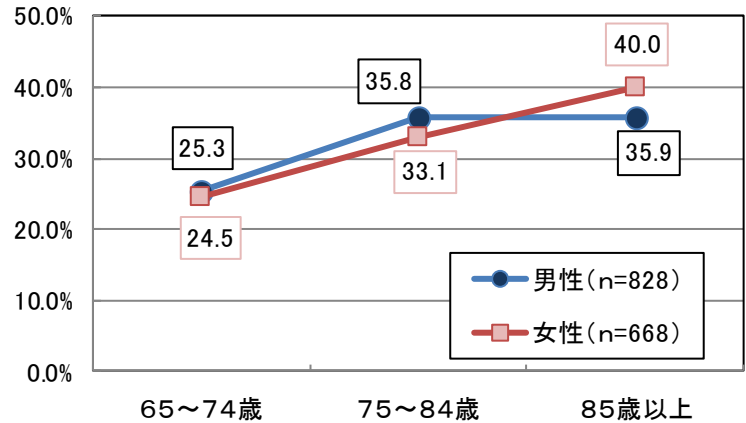
〔肺炎発症リスク〕

■基本チェックリストに基づく肺炎発症リスクの該当者（リスク有り）は全体で29.8%となっている。



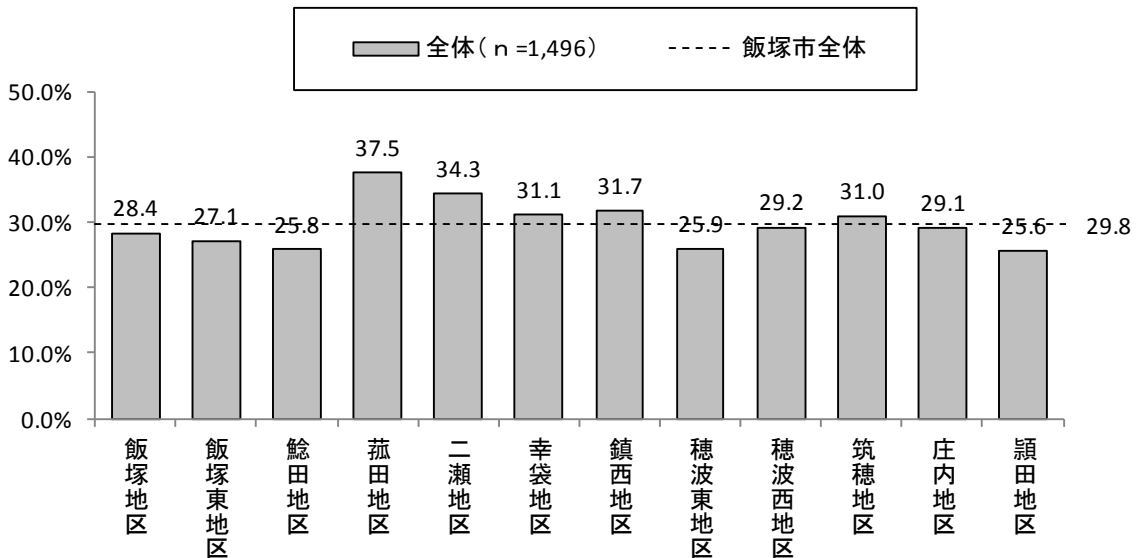
〔性・年齢別 肺炎発症リスク（「該当」の割合）〕

■性・年齢別にみると、該当者の割合に男女差はほとんどないが、女性は年齢とともに高くなり、85歳以上では4割に達する。



〔居住地区別 肺炎発症リスク（「該当」の割合）〕

■居住地区別にみると、該当者の割合は、菰田地区(37.5%)で最も高く、穎田地区(25.6%)で最も低くなっている。



## 第2章 調査結果

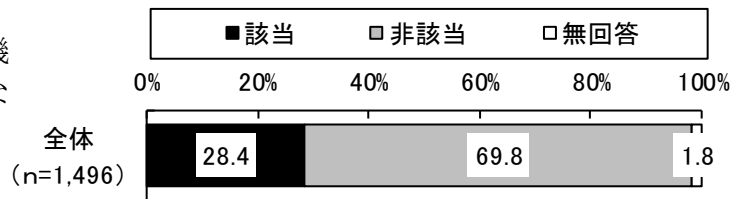
### ④ 口腔機能

口腔機能の低下を把握する。下表の3つの設問のうち、網掛け部分に2問（点）以上該当した場合、口腔機能の低下と判定される。

問番号	内容	回答
問3	(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1 はい（1点） 2 いいえ
問3	(3) お茶や汁物等でむせることがありますか	1 はい（1点） 2 いいえ
問3	(4) 口の渇きが気になりますか	1 はい（1点） 2 いいえ

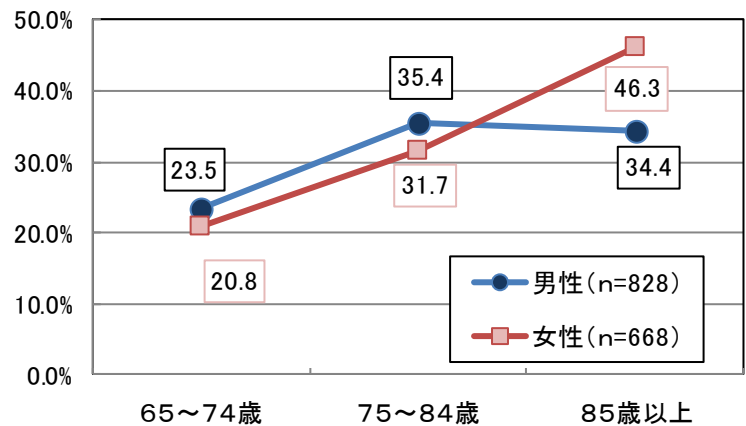
#### 〔口腔機能判定〕

■基本チェックリストに基づく口腔機能判定の該当者は全体で28.4%となっている。



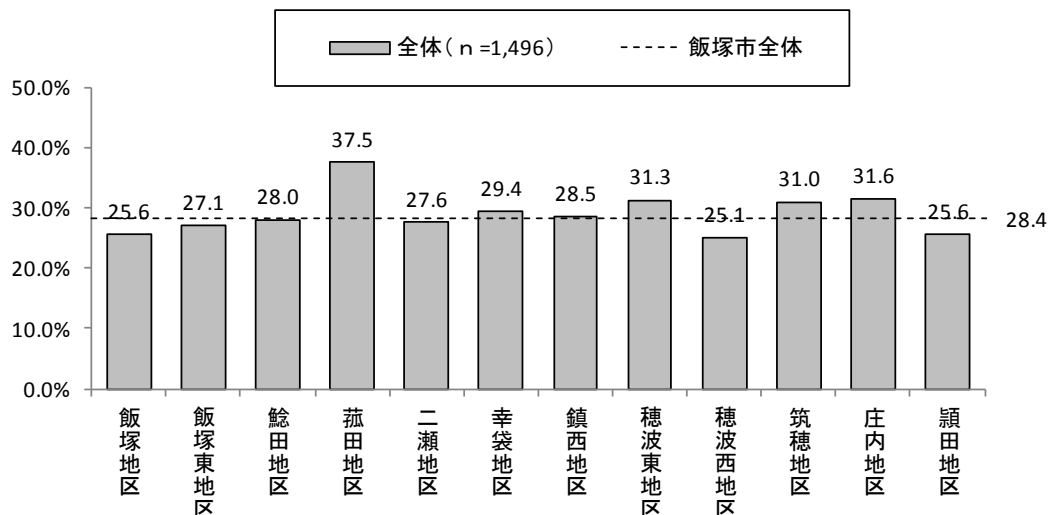
#### 〔性・年齢別 口腔機能判定（「該当」の割合）〕

■性・年齢別にみると、女性は該当者の割合が年齢とともに高くなり、85歳以上では4割以上を占める。



#### 〔居住地区別 口腔機能判定（「該当」の割合）〕

■居住地区別にみると、該当者の割合は、菰田地区(37.5%)で最も高く、穂波西地区(25.1%)で最も低くなっている。





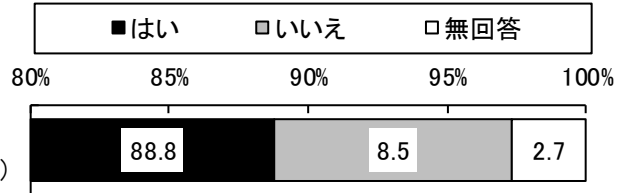
(3) 口腔ケア・口腔の健康状態

① 歯磨きを毎日しているか

問番号	内容	
問3	(5)	歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

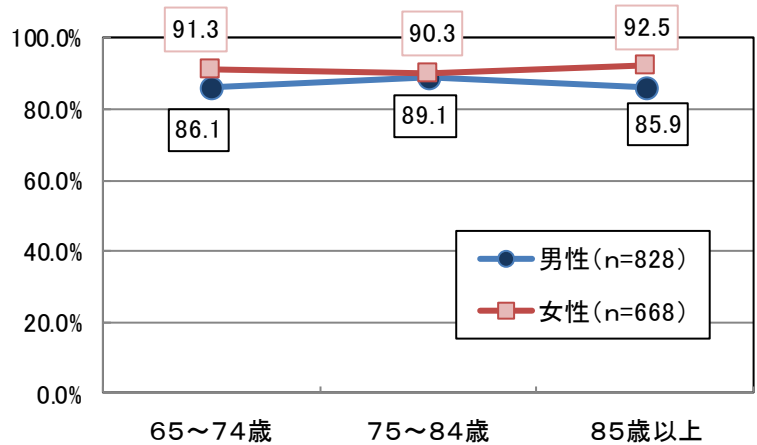
〔歯磨きを毎日しているか〕

■歯磨きを毎日しているかについて、「はい（毎日している）」の割合は全体で88.8%と非常に高くなっている。全体（n=1,496）



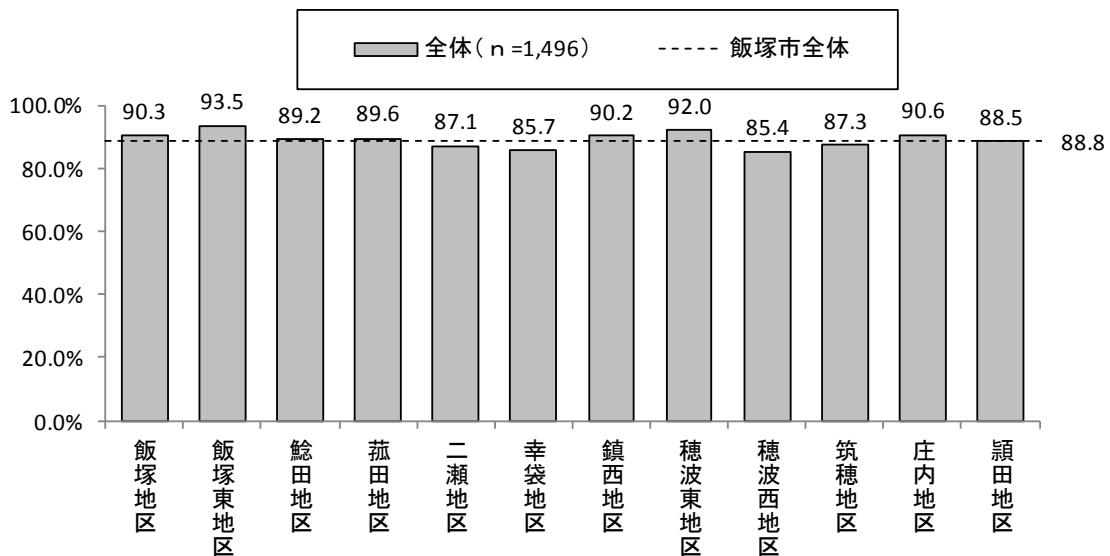
〔性・年齢別 歯磨きを毎日しているか（「はい（毎日している）」の割合）〕

■性・年齢別にみると、「はい（毎日している）」の割合は男女差はほとんどなく、いずれも9割近くを占めている。



〔居住地区別 歯磨きを毎日しているか（「はい」の割合）〕

■居住地区別にみると、いずれの地区も約9割の高齢者が「歯磨きを毎日している」と回答している。

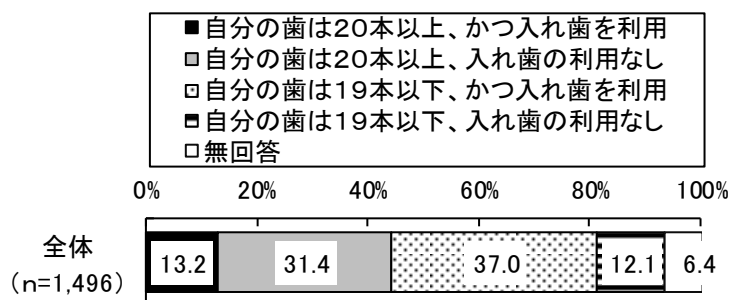


② 義歯の有無と歯数

問番号	内容
問3 (6)	歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

〔義歯の有無と歯数〕

■歯の数と入れ歯の利用状況をたずねたところ、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(37.0%)の割合が最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(31.4%)となっている。



〔性・年齢別・認知機能判定別 義歯の有無と歯数 (%)〕

	調査数 「人」	れ本自	の本自	れ本自	の本自	無回答	
		歯以分の を上の 利、歯 用か は つ 2 入 0	の利以分の 用上の な、歯 し入は れ2 歯 0	歯以分の を下 利、歯 用か は つ 1 入 9	の利以分の 用下の な、歯 し入は れ1 歯 9		
全体	1496	13.2	31.4	37.0	12.1	6.4	
性・年齢別	【男性計】	828	13.4	31.2	37.3	12.8	5.3
	65～74歳	490	13.1	37.6	31.6	14.5	3.3
	75～84歳	274	15.7	23.4	43.4	10.6	6.9
	85歳以上	64	6.3	15.6	54.7	9.4	14.1
	【女性計】	668	12.9	31.7	36.5	11.2	7.6
	65～74歳	298	10.4	41.6	30.2	12.8	5.0
	75～84歳	290	16.6	26.9	36.9	10.7	9.0
	85歳以上	80	8.8	12.5	58.8	7.5	12.5
無回答	-	-	-	-	-	-	
全体	1496	13.2	31.4	37.0	12.1	6.4	
能認 判知 定機	低下者	657	14.3	28.9	38.8	11.7	6.2
	非該当	808	12.7	34.7	36.6	12.7	3.2
	無回答	31	-	-	6.5	3.2	90.3

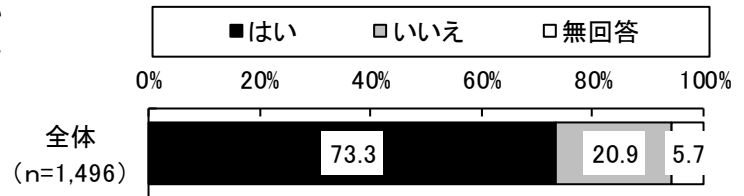
■性・年齢別にみると、「自分の歯の数は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合は、男女ともに加齢に伴い割合が高くなる。また、物を噛む行為が脳に刺激を与えることから、残存数が多いほど認知症リスクが低いということが分かっているが、本調査の認知機能判定別にみると、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合は認知機能低下者で38.8%と最も高くなっている。

③ 噛み合わせは良いか

問番号	内容	
問3	(6) ①	噛み合わせは良いですか

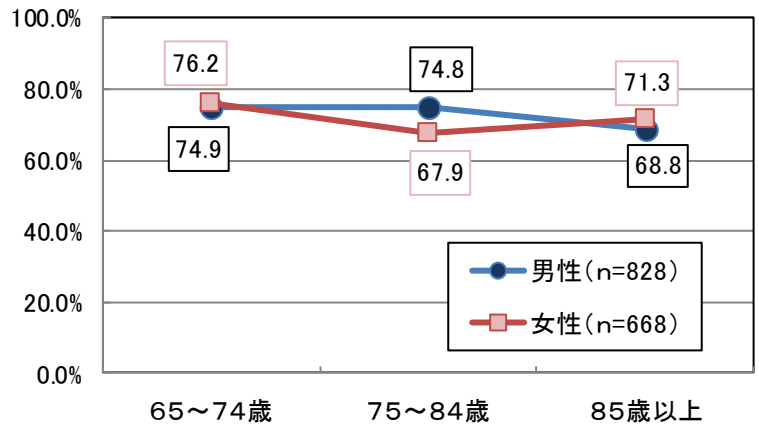
〔噛み合わせは良いか〕

■噛み合わせは良いかについて、「はい（良い）」の割合は全体で73.3%となっている。



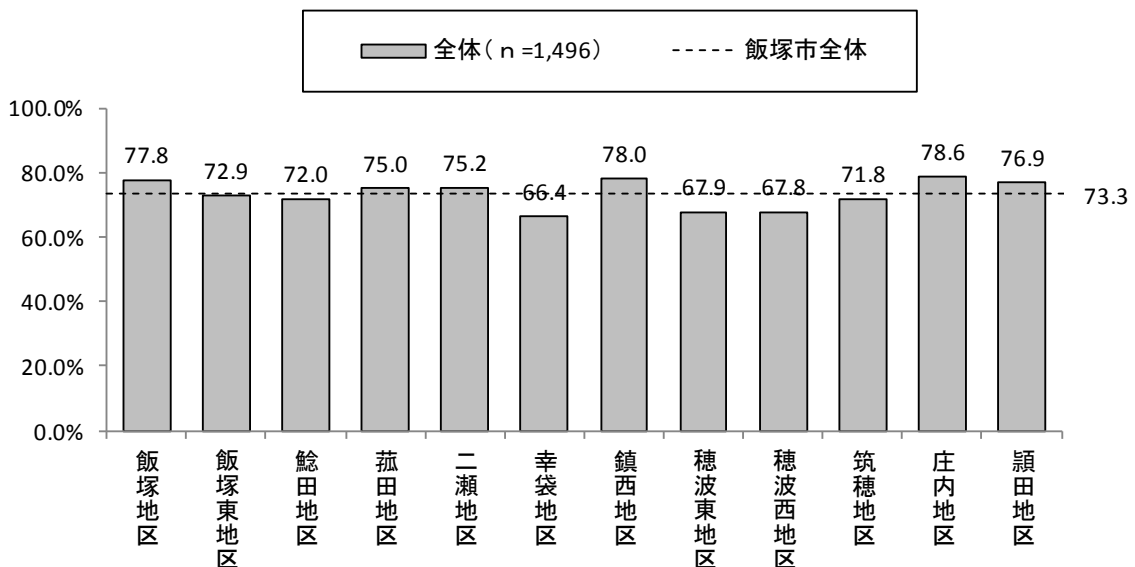
〔性・年齢別 噛み合わせは良いか（「はい（良い）」の割合）〕

■性・年齢別にみると、「はい（良い）」の割合に男女差はほとんどなく、いずれも7割近くを占めている。



〔居住地区別 噛み合わせは良いか（「はい（良い）」の割合）〕

■居住地区別にみると、いずれの地区も約7割の高齢者が「噛み合わせは良い」と回答している。

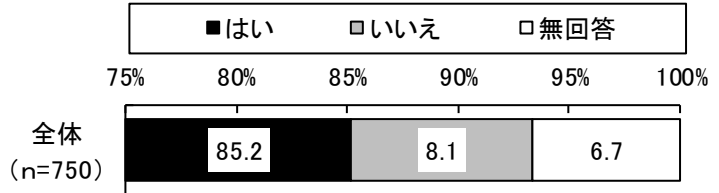


④ 毎日入れ歯の手入れをしているか

問番号	内容
問3	【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】 毎日入れ歯の手入れをしていますか

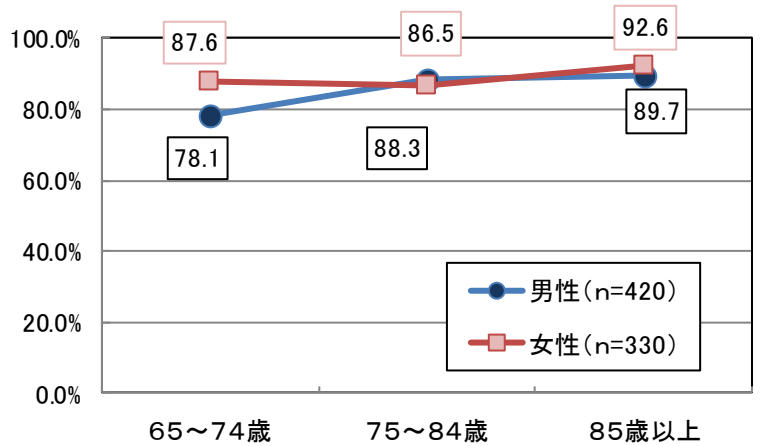
〔毎日入れ歯の手入れをしているか〕

■入れ歯の利用者が、毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい（手入れをしている）」の割合は全体で85.2%と非常に高くなっている。



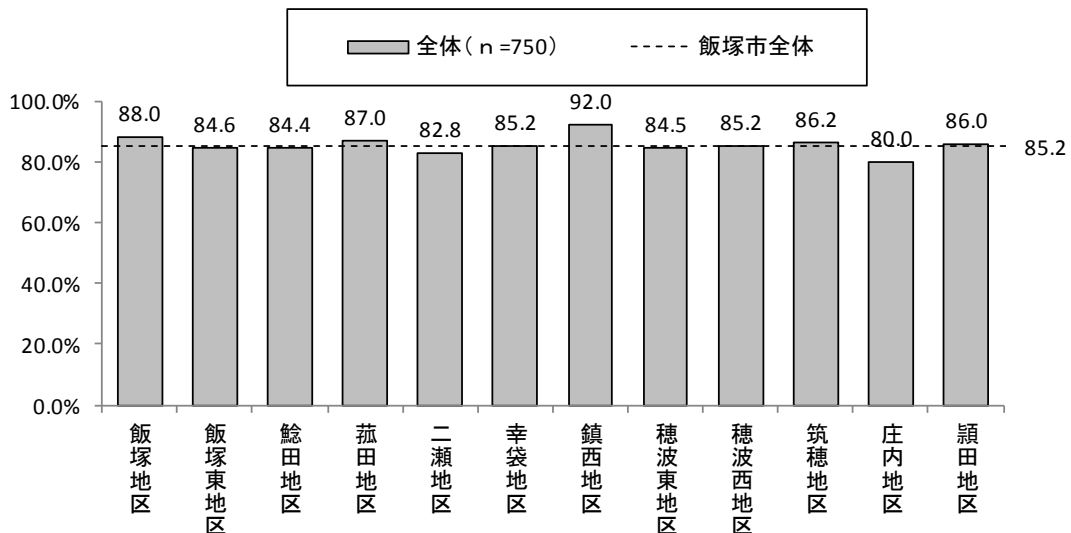
〔性・年齢別 毎日入れ歯の手入れをしているか（「はい（手入れをしている）」の割合）〕

■性・年齢別にみると、「はい（手入れをしている）」の割合は、65～74歳男性が他の年齢や女性と比べると少ないが、いずれの年代も7割以上を占める。



〔居住地区別 毎日入れ歯の手入れをしているか（「はい（手入れをしている）」の割合）〕

■居住地区別にみると、いずれの地区も8割以上の入れ歯利用者が「毎日入れ歯の手入れをしている」と回答している。

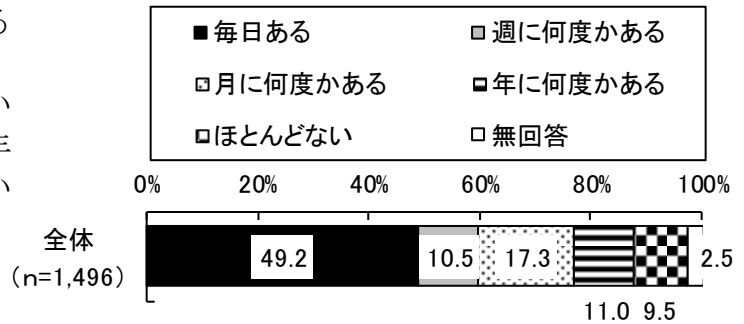


(3) 孤食

問番号	内容	
問3	(8)	どなたかと食事をとにもする機会がありますか

〔誰かと食事をとにもする頻度〕

■誰かと食事をとにもする機会があるかたずねたところ、「毎日ある」(49.2%)の割合が最も高く、次いで「月に何度かある」(17.3%)、「年に何度かある」(11.0%)となっている。



〔世帯構成別・閉じこもり傾向判定別 誰かと食事をとにもする頻度 (%)〕

		調査数 [人]	毎日 ある	週に 何度か ある	月に 何度か ある	年に 何度か ある	ほと んど ない	無 回 答
全体		1496	49.2	10.5	17.3	11.0	9.5	2.5
世帯 構成 別	1人暮らし	412	7.0	18.7	36.2	18.9	17.5	1.7
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	464	61.9	6.7	11.9	11.2	6.0	2.4
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	69	79.7	4.3	10.1	-	4.3	1.4
	息子・娘との2世帯	219	73.1	7.3	5.9	6.4	5.0	2.3
	その他	279	67.4	7.2	10.8	5.4	6.5	2.9
	無回答	53	32.1	18.9	9.4	11.3	18.9	9.4
全体		1496	49.2	10.5	17.3	11.0	9.5	2.5
閉じこ もり 傾向 判定	該当	316	45.9	7.6	13.9	13.9	16.1	2.5
	非該当	1153	50.6	11.4	18.2	10.0	7.7	2.1
	無回答	27	29.6	3.7	18.5	22.2	7.4	18.5

■世帯構成別にみると、食事をとにもする機会が「毎日ある」とする人は、夫婦2人暮らしや息子・娘との2世帯、その他（同居世帯含む）で過半数を占める。一方、1人暮らしでは「毎日ある」の割合は1割に満たず、「月に何度かある」(36.2%)が最も高くなっている。

■閉じこもり傾向判定別にみると、該当者ほど「毎日ある」の割合が低く、「年に何度かある」、「ほとんどない」の割合が高くなっている。

3 毎日の生活について

ここでは、認知機能や IADL（手段的自立度）、知的能動性等の状況を把握する。

(1) 認知機能

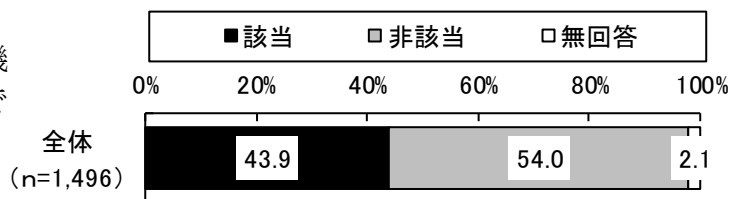
① 認知機能

認知機能の低下を把握する。以下の設問のうち、網掛け部分に該当した場合、認知機能の低下が疑われる高齢者と判定される。

問番号	内容	回答
問4	(1) 物忘れが多いと感じますか	1 はい 2 いいえ

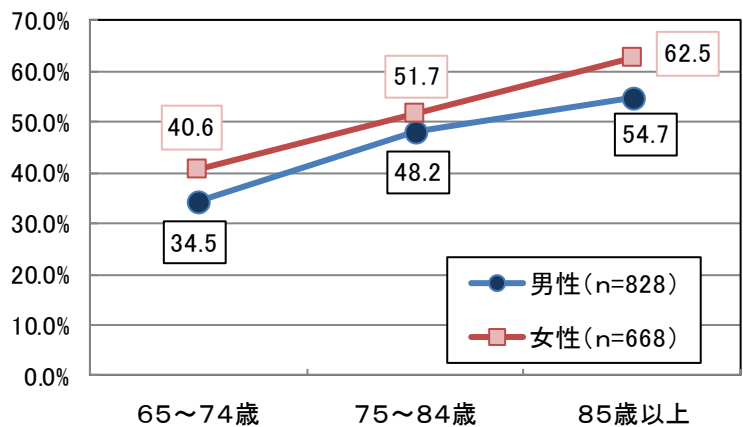
〔認知機能判定〕

■基本チェックリストに基づく認知機能判定の該当者の割合は全体で43.9%となっている。



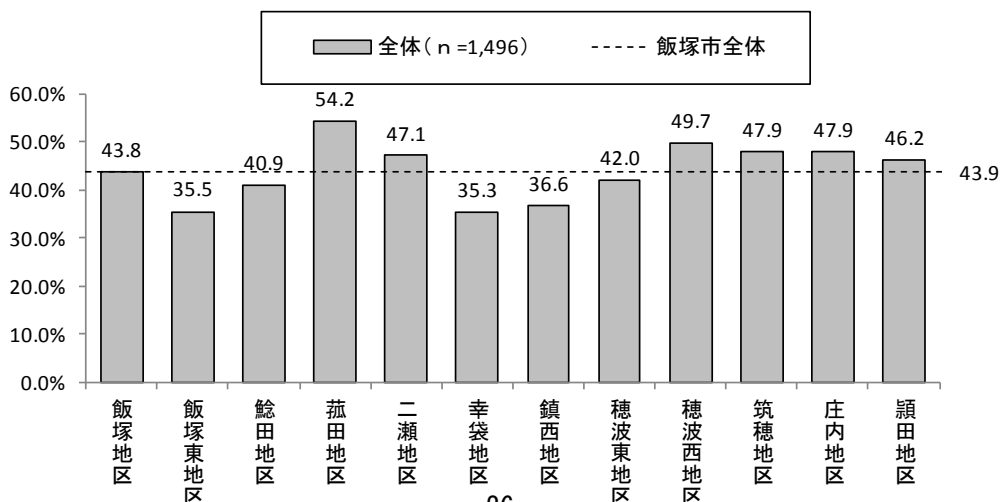
〔性・年齢別 認知機能判定（「該当」の割合）〕

■性・年齢別にみると、該当者の割合は男女ともに年齢とともに高くなっているが、各年齢層とも男性に比べ女性の該当者の割合が高くなっている。特に、女性85歳以上の高齢者で該当者が6割以上を占める。



〔居住地区別 認知機能判定（「該当」の割合）〕

■居住地区別にみると、該当者の割合は菰田地区(54.2%)で最も高く、幸袋地区(35.3%)で最も低くなっている。

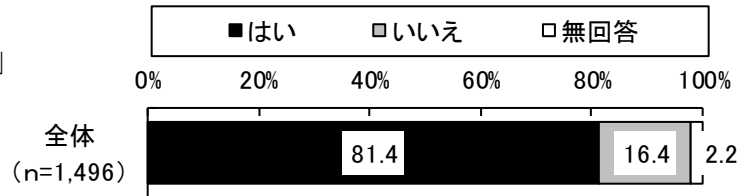


② 自分で電話番号を調べ、電話をかけるか

問番号	内容	
問4	(2)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

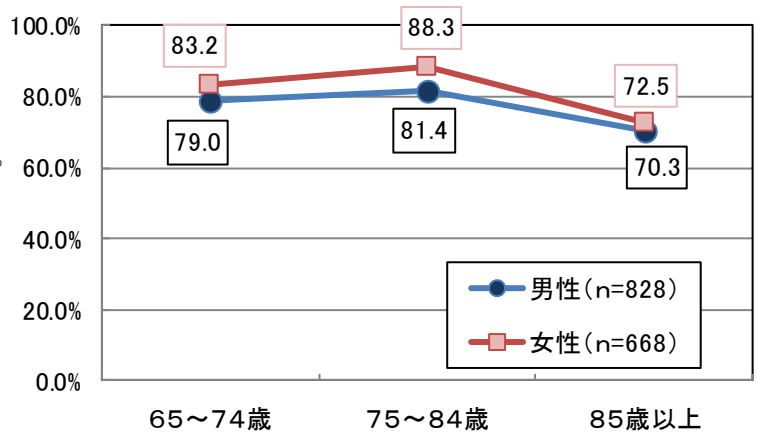
〔自分で電話番号を調べ、電話をかけるか〕

■自分で電話番号を調べ、電話をかけるかについて、「はい(電話をかける)」の割合は全体で81.4%と非常に高くなっている。



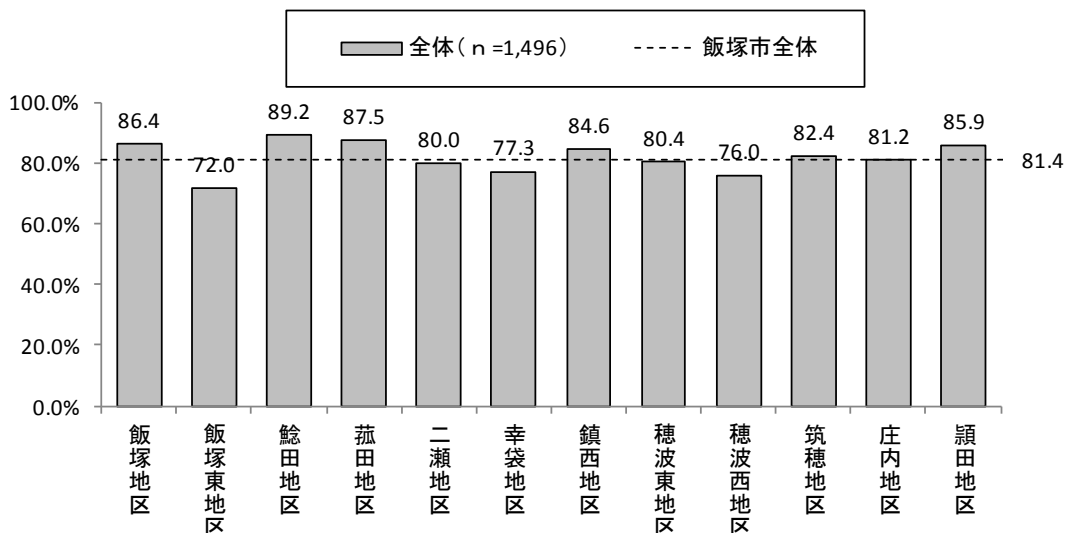
〔性・年齢別 自分で電話番号を調べ、電話をかけるか (「はい(電話をかける)」の割合)〕

■性・年齢別にみると、「はい(電話をかける)」の割合に男女差はほとんどないが、85歳以上の高齢者で「はい(電話をかける)」の割合が落ち込む。



〔居住地区別 自分で電話番号を調べ、電話をかけるか (「はい」の割合)〕

■居住地区別にみると、いずれの地区も7割以上の高齢者が「自分で電話番号を調べ、電話をかけられる」と回答している。



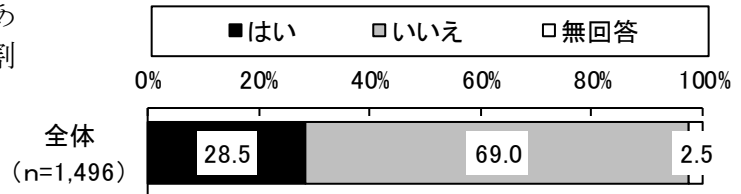
## 第2章 調査結果

### ③ 今日が何月何日かわからない時があるか

問番号	内容	
問4	(3)	今日が何月何日かわからない時がありますか

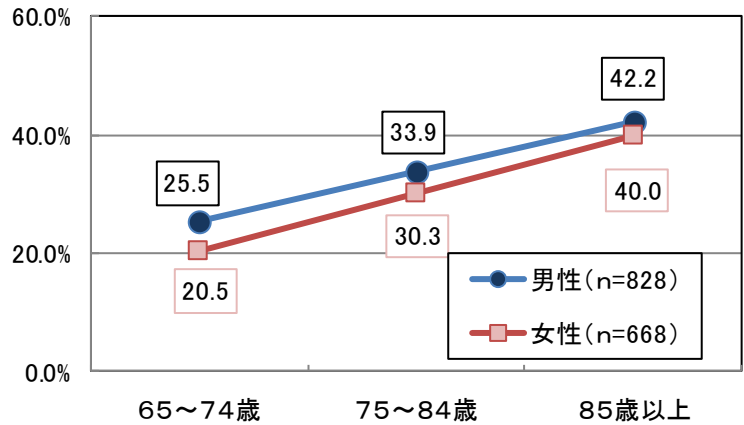
#### 〔今日が何月何日かわからない時があるか〕

■ 今日が何月何日かわからない時があるかについて、「はい（ある）」の割合は全体で28.5%となっている。



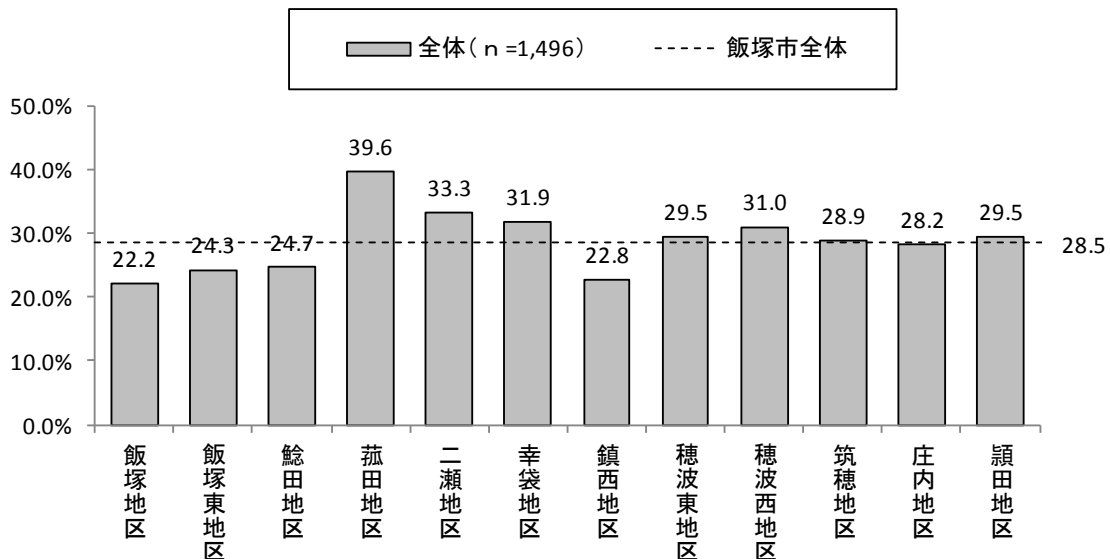
#### 〔性・年齢別 今日が何月何日かわからない時があるか（「はい（ある）」の割合）〕

■ 性・年齢別にみると、「はい（ある）」の割合に男女差はほとんどないが、年齢とともに高くなり、85歳以上の高齢者では4割以上を占める。



#### 〔居住地区別 今日が何月何日かわからない時があるか（「はい（ある）」の割合）〕

■ 居住地区別にみると、「今日が何月何日かわからない時がある」人の割合は菰田地区（39.6%）で最も高く、飯塚地区（22.2%）で最も低くなっている。





(2) 手段的自立度 (IADL)

① 手段的自立度 (IADL)

IADLは、日常生活を送る上で必要な動作のうち、買物や食事の用意等の家事全般や、外出して乗り物に乗ること、金銭管理等の動作を指し、項目ごとの自立度で評価する。

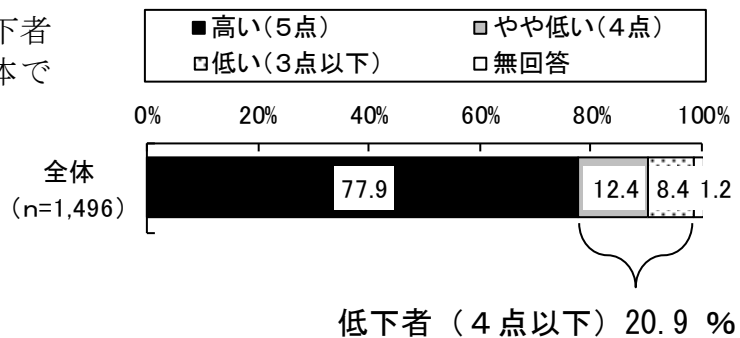
本調査では、各項目を点数化し、その合計で自立度が「高い(5点)」、「やや低い(4点)」、「低い(3点以下)」と分類し集計を行っている。

このうち、「やや低い(4点)」または「低い(3点以下)」に該当した場合、手段的自立度(IADL)の低下者(4点以下)と判定する。

問番号	内容	回答	点数化
問4	(4) バスや電車を使って1人で外出していますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	1点 1点 0点
	(5) 食品や日用品の買物をしていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	1点 1点 0点
	(6) 食事の用意をしていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	1点 1点 0点
	(7) 請求書の支払をしていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	1点 1点 0点
	(8) 預貯金の出し入れをしていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	1点 1点 0点

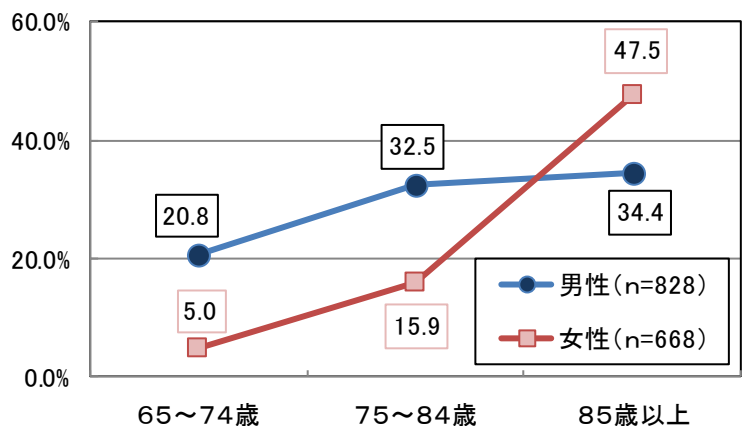
〔手段的自立度[IADL]〕

■手段的自立度 (IADL) の低下者 (4点以下の者) の割合は全体で20.9%となっている。



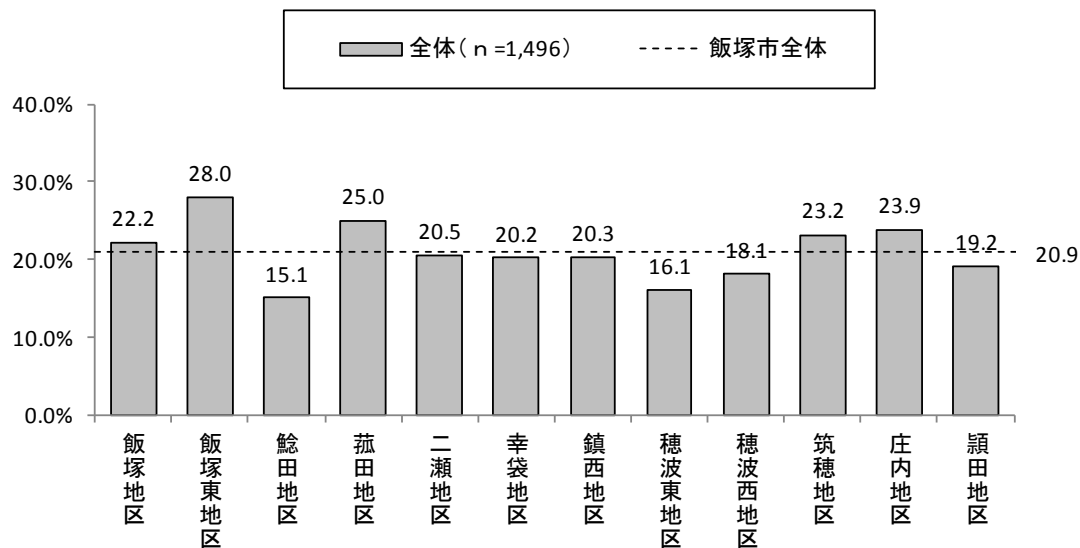
〔性・年齢別 手段的自立度[IADL] (低下者の割合)〕

■性・年齢別にみると、低下者の割合は75~84歳まで女性より男性の割合が高くなっている。一方、女性の65~74歳までは低下者が1割に満たないが、75歳以上になると低下者が増加し、85歳以上では約5割を占める。



〔居住地区別 手段的自立度〔IADL〕（低下者の割合）〕

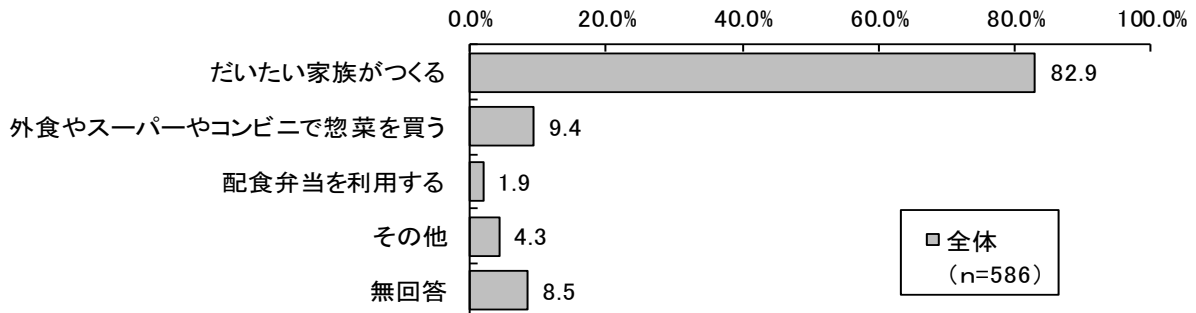
■居住地区別にみると、低下者の割合は飯塚東地区(28.0%)で最も高く、鯉田地区(15.1%)で最も低くなっている。



② 食事をどのように用意しているか

問番号	内容
問4 ①	【(6)において「1. (自分で食事の用意を)できるし、している」以外の方のみ食事はどのように用意していますか

〔食事をどのように用意しているか（複数回答）〕



■自分で食事の用意をしていない回答者が、食事をどのように用意しているかについては、「だいたい家族がつくる」（82.9%）が最も高い。

〔性・年齢別 居住地区別 食事をどのように用意しているか（%）〕

	調査数「人」	くだ	買	外	配	そ	無
		いた	う	食	食	の	回
		い	コン	や	弁	他	答
		たい	ビニ	スー	当を		
		家族	で惣	パー	を利用		
		がつ	菜を	や	す		
		つ	を				
全体	586	82.9	9.4	1.9	4.3	8.5	
性・年齢別	【男性計】	503	85.3	8.7	1.6	2.4	8.5
	65～74歳	286	83.2	11.2	1.4	2.4	9.4
	75～84歳	177	88.1	4.5	0.6	1.7	9.0
	85歳以上	40	87.5	10.0	7.5	5.0	-
	【女性計】	83	68.7	13.3	3.6	15.7	8.4
	65～74歳	19	47.4	15.8	-	31.6	15.8
	75～84歳	25	68.0	20.0	-	12.0	8.0
	85歳以上	39	79.5	7.7	7.7	10.3	5.1
無回答	-	-	-	-	-	-	-
居住地区別	全体	586	82.9	9.4	1.9	4.3	8.5
	飯塚地区	67	79.1	13.4	3.0	4.5	9.0
	飯塚東地区	54	72.2	7.4	-	3.7	18.5
	鯉田地区	29	86.2	6.9	3.4	-	6.9
	菰田地区	22	81.8	4.5	-	18.2	4.5
	二瀬地区	77	77.9	14.3	-	2.6	11.7
	幸袋地区	45	86.7	8.9	-	6.7	2.2
	鎮西地区	56	87.5	7.1	1.8	3.6	5.4
	穂波東地区	38	81.6	2.6	5.3	2.6	13.2
	穂波西地区	68	83.8	11.8	2.9	7.4	7.4
	筑穂地区	58	86.2	10.3	3.4	3.4	6.9
	庄内地区	47	89.4	8.5	-	2.1	6.4
	舘田地区	25	92.0	4.0	4.0	-	4.0
	無回答	-	-	-	-	-	-

■性・年齢別にみると、女性は年齢とともに「だいたい家族がつくる」の割合が高くなっている。

(3) 知的能動性

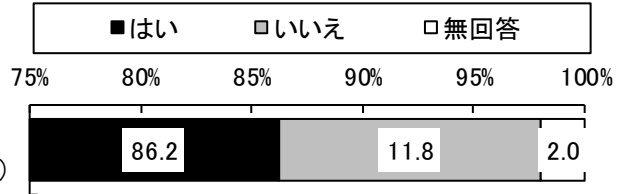
① 年金などの書類が書けるか

問番号	内容	
問4	(9)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

〔年金などの書類が書けるか〕

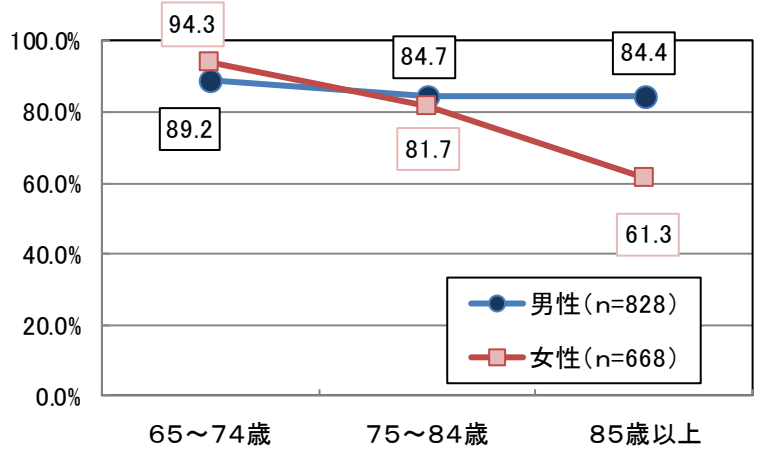
■年金などの書類が書けるかについて、「はい（書ける）」の割合は全体で86.2%と非常に高くなっている。

全体  
(n=1,496)



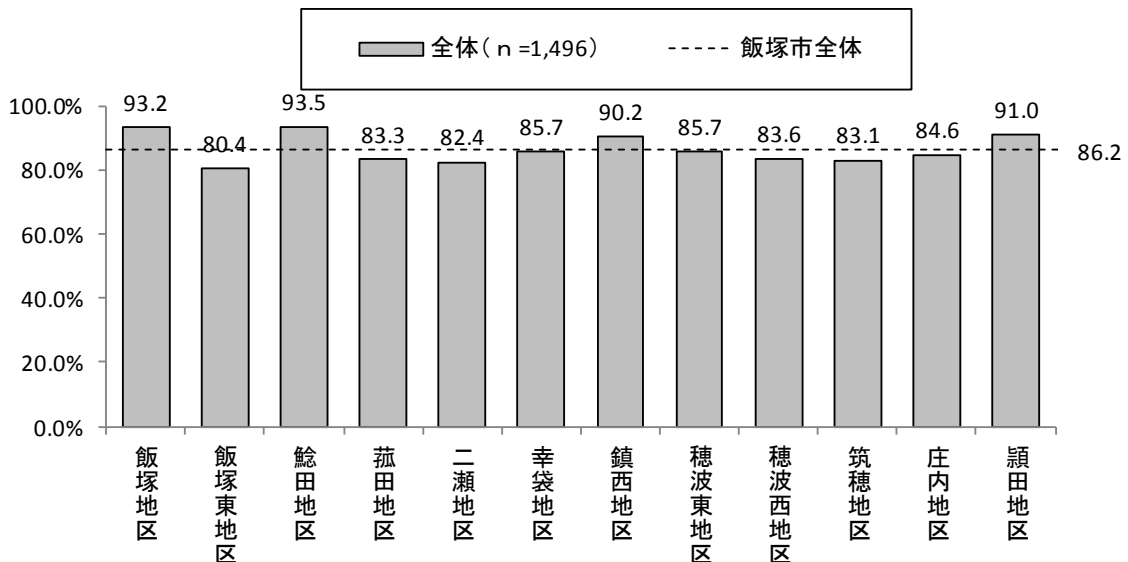
〔性・年齢別 年金などの書類が書けるか（「はい（書ける）」の割合）〕

■性・年齢別にみると、「はい（書ける）」の割合は、男性は各年齢層でほとんど変化がないが、女性は年齢とともに低くなり、85歳以上の高齢者では約6割まで落ち込む。



〔居住地区別 年金などの書類が書けるか（「はい（書ける）」の割合）〕

■居住地区別にみると、いずれの地区も8割以上の高齢者が「年金などの書類を書ける」と回答している。

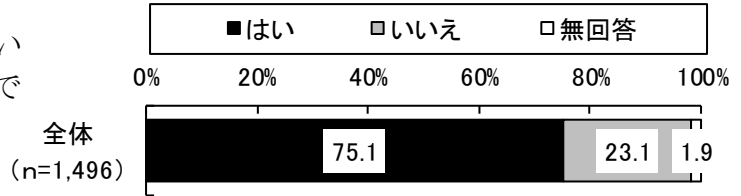


② 新聞を読んでいるか

問番号	内容	
問4	(10)	新聞を読んでいますか

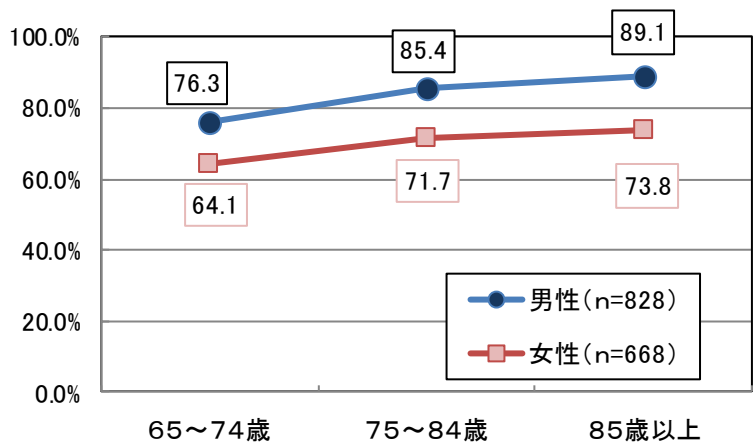
〔新聞を読んでいるか〕

■新聞を読んでいるかについて、「はい（読んでいる）」の割合は、全体で75.1%となっている。



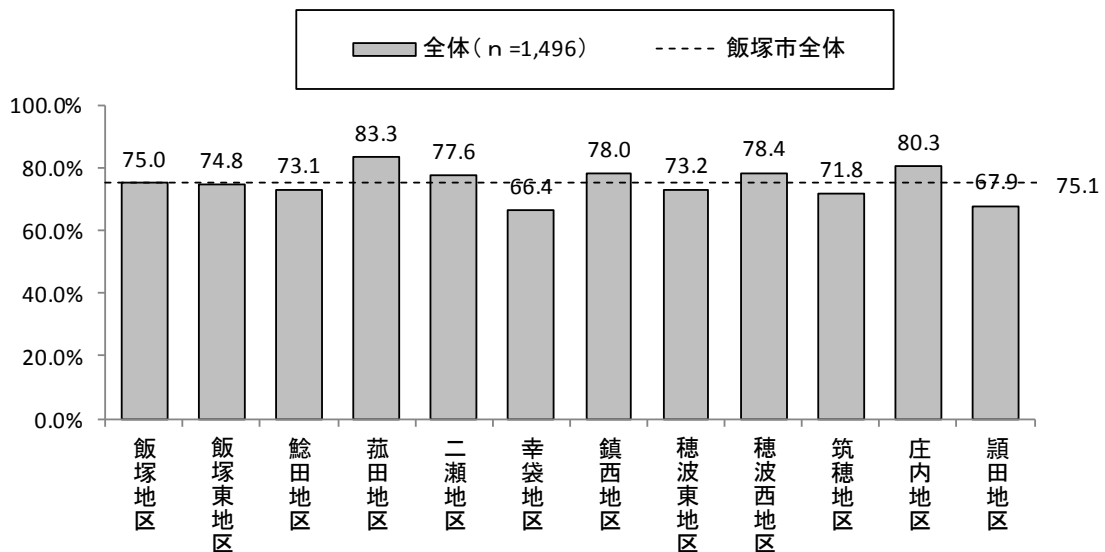
〔性・年齢別 新聞を読んでいるか（「はい（読んでいる）」の割合）〕

■性・年齢別にみると、「はい（読んでいる）」の割合は男女とも年齢とともに高くなっているが、各年齢層とも女性に比べ男性の「はい（読んでいる）」の割合が高くなっている。



〔居住地区別 新聞を読んでいるか（「はい（読んでいる）」の割合）〕

■居住地区別にみると、いずれの地区も6割以上の高齢者が「新聞を読んでいる」と回答している。



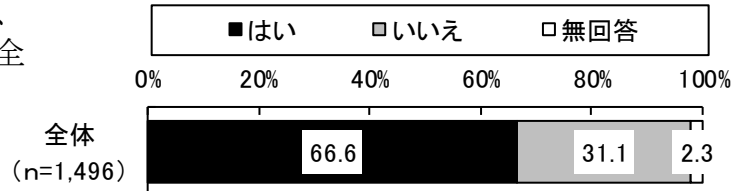
## 第2章 調査結果

### ③ 本や雑誌を読んでいるか

問番号	内容	
問4	(11)	本や雑誌を読んでいますか

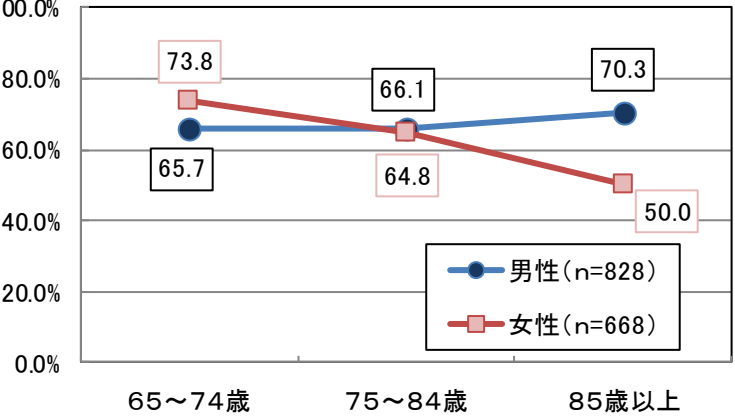
#### 〔本や雑誌を読んでいるか〕

■本や雑誌を読んでいるかについて、「はい（読んでいる）」の割合は、全体で66.6%となっている。



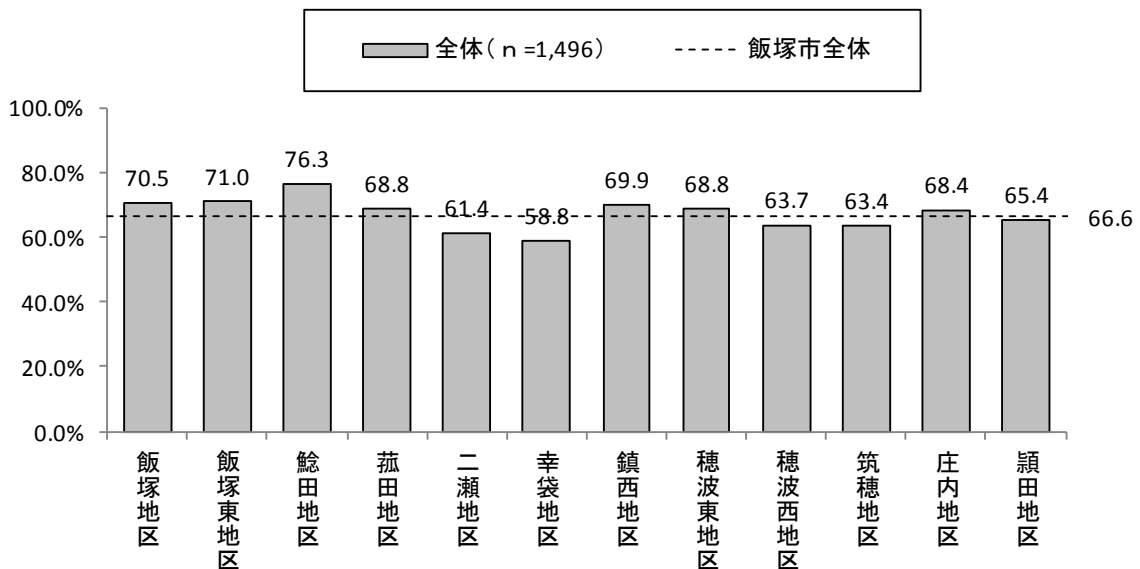
#### 〔性・年齢別 本や雑誌を読んでいるか（「はい（読んでいる）」の割合）〕

■性・年齢別にみると、「はい（読んでいる）」の割合は、男性は各年齢層でほとんど変化がないが、女性は年齢とともに低くなり、85歳以上の高齢者では約5割まで落ち込む。



#### 〔居住地区別 本や雑誌を読んでいるか（「はい（読んでいる）」の割合）〕

■居住地区別にみると、いずれの地区も5割以上の高齢者が「本や雑誌を読んでいる」と回答している。

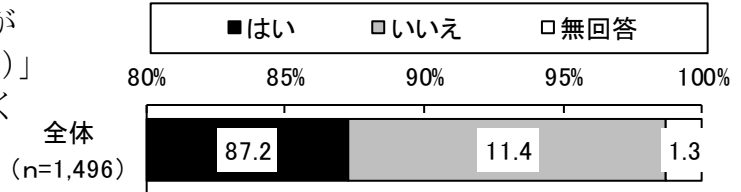


④ 健康についての記事や番組に関心があるか

問番号	内容	
問4	(12)	健康についての記事や番組に関心がありますか

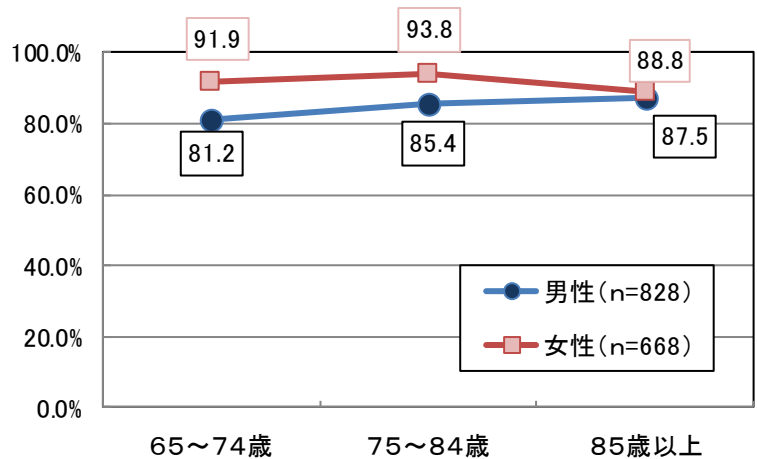
〔健康についての記事や番組に関心があるか〕

健康についての記事や番組に関心があるかについて、「はい（関心がある）」の割合は全体で87.2%と非常に高くなっている。



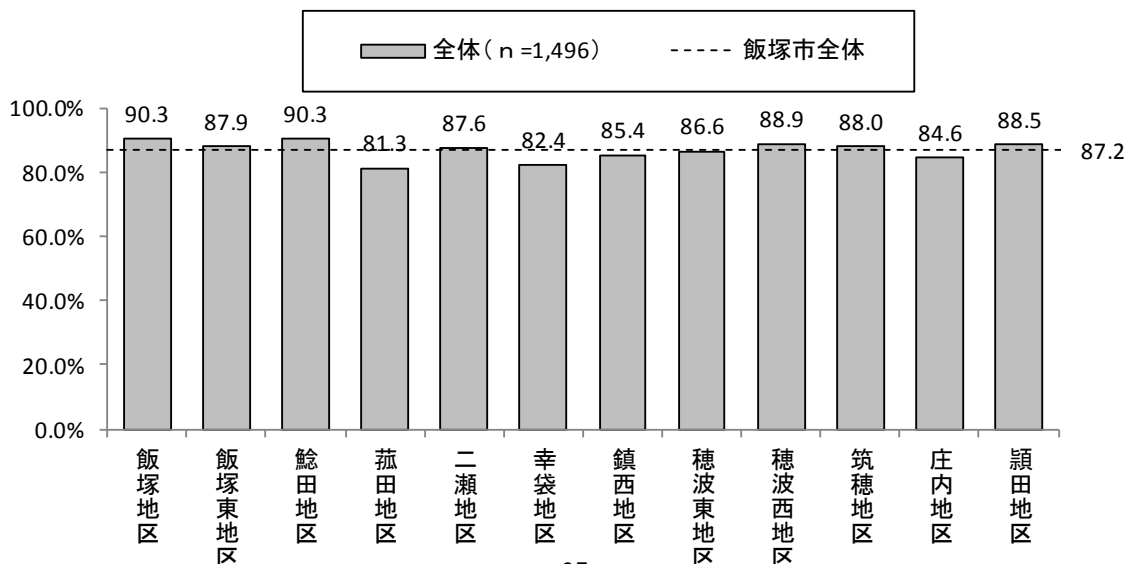
〔性・年齢別 健康についての記事や番組に関心があるか（「はい（関心がある）」の割合）〕

性・年齢別にみると、「はい（関心がある）」の割合は、いずれも8割以上を占める。



〔居住地区別 健康についての記事や番組に関心があるか（「はい（関心がある）」の割合）〕

居住地区別にみると、いずれの地区も8割以上の高齢者が「健康についての記事や番組に関心がある」と回答している。



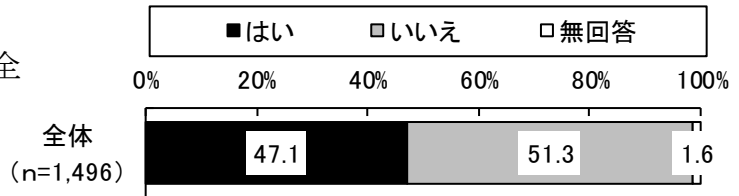
(4) 他社との関わり

① 友人の家を訪ねているか

問番号	内容	
問4	(13)	友人の家を訪ねていますか

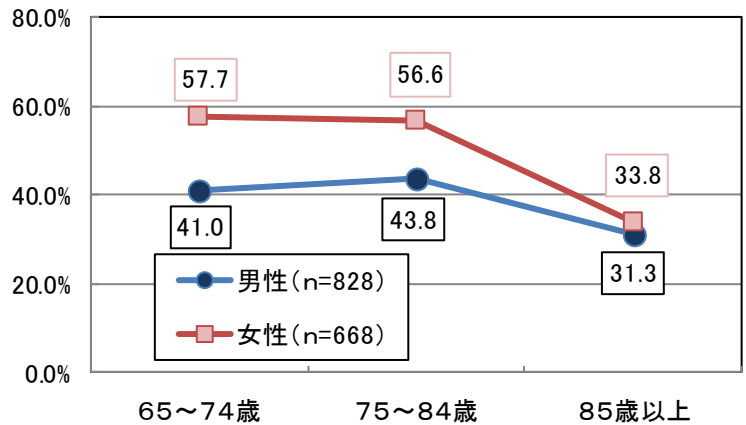
〔友人の家を訪ねているか〕

■友人の家を訪ねているかについて、「はい（訪ねている）」の割合は、全体で47.1%となっている。



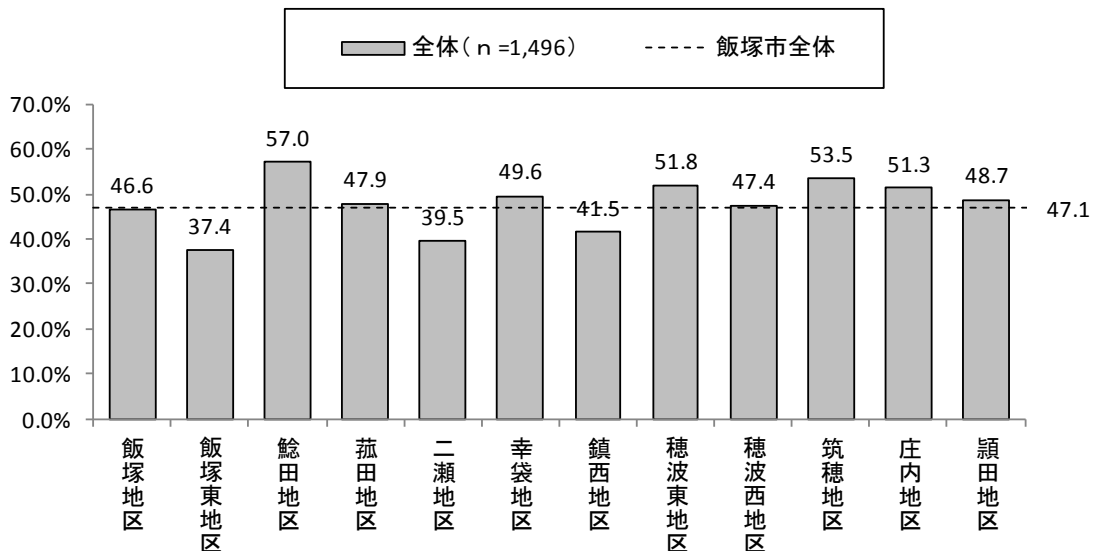
〔性・年齢別 友人の家を訪ねているか（「はい（訪ねている）」の割合）〕

■性・年齢別にみると、「はい（訪ねている）」の割合は、男女ともに85歳以上で大きく落ち込み約3割となる。



〔居住地区別 友人の家を訪ねているか（「はい（訪ねている）」の割合）〕

■居住地区別にみると、「友人の家を訪ねている」人の割合は、鯉田地区（57.0%）で最も高く、飯塚東地区（37.4%）で最も低くなっている。



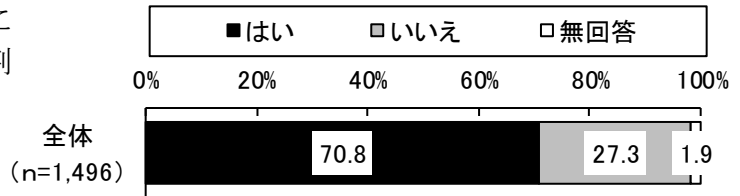


② 家族や友人の相談にのっているか

問番号	内容	
問4	(14)	家族や友人の相談にのっていますか

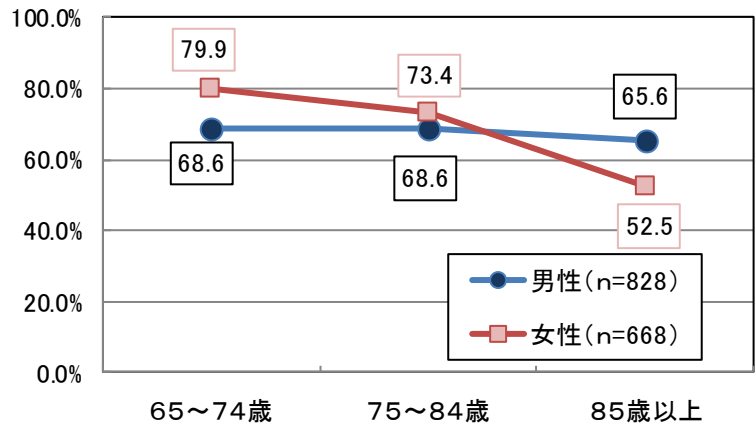
〔家族や友人の相談にのっているか〕

■家族や友人の相談にのっているかについて、「はい（のっている）」の割合は、全体で70.8%となっている。



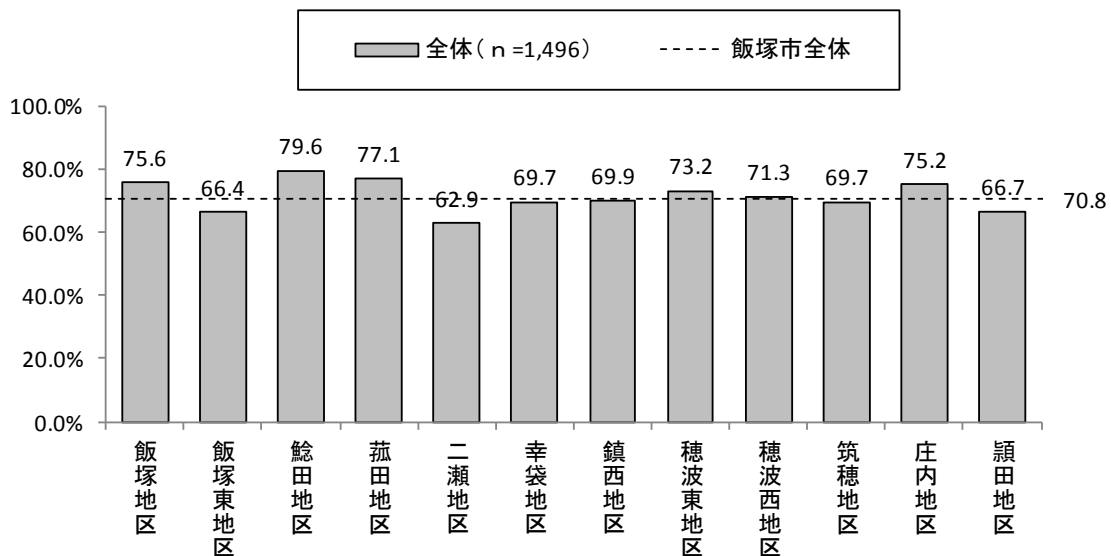
〔性・年齢別 家族や友人の相談にのっているか（「はい（のっている）」の割合）〕

■性・年齢別にみると、「はい（のっている）」の割合は、男性は各年齢層でほとんど変化がないが、女性は年齢とともに低くなり、85歳以上の高齢者では約5割まで落ち込む。



〔居住地区別 家族や友人の相談にのっているか（「はい（のっている）」の割合）〕

■居住地区別にみると、いずれの地区も6割以上の高齢者が「家族や友人の相談にのっている」と回答している。

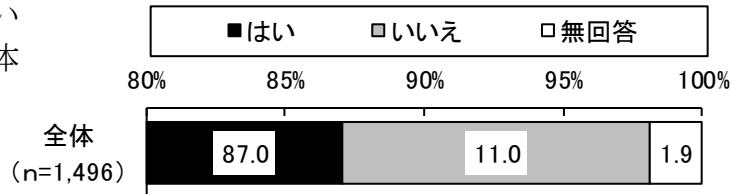


③ 病人を見舞うことができるか

問番号	内容	
問4	(15)	病人を見舞うことができますか

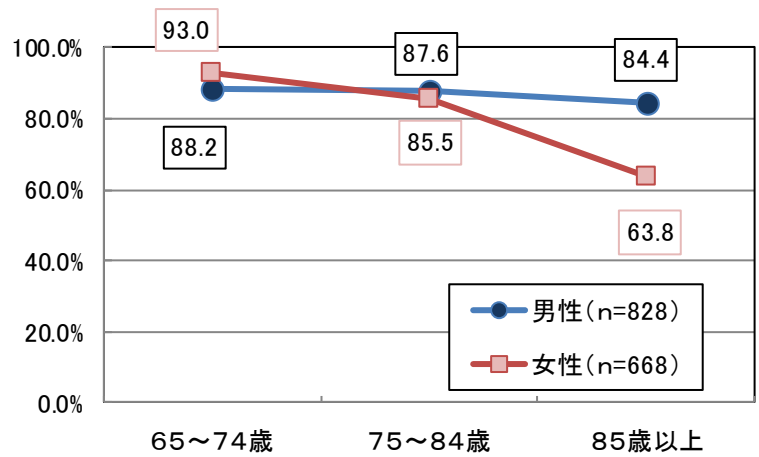
〔病人を見舞うことができるか〕

■病人を見舞うことができるかについて、「はい(できる)」の割合は、全体で87.0%と非常に高くなっている。



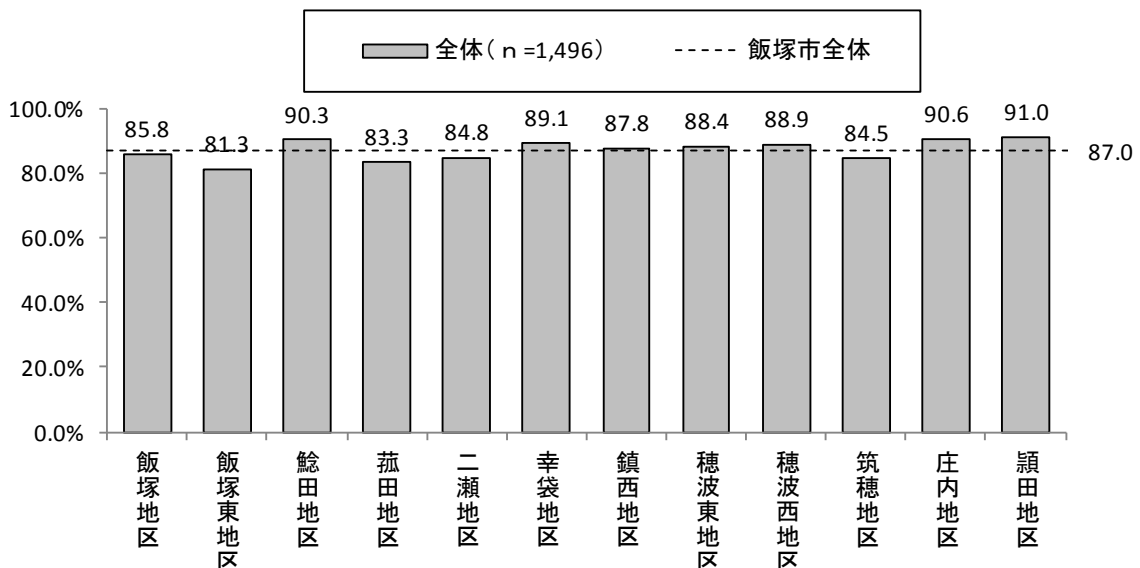
〔性・年齢別 病人を見舞うことができるか (「はい(できる)」の割合)〕

■性・年齢別にみると、「はい(できる)」の割合は、男性は各年齢層でほとんど変化がないが、女性は年齢とともに低くなり、85歳以上の高齢者では約6割まで落ち込む。



〔居住地区別 病人を見舞うことができるか (「はい(できる)」の割合)〕

■居住地区別にみると、いずれの地区も8割以上の高齢者が「病人を見舞うことができる」と回答している。

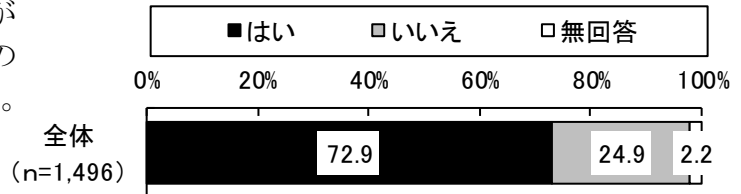


④ 若い人に自分から話しかけることがあるか

問番号	内容	
問4	(16)	若い人に自分から話しかけることがありますか

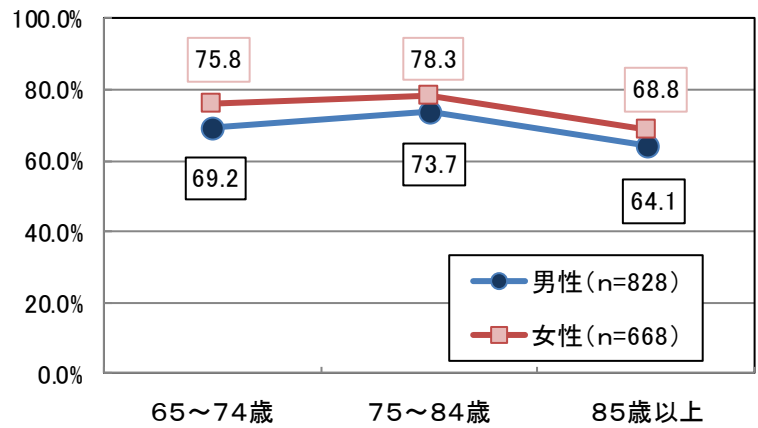
〔若い人に自分から話しかけることがあるか〕

■若い人に自分から話しかけることがあるかについて、「はい（ある）」の割合は、全体で72.9%となっている。



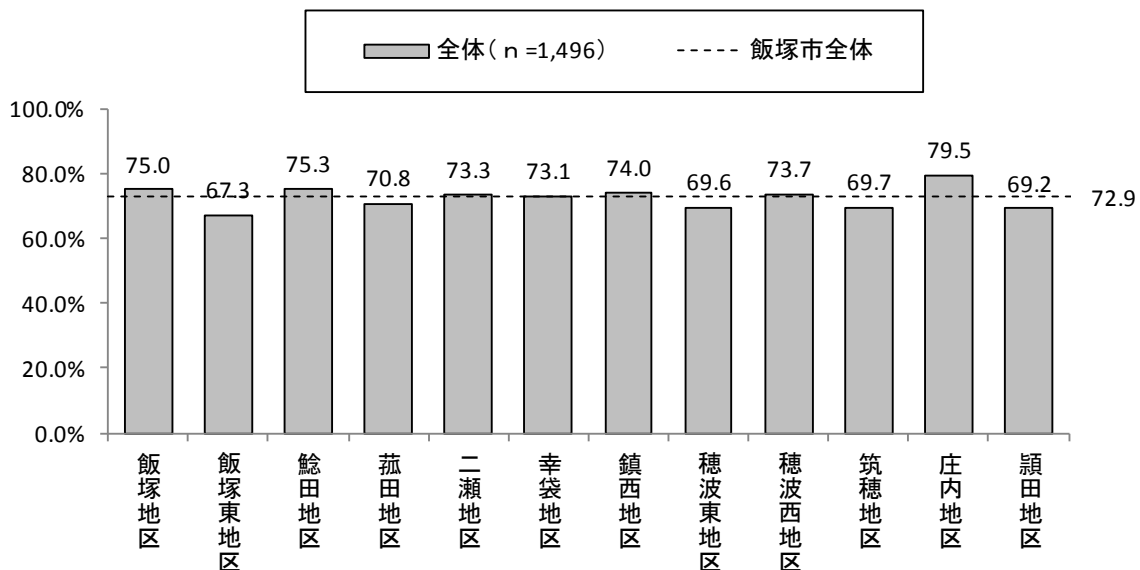
〔性・年齢別 若い人に自分から話しかけることがあるか（「はい（ある）」の割合）〕

■性・年齢別にみると、「はい（ある）」の割合に男女差はほとんどなく、いずれも6割以上を占める。



〔居住地区別 若い人に自分から話しかけることがあるか（「はい（ある）」の割合）〕

■居住地区別にみると、いずれの地区も約7割の高齢者が「若い人に自分から話しかけることがある」と回答している。



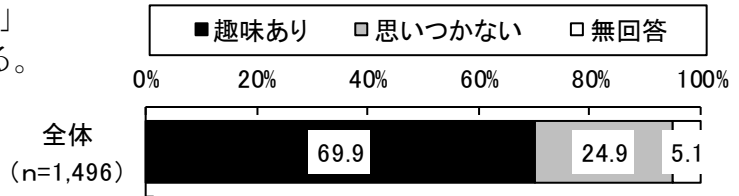
(5) 趣味・生きがい

① 趣味があるか

問番号	内容	
問4	(17)	趣味はありますか

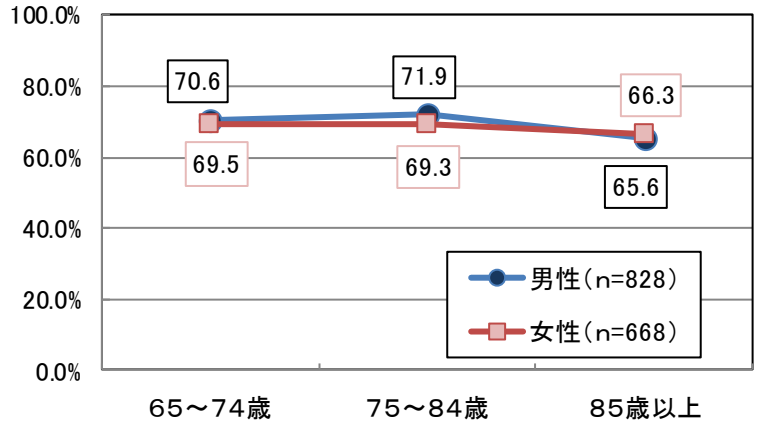
〔趣味があるか〕

■趣味があるかについて、「趣味あり」の割合は全体で69.9%となっている。



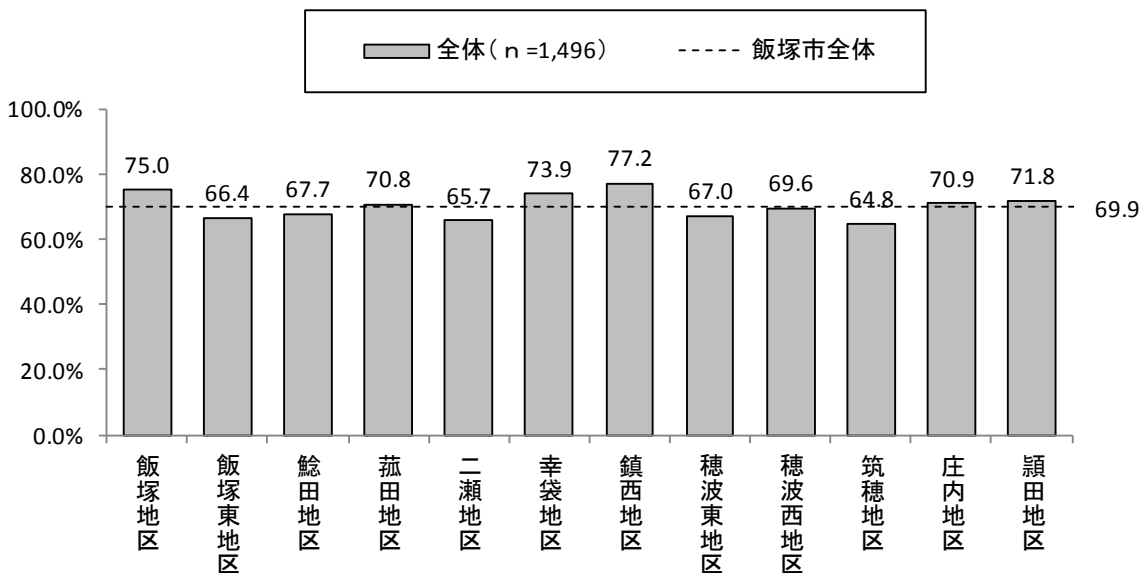
〔性・年齢別 趣味があるか（「趣味あり」の割合）〕

■性・年齢別にみると、「趣味あり」の割合に男女差はほとんどなく、いずれも6割以上を占める。



〔居住地区別 趣味があるか（「趣味あり」の割合）〕

■居住地区別にみると、いずれの地区も6割以上の高齢者が「趣味あり」と回答している。

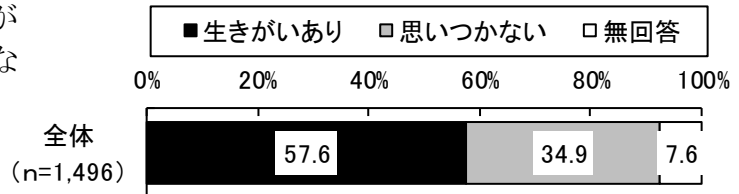


② 生きがいはあるか

問番号	内容	
問4	(18)	生きがいがありますか

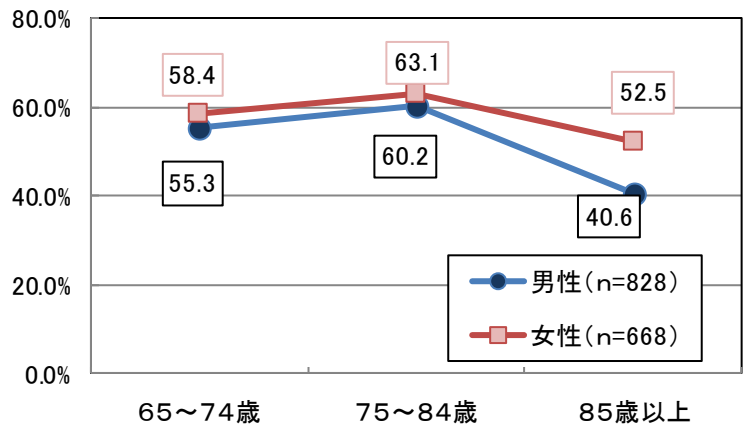
〔生きがいはあるか〕

■生きがいはあるかについて、「生きがいあり」の割合は全体で57.6%となっている。



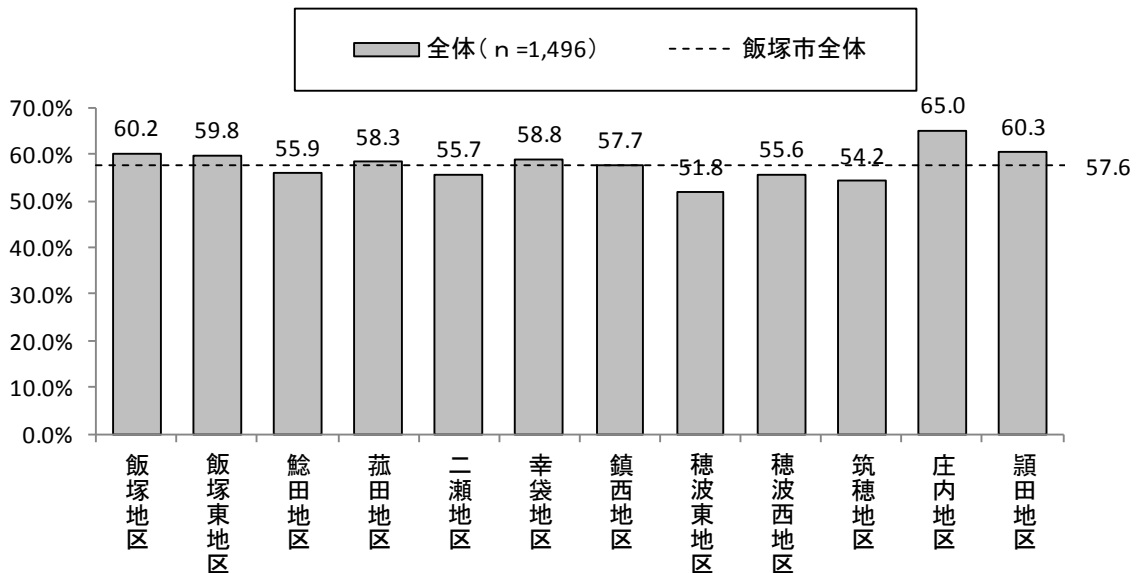
〔性・年齢別 生きがいはあるか (「生きがいあり」の割合)〕

■性・年齢別にみると、「生きがいあり」の割合は、男女ともに85歳以上で落ち込み、特に男性は約4割まで落ち込む。



〔居住地区別 生きがいはあるか (「生きがいあり」の割合)〕

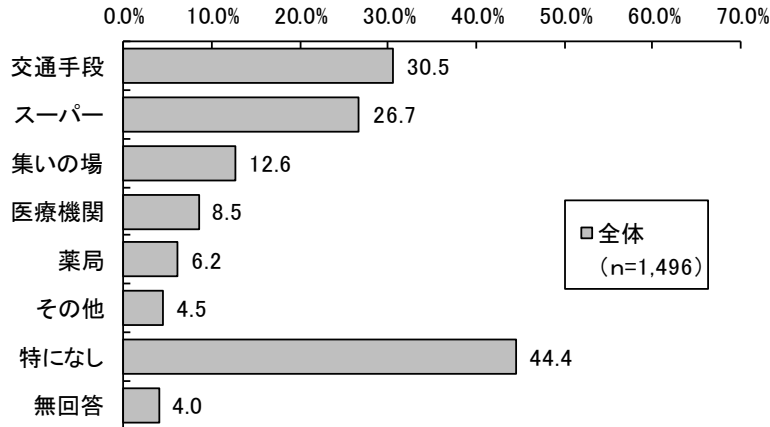
■居住地区別にみると、いずれの地区も5割以上の高齢者が「生きがいあり」と回答している。



(6) 現在暮らしている地域に足りないもの

問番号	内容
問4	(19) 現在暮らしている地域に、足りないと思うものはなんですか

〔現在暮らしている地域に足りないもの（複数回答）〕



■現在暮らしている地域に足りないものについては「特になし」(44.4%)の割合が最も高く、次いで「交通手段」(30.5%)、「スーパー」(26.7%)と続く。

〔居住地区別 現在暮らしている地域に足りないもの (%)〕

		調査数 「人」	特になし	交通手段	医療機関	薬局	スーパー	集いの場	その他	無回答
全体		1496	44.4	30.5	8.5	6.2	26.7	12.6	4.5	4.0
居住地区	飯塚地区	176	60.8	17.6	2.8	2.3	14.2	13.6	7.4	4.5
	飯塚東地区	107	54.2	21.5	7.5	4.7	17.8	13.1	8.4	0.9
	鯉田地区	93	46.2	12.9	10.8	15.1	30.1	6.5	2.2	4.3
	菰田地区	48	64.6	8.3	-	4.2	16.7	10.4	6.3	4.2
	二瀬地区	210	54.3	29.5	5.2	3.3	13.3	10.0	4.3	2.9
	幸袋地区	119	29.4	28.6	10.9	10.9	47.9	13.4	0.8	9.2
	鎮西地区	123	47.2	35.0	13.0	4.9	15.4	14.6	1.6	3.3
	穂波東地区	112	39.3	34.8	5.4	3.6	33.9	16.1	4.5	6.3
	穂波西地区	171	48.0	28.7	5.3	3.5	17.0	14.6	4.7	4.1
	筑穂地区	142	19.0	64.1	23.9	13.4	47.2	14.1	5.6	2.1
	庄内地区	117	47.0	29.9	6.0	1.7	16.2	10.3	4.3	3.4
	穎田地区	78	12.8	43.6	10.3	14.1	79.5	11.5	2.6	3.8
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■居住地区別にみると、「交通手段」「医療機関」は筑穂地区で最も高く、「薬局」は鯉田地区、「スーパー」は穎田地区、「集いの場」は穂波東地区で、地域に足りないと思う人の割合が最も高い。

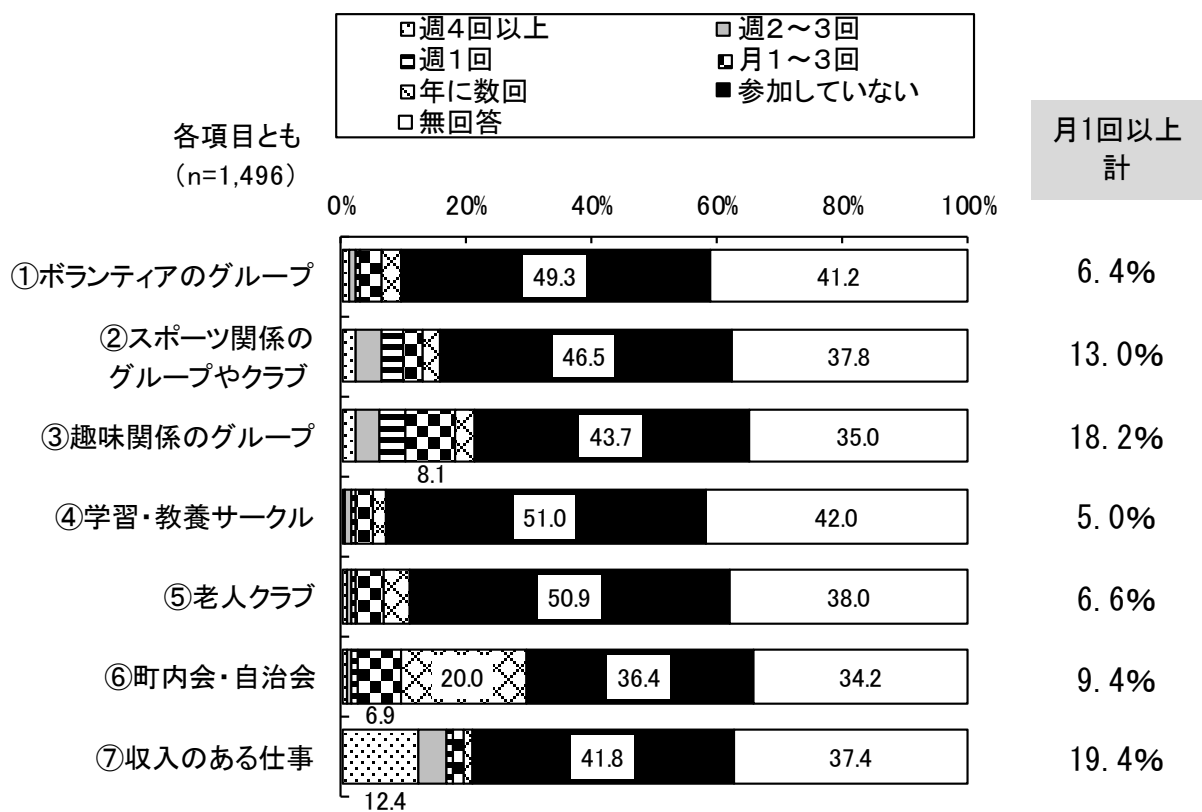
4 地域での活動について

ここでは、高齢者の地域活動や趣味活動の状況、地域づくりへの参加意向を把握する。

(1) 地域活動や趣味活動について

問番号	内容
問5	(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ※①～⑦それぞれに回答してください

〔地域活動や趣味活動への参加状況〕



■ 7つの地域活動や趣味活動について参加頻度を質問した。全活動とも「参加していない」がの割合が最も高い。月1回以上参加している人の割合は、『⑦収入のある仕事』(19.4%)で最も高く、次いで『③趣味関係のグループ』(18.2%)、『②スポーツ関係のグループやクラブ』(13.0%)となっている。

## 第2章 調査結果

〔性・年齢別、居住地区別、手段的自立度別 地域活動や趣味活動への参加状況（％）〕

「月1回以上参加」の割合

	調査数 〔人〕	グ① ボラン ティア の グ ル ー プ	グ② ス ポ ー ツ や ク ラ ブ の グ ル ー プ	ル③ 趣 味 関 係 の グ ル ー プ	ク④ 学 習 ・ 教 養 サ ー クル	⑤ 老 人 ク ラ ブ	⑥ 町 内 会 ・ 自 治 会	⑦ 収 入 の あ る 仕 事	
全体	1496	6.4	13.0	18.2	5.0	6.6	9.4	19.4	
性・ 年 齢 別	【男性計】	828	7.5	12.5	16.6	3.6	6.5	11.1	24.4
	65～74歳	490	6.3	11.7	14.7	2.4	3.2	11.8	33.8
	75～84歳	274	10.3	14.9	20.1	5.2	10.3	9.8	12.5
	85歳以上	64	4.7	9.4	17.3	6.4	15.6	10.9	3.2
	【女性計】	668	5.2	13.7	20.0	6.5	6.8	7.3	13.1
	65～74歳	298	7.0	17.0	20.2	7.4	3.3	6.0	24.4
	75～84歳	290	4.1	12.8	20.0	7.2	8.3	8.3	5.1
	85歳以上	80	2.5	5.2	20.1	1.3	15.1	10.1	0.0
無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.0	
全体	1496	6.4	13.0	18.2	5.0	6.6	9.4	19.4	
居 住 地 区	飯塚地区	176	7.9	15.3	23.3	5.1	4.0	6.8	22.2
	飯塚東地区	107	3.7	12.2	18.6	5.6	3.7	9.3	19.6
	鯉田地区	93	5.5	15.1	22.7	8.7	7.6	10.8	20.5
	菰田地区	48	12.5	18.9	12.5	10.5	12.5	25.1	20.9
	二瀬地区	210	4.3	10.0	17.1	2.9	3.9	6.3	23.9
	幸袋地区	119	1.6	12.7	16.8	2.5	5.0	6.6	17.6
	鎮西地区	123	6.5	13.8	16.3	5.7	2.4	8.1	20.3
	穂波東地区	112	5.4	11.7	13.4	3.6	3.6	6.3	18.8
	穂波西地区	171	6.5	13.5	19.2	4.2	8.2	9.4	17.0
	筑穂地区	142	9.8	15.4	12.6	6.3	12.0	10.6	18.3
	庄内地区	117	5.1	9.5	18.8	4.3	12.8	9.4	15.4
	穎田地区	78	15.4	14.1	25.6	6.4	11.6	23.1	14.2
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
	全体	1496	6.4	13.0	18.2	5.0	6.6	9.4	19.4
手 段 的 自 立 度 ( I A D L )	高い	1166	7.1	14.4	19.5	5.8	7.0	9.7	20.8
	やや低い	186	6.4	10.2	16.1	3.2	6.9	11.3	18.3
	低い	126	0.8	4.0	11.1	-	3.2	4.8	8.0
	無回答	18	5.6	16.7	-	-	5.6	11.2	16.7

■性・年齢別に月1回以上参加している人の割合をみると、『①ボランティアのグループ』や『⑥町内会・自治会』『⑦収入のある仕事』の割合は女性より男性で高く、『③趣味関係のグループ』や『④学習・教養サークル』の割合は、全体的に男性より女性の割合が高い。

■居住地区別にみると、『①ボランティアのグループ』『③趣味関係のグループ』は穎田地区、『②スポーツ関係のグループや食クラブ』『④学習・教養サークル』『⑥町内会・自治会』は菰田地区、『⑦収入のある仕事』は二瀬地区の割合が、最も高くなっている。

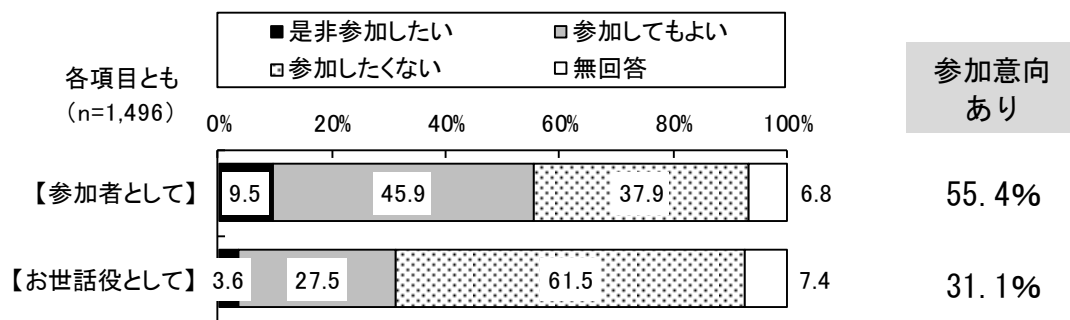
■手段的自立度（IADL）別にみると、『⑥町内会・自治会』を除くいずれの活動も自立度が高い人ほど参加の割合が高く、なかでも『②スポーツ関係のグループやクラブ』、『③趣味関係のグループ』『⑦収入のある仕事』で顕著である。



## (2) 地域づくりについて

問番号	内容
問5	(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>参加者として</u> 参加してみたいと思いますか
問5	(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>企画・運営(お世話役)として</u> 参加してみたいと思いますか

## 〔地域づくりへの参加意向〕



■地域づくりを進めるためのグループ活動について、【参加者として】の参加意向は「参加してもよい」(45.9%)の割合が約半数を占め、「是非参加したい」をあわせると5割強と参加者としては比較的前向きな様子が見えてくる。

■一方、『お世話役として』の参加意向は「参加したくない」(61.5%)の割合が6割以上を占め、「参加してもよい」(27.5%)や「是非参加したい」(3.6%)を上回る。

## 第2章 調査結果

〔性・年齢別、居住地区別、手段的自立度別 地域づくりへの参加意向（％）〕

	調査数 〔人〕	参加者として				お世話役として				
		是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答	
全体	1496	9.5	45.9	37.9	6.8	3.6	27.5	61.5	7.4	
性・年齢別	【男性計】	828	8.9	48.1	37.8	5.2	3.1	31.8	59.5	5.6
	65～74歳	490	6.9	50.8	39.0	3.3	3.7	31.8	61.0	3.5
	75～84歳	274	10.9	46.4	33.6	9.1	2.2	32.5	55.8	9.5
	85歳以上	64	15.6	34.4	46.9	3.1	3.1	28.1	64.1	4.7
	【女性計】	668	10.2	43.1	38.0	8.7	4.2	22.2	63.9	9.7
	65～74歳	298	10.7	47.0	35.9	6.4	5.4	25.2	63.1	6.4
	75～84歳	290	10.3	42.4	36.6	10.7	3.1	22.4	61.7	12.8
	85歳以上	80	7.5	31.3	51.3	10.0	3.8	10.0	75.0	11.3
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	
居住地区	全体	1496	9.5	45.9	37.9	6.8	3.6	27.5	61.5	7.4
	飯塚地区	176	6.8	46.0	42.0	5.1	2.8	26.7	63.6	6.8
	飯塚東地区	107	2.8	46.7	43.9	6.5	1.9	19.6	71.0	7.5
	鯉田地区	93	9.7	48.4	36.6	5.4	5.4	26.9	59.1	8.6
	菰田地区	48	8.3	50.0	35.4	6.3	2.1	31.3	58.3	8.3
	二瀬地区	210	9.5	44.3	40.0	6.2	1.4	23.3	68.1	7.1
	幸袋地区	119	10.1	47.9	36.1	5.9	0.8	30.3	62.2	6.7
	鎮西地区	123	6.5	52.0	36.6	4.9	5.7	28.5	61.0	4.9
	穂波東地区	112	9.8	45.5	34.8	9.8	6.3	32.1	52.7	8.9
	穂波西地区	171	15.2	47.4	30.4	7.0	7.0	29.2	55.6	8.2
	筑穂地区	142	12.7	45.8	31.0	10.6	2.8	33.1	55.6	8.5
	庄内地区	117	8.5	37.6	48.7	5.1	1.7	26.5	64.1	7.7
	額田地区	78	11.5	39.7	39.7	9.0	6.4	24.4	62.8	6.4
		無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
手段的自立度	全体	1496	9.5	45.9	37.9	6.8	3.6	27.5	61.5	7.4
	高い	1166	10.6	49.4	34.1	5.8	4.1	29.9	59.3	6.7
	やや低い	186	6.5	40.3	45.2	8.1	0.5	27.4	65.1	7.0
	低い	126	4.0	22.2	63.5	10.3	4.0	7.1	77.0	11.9
	無回答	18	5.6	38.9	27.8	27.8	-	11.1	61.1	27.8

■性・年齢別にみると、【参加者として】の参加意向は性別による大きな差はみられないが、【お世話役として】の参加意向は、「参加してもよい」とする人は男性（34.9％）で高く、「参加したくない」とする人は女性（63.9％）で高くなっている。

■手段的自立度（IADL）別にみると、【参加者として】【お世話役として】のいずれも自立度が高い人ほど地域づくりへの参加意向が高く、自立度が低い人ほど「参加したくない」の割合が高くなっている。

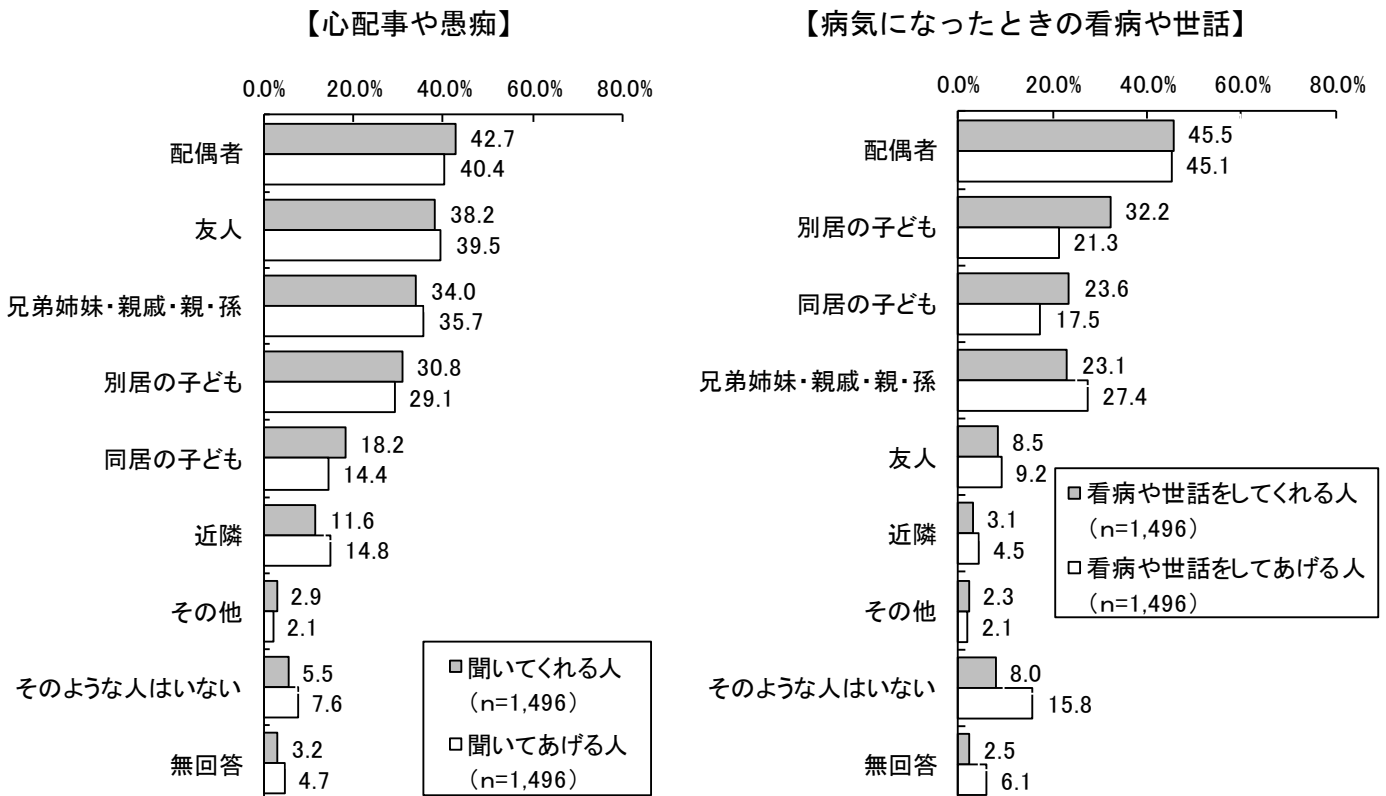
## 5 たすけあいについて

ここでは、高齢者のたすけあいの状況を把握する。

## (1) たすけあいの状況

問番号	内容
問6 (1)	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人
問6 (2)	反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人
問6 (3)	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
問6 (4)	反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人

## 〔たすけあいの状況（複数回答）〕



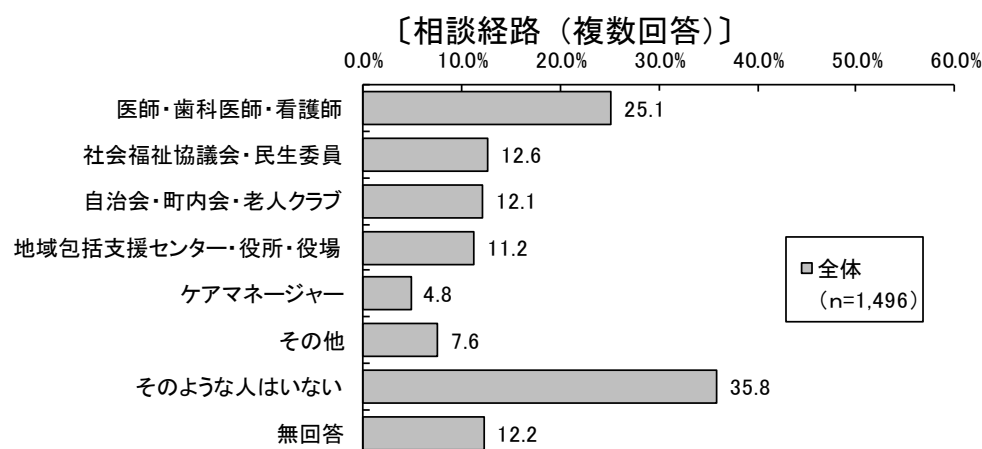
■心配事や愚痴については、『聞いてくれる人』『聞いてあげる人』ともに「配偶者」の割合が4割を超えており、これに「友人」や「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「別居の子ども」が約3割～4割弱で続いている。

■病気で数日間寝込んだときの看病や世話についても、『看病・世話をしてくれる人』『看病・世話をしてあげる人』ともに「配偶者」の割合が4割を超えて最も高く、これに「別居の子ども」「同居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が約1割～3割台で続いている。

## 第2章 調査結果

### (2) 相談経路

問番号	内容
問6	(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください



■ 家族や友人・知人以外の相談経路は、「そのような人はいない」(35.8%)が最も高く、次いで、「医師・歯科医師・看護師」(25.1%)、『社会福祉協議会・民生委員』(12.6%)と続く。

〔居住地区別 相談経路 (%)〕

	調査数 〔人〕	相談経路 (%)								
		老人 クラブ ・ 町内 会 ・	自治 会 ・ 町内 会 ・	民生 委員	社会 福祉 協議 会 ・	ケ ア マ ネ ー ジ ャ ー	看 護 師 ・ 歯 科 医 師 ・	地 域 ・ 包 括 支 援 セ ン タ ー ・ 役 所 ・ 役 場	そ の 他	な い の よ う な 人 は い ない
全 体	1496	12.1	12.6	4.8	25.1	11.2	7.6	35.8	12.2	
居 住 地 区	飯塚地区	176	10.2	6.8	3.4	27.3	6.8	5.7	36.9	14.2
	飯塚東地区	107	11.2	19.6	0.9	22.4	13.1	11.2	29.0	15.9
	鯉田地区	93	12.9	16.1	4.3	33.3	12.9	5.4	33.3	8.6
	菰田地区	48	16.7	12.5	6.3	35.4	10.4	6.3	27.1	10.4
	二瀬地区	210	10.0	13.3	4.3	24.8	8.6	4.3	39.5	12.4
	幸袋地区	119	13.4	10.9	7.6	22.7	13.4	7.6	39.5	9.2
	鎮西地区	123	13.8	12.2	5.7	22.0	10.6	10.6	40.7	9.8
	穂波東地区	112	8.9	10.7	2.7	25.9	10.7	10.7	33.9	15.2
	穂波西地区	171	9.9	12.9	7.0	16.4	12.3	8.2	38.6	12.9
	筑穂地区	142	14.8	17.6	7.0	27.5	11.3	9.9	28.2	12.0
	庄内地区	117	8.5	11.1	6.0	29.1	11.1	6.0	39.3	8.5
	顛田地区	78	24.4	9.0	1.3	24.4	19.2	7.7	32.1	16.7
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■ 居住地区別にみると、「そのような人はいない」の割合は、鎮西地区(40.7%)で最も高く、次いで二瀬地区と幸袋地区(ともに39.5%)、庄内地区(39.3%)となっている。

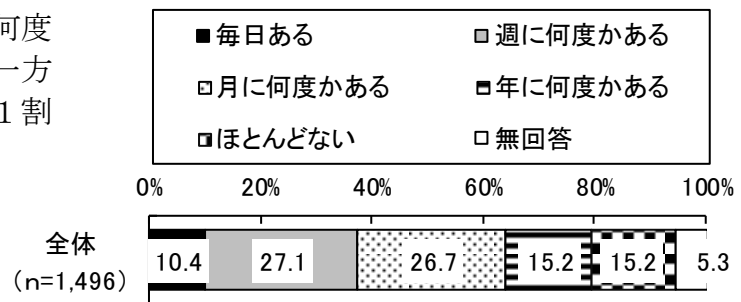
(3) 友人関係

① 友人・知人と会う頻度

問番号	内容	
問6	(6)	友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

〔友人・知人と会う頻度〕

■友人・知人と会う頻度は、「週に何度かある」(27.1%)で最も高く、一方で「ほとんどない」(15.2%)は1割強を占める。



〔性・年齢別、居住地区別 友人・知人と会う頻度 (%)〕

	調査数「人」	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答	
全体	1496	10.4	27.1	26.7	15.2	15.2	5.3	
性・年齢別	【男性計】	828	9.4	25.5	24.4	17.5	17.3	5.9
	65～74歳	490	11.0	26.5	23.7	17.8	15.1	5.9
	75～84歳	274	7.3	26.3	24.8	16.8	19.7	5.1
	85歳以上	64	6.3	14.1	28.1	18.8	23.4	9.4
	【女性計】	668	11.5	29.2	29.6	12.4	12.6	4.6
	65～74歳	298	10.4	32.2	29.9	12.4	12.1	3.0
	75～84歳	290	14.1	27.9	28.3	11.4	11.7	6.6
	85歳以上	80	6.3	22.5	33.8	16.3	17.5	3.8
無回答	-	-	-	-	-	-	-	
居住地区	全体	1496	10.4	27.1	26.7	15.2	15.2	5.3
	飯塚地区	176	13.1	24.4	25.6	20.5	13.1	3.4
	飯塚東地区	107	11.2	28.0	27.1	13.1	15.9	4.7
	鯉田地区	93	12.9	31.2	29.0	14.0	10.8	2.2
	菰田地区	48	2.1	31.3	25.0	14.6	18.8	8.3
	二瀬地区	210	10.0	26.2	27.1	16.7	14.3	5.7
	幸袋地区	119	13.4	27.7	28.6	7.6	18.5	4.2
	鎮西地区	123	6.5	22.8	24.4	22.0	18.7	5.7
	穂波東地区	112	8.0	25.9	27.7	13.4	19.6	5.4
	穂波西地区	171	11.1	25.7	22.8	14.0	20.5	5.8
	筑穂地区	142	14.1	26.1	30.3	12.7	11.3	5.6
	庄内地区	117	4.3	35.9	27.4	15.4	11.1	6.0
	頼田地区	78	11.5	26.9	26.9	15.4	9.0	10.3
	無回答	-	-	-	-	-	-	-

■性・年齢別にみると、「ほとんどない」の割合は男女ともに85歳以上で最も高い。

■居住地区別にみると、「ほとんどない」の割合は穂波西地区で最も高い。

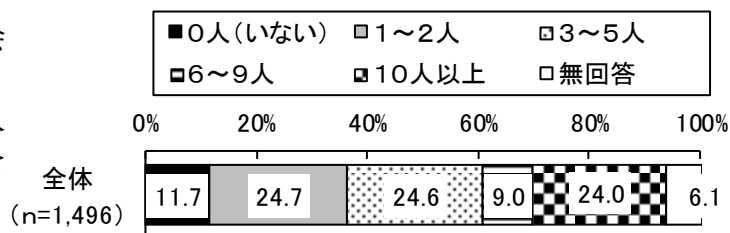
## 第2章 調査結果

### ② この1か月間、何人の友人・知人と会ったか

問番号	内容
問6	(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。 同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

#### 〔この1か月間、何人の友人・知人と会ったか〕

■この1か月間、何人の友人・知人と会ったかについては、「1～2人」(24.7%)が最も高く、一方で「0人(いない)」(11.7%)は1割以上を占める。



#### 〔性・年齢別、居住地区別 この1か月間、何人の友人・知人と会ったか (%)〕

	調査数 [人]	この1か月間、何人の友人・知人と会ったか (%)					無回答	
		0人 (いない)	1 ～ 2人	3 ～ 5人	6 ～ 9人	10 人 以上		
全体	1496	11.7	24.7	24.6	9.0	24.0	6.1	
性・年齢別	【男性計】	828	14.0	24.8	23.1	7.5	24.4	6.3
	65～74歳	490	13.1	23.7	22.2	8.0	26.9	6.1
	75～84歳	274	14.2	26.6	24.5	7.7	21.2	5.8
	85歳以上	64	20.3	25.0	23.4	3.1	18.8	9.4
	【女性計】	668	8.8	24.6	26.5	10.8	23.5	5.8
	65～74歳	298	8.7	21.5	27.9	11.7	26.2	4.0
	75～84歳	290	9.0	25.5	25.9	11.4	21.0	7.2
	85歳以上	80	8.8	32.5	23.8	5.0	22.5	7.5
無回答	-	-	-	-	-	-	-	
居住地区	全体	1496	11.7	24.7	24.6	9.0	24.0	6.1
	飯塚地区	176	11.4	26.1	25.6	6.3	25.6	5.1
	飯塚東地区	107	17.8	16.8	17.8	7.5	34.6	5.6
	鯉田地区	93	5.4	25.8	31.2	14.0	21.5	2.2
	菰田地区	48	18.8	14.6	27.1	10.4	20.8	8.3
	二瀬地区	210	12.9	24.3	28.1	10.5	16.7	7.6
	幸袋地区	119	9.2	35.3	26.1	6.7	18.5	4.2
	鎮西地区	123	18.7	28.5	20.3	4.9	22.0	5.7
	穂波東地区	112	9.8	27.7	23.2	8.9	24.1	6.3
	穂波西地区	171	15.8	22.8	22.2	7.6	25.7	5.8
	筑穂地区	142	7.7	19.7	27.5	9.9	28.9	6.3
	庄内地区	117	4.3	24.8	24.8	12.8	28.2	5.1
	頼田地区	78	9.0	24.4	19.2	11.5	23.1	12.8
	無回答	-	-	-	-	-	-	-

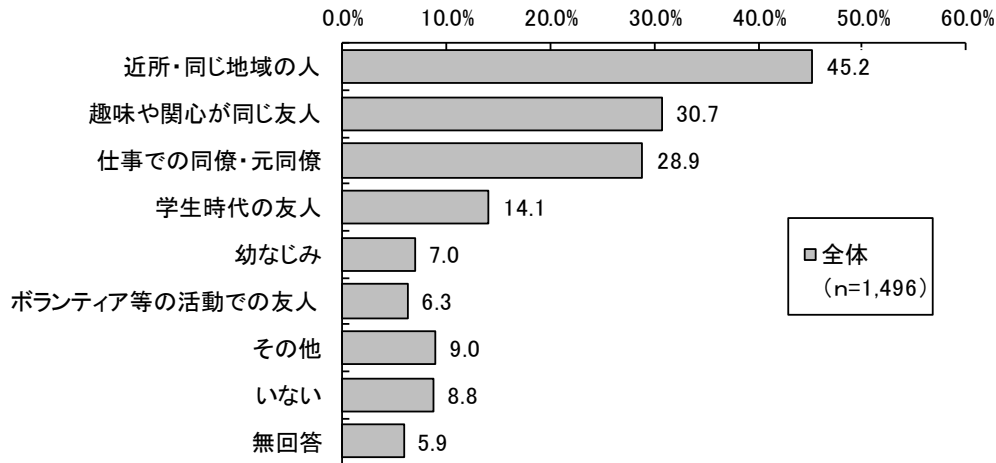
■性・年齢別にみると、「0人(いない)」の割合は、女性よりも男性で高く、特に85歳以上男性(20.3%)で高い。

■居住地区別にみると、「0人(いない)」の割合は菰田地区(18.8%)で最も高い。

③ よく会う友人・知人はどんな関係の人か

問番号	内容	
問6	(8)	よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか

〔よく会う友人・知人はどんな関係の人か（複数回答）〕



■よく会う友人・知人はどんな関係の人かについては、「近所・同じ地域の人」(45.2%)が最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(30.7%)、「仕事での同僚・元同僚」(28.9%)と続く。

〔性・年齢別、居住地区別 よく会う友人・知人はどんな関係の人か (%)〕

	調査数 〔人〕	近所・同じ地域の	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元	趣味や関心が同じ	ボランティア等の	その他	いない	無回答	
		人					友人				
全体	1496	45.2	7.0	14.1	28.9	30.7	6.3	9.0	8.8	5.9	
性・年齢別	【男性 計】	828	40.0	6.9	13.4	32.5	31.5	6.8	7.6	10.1	6.9
	65～74歳	490	34.7	9.0	16.5	40.0	32.2	5.3	8.0	9.2	6.1
	75～84歳	274	48.9	4.0	9.5	22.6	30.7	8.8	7.7	10.6	6.9
	85歳以上	64	42.2	3.1	6.3	17.2	29.7	9.4	4.7	15.6	12.5
	【女性 計】	668	51.6	7.0	15.0	24.6	29.6	5.7	10.8	7.2	4.8
	65～74歳	298	43.6	7.4	16.8	36.2	29.9	8.4	13.1	6.4	3.0
	75～84歳	290	58.3	6.6	14.8	16.6	30.7	3.4	9.7	7.2	6.6
	85歳以上	80	57.5	7.5	8.8	10.0	25.0	3.8	6.3	10.0	5.0
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

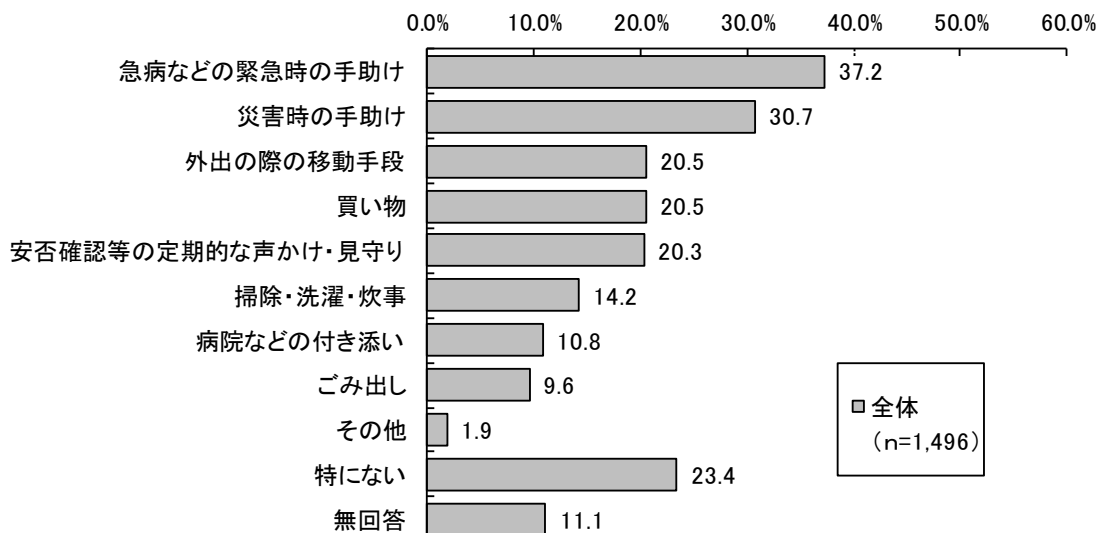
■性・年齢別にみると、「近所・同じ地域の人」は男性よりも女性の割合が高く、「仕事での同僚・元同僚」は女性よりも男性の割合が高い。

(4) 地域で支援してほしいこと・できること

① 地域の人に支援してほしいこと

問番号	内容
問6	(9) あなたのご家族が日常生活上支援が必要になったとき、地域の人にどのような支援をしてほしいと思いますか

〔地域の人に支援してほしいこと（複数回答）〕



■ 家族が日常生活上支援が必要になったとき、地域の人に支援をしてほしいことは、「急病など緊急時の手助け」(37.2%)が最も高く、次いで「災害時の手助け」(30.7%)と続く。

〔居住地区別 地域の人に支援してほしいこと (%)〕

	調査数「人」	外出の際の移動手段	買い物	ごみ出し	掃除・洗濯・炊事	急病などの緊急時の手助け	病院などの付き添い	定期的な声かけ等の見守り	安否確認等の定期的な声かけ等の見守り	災害時の手助け	その他	特にない	無回答
全体	1496	20.5	20.5	9.6	14.2	37.2	10.8	20.3	30.7	1.9	23.4	11.1	
居住地区	飯塚地区	176	15.9	18.2	10.8	14.8	34.7	7.4	17.6	27.8	2.3	21.6	17.0
	飯塚東地区	107	14.0	16.8	5.6	11.2	41.1	5.6	24.3	44.9	2.8	20.6	8.4
	鯉田地区	93	20.4	19.4	8.6	16.1	36.6	9.7	20.4	34.4	2.2	23.7	9.7
	菰田地区	48	16.7	6.3	8.3	10.4	39.6	10.4	20.8	43.8	2.1	22.9	10.4
	二瀬地区	210	22.4	26.7	11.9	19.5	33.8	11.9	21.9	27.6	1.0	26.7	10.5
	幸袋地区	119	21.8	30.3	14.3	18.5	40.3	16.0	19.3	26.1	1.7	22.7	10.1
	鎮西地区	123	22.0	17.1	8.9	11.4	43.9	11.4	25.2	30.9	1.6	24.4	8.1
	穂波東地区	112	23.2	21.4	5.4	14.3	41.1	8.0	17.0	34.8	0.9	20.5	13.4
	穂波西地区	171	22.2	22.2	10.5	14.0	31.6	12.3	22.2	29.2	3.5	25.1	7.6
	筑穂地区	142	25.4	16.2	7.0	8.5	41.5	11.3	19.0	30.3	0.7	22.5	9.9
	庄内地区	117	17.1	15.4	6.8	12.8	32.5	12.8	16.2	24.8	2.6	24.8	12.8
	頼田地区	78	20.5	25.6	15.4	14.1	37.2	12.8	17.9	28.2	2.6	21.8	15.4
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

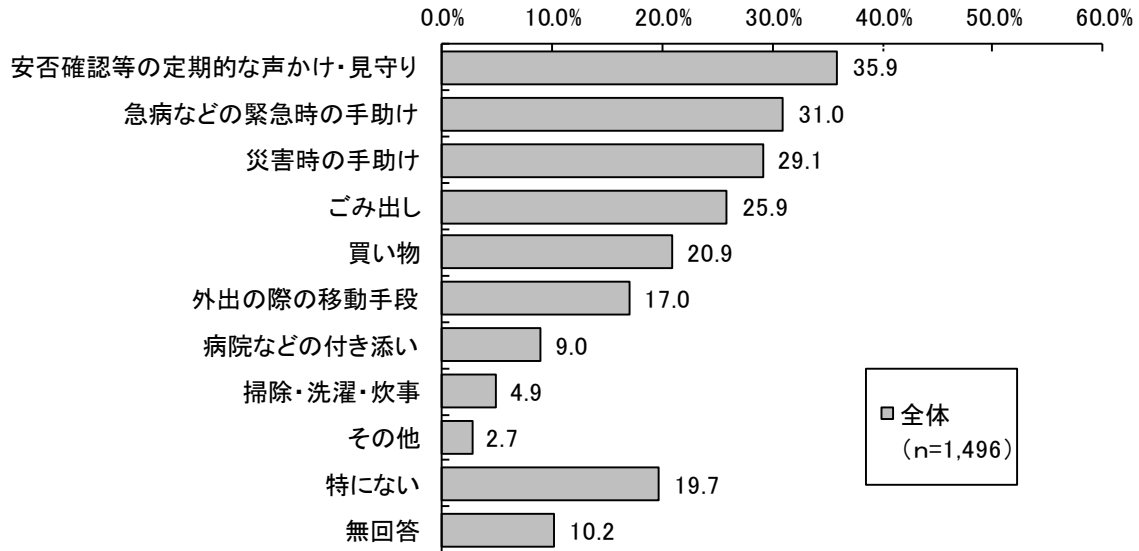
■ 居住地区別にみると、「急病などの緊急時の手助け」は鎮西地区(43.9%)で最も高く、「災害時の手助け」は飯塚東地区(44.9%)、「外出の際の移動手段」は筑穂地区(25.4%)で最も高い。



② 地域の人に支援できること

問番号	内容	
問6	(10)	となり近所に、高齢や病気・障がい等で困っている家庭があった場合、あなたはどのような支援ができると思いますか

〔地域の人に支援できること（複数回答）〕



■となり近所に、高齢や病気・障害等で困っている家庭があった場合、支援できることは「安否確認等の定期的な声かけ・見守り」(35.9%)が最も高く、次いで「急病などの緊急時の手助け」(31.0%)、「災害時の手助け」(29.1%)と続く。

〔居住地区別 地域の人に支援できること (%)〕

	調査数 〔人〕	地域の人に支援できること (%)											
		段外 出の 際の 移動 手	買 い 物	ご み 出 し	掃 除 ・ 洗 濯 ・ 炊 事	急 病 な ど の 緊 急 時	い 病 院 な ど の 付 き 添 い	り 的 安 否 確 認 等 の 定 期 的 見 守 り	災 害 時 の 手 助 け	そ の 他	特 に な い	無 回 答	
全体	1496	17.0	20.9	25.9	4.9	31.0	9.0	35.9	29.1	2.7	19.7	10.2	
居住地区	飯塚地区	176	13.1	19.9	21.0	4.5	22.7	6.3	34.1	25.6	2.8	20.5	9.7
	飯塚東地区	107	16.8	17.8	24.3	3.7	29.0	2.8	34.6	29.0	3.7	24.3	7.5
	鯉田地区	93	17.2	26.9	26.9	7.5	39.8	16.1	38.7	32.3	1.1	16.1	6.5
	菰田地区	48	8.3	16.7	31.3	-	31.3	4.2	29.2	27.1	2.1	18.8	10.4
	二瀬地区	210	18.6	23.8	31.0	5.2	31.0	11.4	31.0	28.1	1.9	27.1	7.6
	幸袋地区	119	17.6	19.3	37.0	7.6	31.9	11.8	31.1	35.3	1.7	16.8	10.1
	鎮西地区	123	17.1	15.4	26.0	2.4	35.0	8.1	42.3	32.5	4.1	18.7	8.9
	穂波東地区	112	24.1	26.8	27.7	6.3	28.6	7.1	39.3	31.3	2.7	11.6	13.4
	穂波西地区	171	18.7	19.3	22.2	4.7	33.3	9.9	33.9	31.6	1.8	21.6	9.4
	筑穂地区	142	17.6	21.1	24.6	7.0	33.8	7.7	43.7	25.4	3.5	13.4	11.3
	庄内地区	117	17.1	18.8	16.2	2.6	27.4	9.4	35.9	25.6	4.3	20.5	14.5
	穎田地区	78	11.5	23.1	26.9	3.8	33.3	10.3	38.5	25.6	2.6	19.2	16.7
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■居住地区別にみると、「安否確認と定期的な声かけ・見守り」は筑穂地区(43.7%)で最も高く、「急病などの緊急時の手助け」は鯉田地区(39.8%)、「災害時の手助け」は幸袋地区(35.3%)で最も高い。

6 健康について

ここでは、主観的健康感や幸福感をはじめ、うつ傾向や喫煙の習慣、疾病の状況等、高齢者の心身の健康状況を把握する。

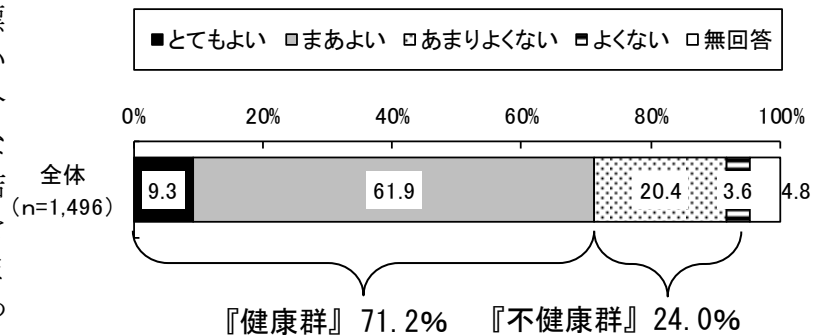
(1) 健康について

① 主観的健康感

問番号	内容	
問7	(1)	現在のあなたの健康状態はいかがですか

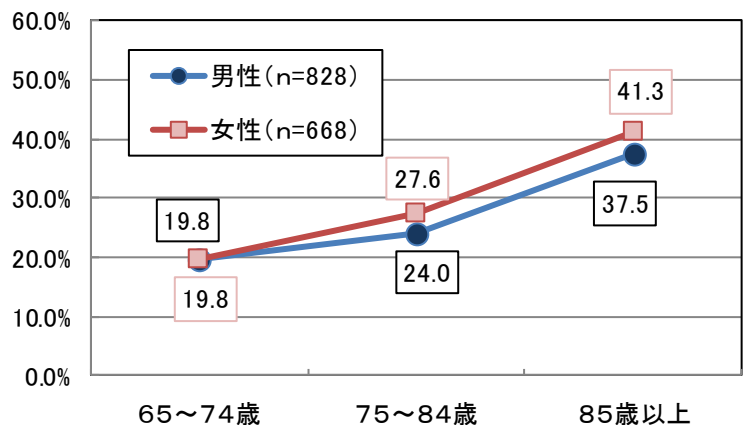
〔主観的健康感の状況〕

■高齢者の生活の質（QOL）の指標にもなっている主観的健康感については、「まあよい」（61.9%）の割合が最も高く、次いで「あまりよくない」（20.4%）となっている。この結果、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『健康群』が71.2%、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『不健康群』が24.0%となっている。



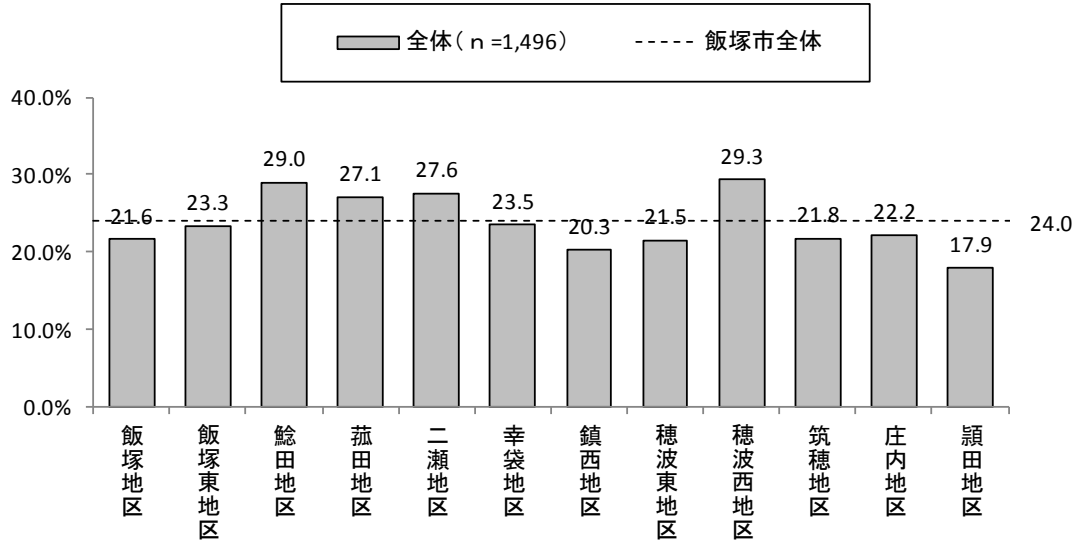
〔性・年齢別 主観的健康感の状況 (『不健康群』の割合)〕

■性・年齢別にみると、性別による大きな差はみられないが、加齢とともに『不健康群』の割合が高くなる。特に85歳以上でその傾向が強く、74歳までは『不健康群』が約2割であるのに対し、85歳以上になると4割以上を占める。



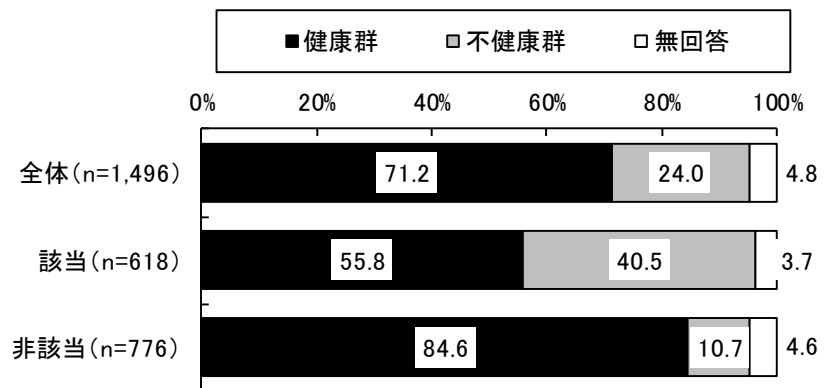
〔居住地区別 主観的健康感の状況（『不健康群』の割合）〕

■居住地区別にみると、『不健康群』の割合は穂波西地区（29.3%）で最も高く、穎田地区（17.9%）で最も低くなっている。



〔うつ傾向別 主観的健康感の状況〕

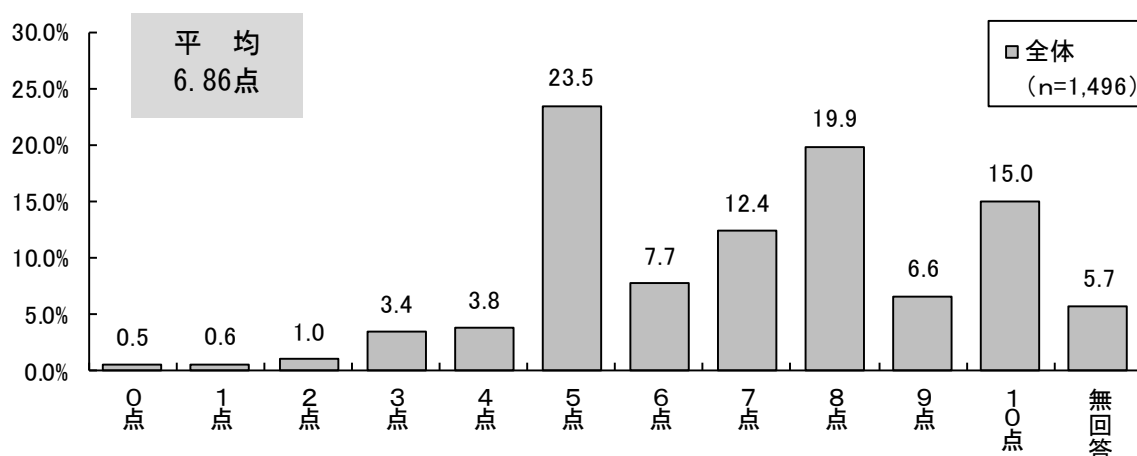
■うつ傾向別にみると、『健康群』の割合は、うつ傾向の非該当者では84.6%であるのに対し、該当者は55.8%にとどまっている。一方、『不健康群』の割合は、非該当者（10.7%）をうつ傾向の該当者（40.5%）が大きく上回る。



② 主観的幸福感

問番号	内容	
問7	(2)	あなたは、現在どの程度幸せですか (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

〔主観的幸福感の状況〕



■現在の主観的幸福感について0～10点で評価した結果、「5点」(23.5%)の割合が最も高く、次いで「8点」(19.9%)、「10点」(15.0%)、「7点」(12.4%)となっており、平均は6.86点となっている。

〔介護状況別、経済状況別、うつ傾向別 主観的幸福感 (%)〕

		調査数 [人]	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均点
全体		1496	0.5	0.6	1.0	3.4	3.8	23.5	7.7	12.4	19.9	6.6	15.0	5.7	6.86
介護状況	必要なし	1192	0.3	0.5	0.8	2.7	3.1	22.5	7.4	13.1	21.3	7.5	16.0	4.9	7.03
	一部必要	167	1.8	1.2	1.8	6.6	6.6	27.5	8.4	8.4	13.8	3.0	11.4	9.6	6.07
	必要	73	1.4	1.4	1.4	4.1	6.8	30.1	8.2	11.0	15.1	4.1	13.7	2.7	6.32
全体		4674	0.5	0.6	1.0	3.4	3.8	23.5	7.7	12.4	19.9	6.6	15.0	5.7	6.86
経済状況	苦しい	1634	0.9	1.3	1.9	6.1	7.2	29.0	8.0	9.6	15.5	5.3	9.7	5.3	6.15
	ふつう	2656	0.1	0.1	0.4	1.3	1.0	19.5	8.0	15.1	23.5	6.8	18.3	5.8	7.35
	ゆとりがある	243	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	7.0	3.5	14.0	29.8	14.0	29.8	0.0	8.23
	無回答	141	-	-	-	2.6	7.7	33.3	2.6	2.6	7.7	10.3	12.8	20.5	6.55
全体		1496	0.5	0.6	1.0	3.4	3.8	23.5	7.7	12.4	19.9	6.6	15.0	5.7	6.86
うつ傾向	該当	618	1.0	1.1	2.1	5.8	5.8	31.4	10.2	12.8	13.9	4.0	7.0	4.9	6.00
	非該当	776	0.1	0.1	0.3	1.2	1.9	17.1	6.2	12.5	24.9	8.6	21.4	5.7	7.56
	無回答	102	-	1.0	-	5.9	5.9	23.5	3.9	8.8	18.6	5.9	14.7	11.8	6.73

■介護状況別にみると、介護・介助の必要がない人の幸福感が最も高い。また、経済状況やうつ傾向別にみても、経済状況にゆとりがある人、うつ傾向が非該当の人ほど幸福感が高い傾向にある。

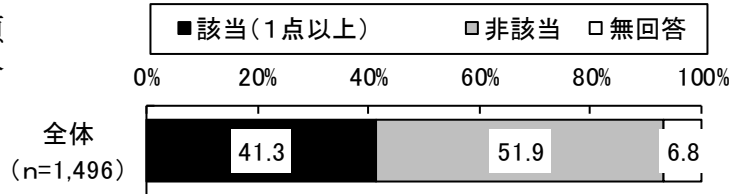
(2) うつ

高齢者のうつ傾向に関して、リスク判定を行う。下表の2つの設問のうち、網掛け部分に1問（点）以上該当した場合、うつ傾向の高齢者と判定される。

問番号	内容	回答
問7	(3) 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになりますか	1 はい (1点) 2 いいえ
	(4) 物事に対して興味がわかないことがありますか	1 はい (1点) 2 いいえ

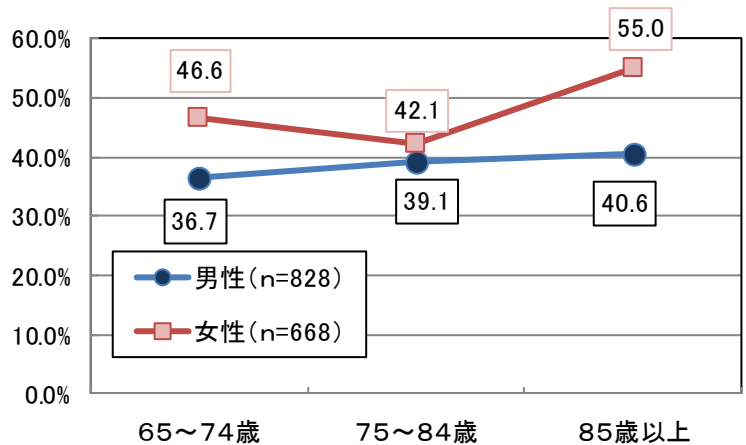
〔うつ傾向判定〕

■基本チェックリストに基づくうつ傾向の該当者（1点以上の者）の割合は全体で41.3%となっている。



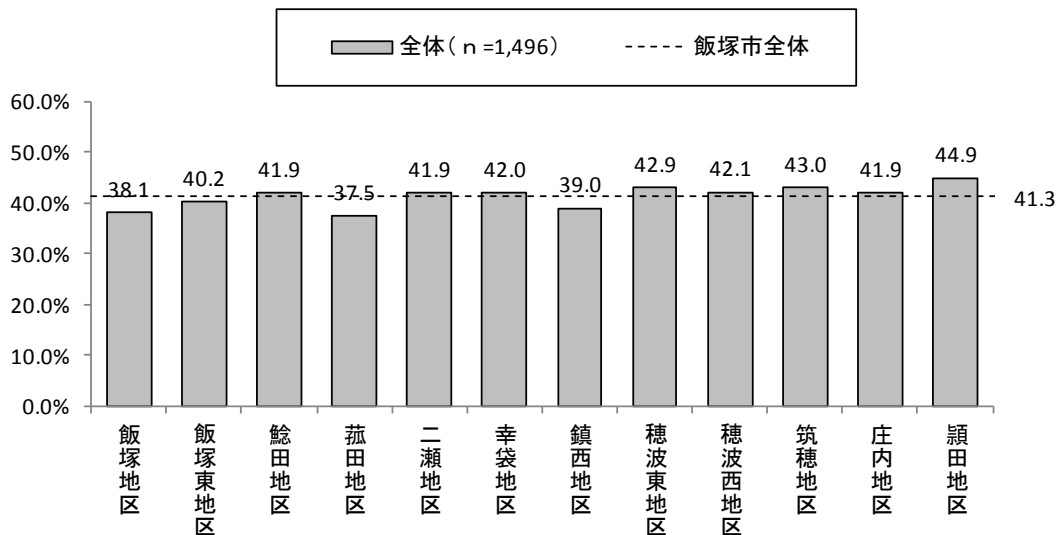
〔性・年齢別 うつ傾向判定（「該当」の割合）〕

■性・年齢別にみると、該当者の割合は、各年齢層とも男性より女性の方が高い。



〔居住地区別 うつ傾向判定（「該当」の割合）〕

■居住地区別でみると、該当者の割合に大きな差はみられず、いずれの地区も約4割がうつ傾向に該当している。

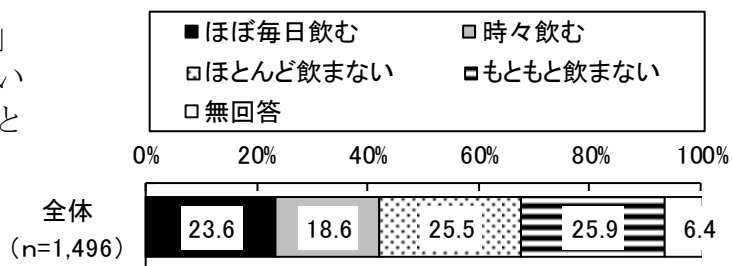


(3) 飲酒

問番号		内容
問7	(5)	お酒は飲みますか

〔飲酒の頻度〕

■ 飲酒の頻度は「もともと飲まない」(25.9%)の割合が最も高く、次いで「ほとんど飲まない」(25.5%)となっている。



〔性・年齢別 飲酒の頻度〕

		調査数「人」	ほぼ毎日飲む	時々飲む	ほとんど飲まない	もともと飲まない	無回答
全体		1496	23.6	18.6	25.5	25.9	6.4
性・年齢別	【男性計】	828	37.3	19.9	20.8	15.9	6.0
	65～74歳	490	41.2	18.2	20.0	14.9	5.7
	75～84歳	274	35.0	24.1	21.9	15.0	4.0
	85歳以上	64	17.2	15.6	21.9	28.1	17.2
	【女性計】	668	6.6	16.9	31.4	38.2	6.9
	65～74歳	298	9.4	17.8	29.5	37.9	5.4
	75～84歳	290	4.1	17.2	33.1	37.9	7.6
	85歳以上	80	5.0	12.5	32.5	40.0	10.0
無回答		-	-	-	-	-	-

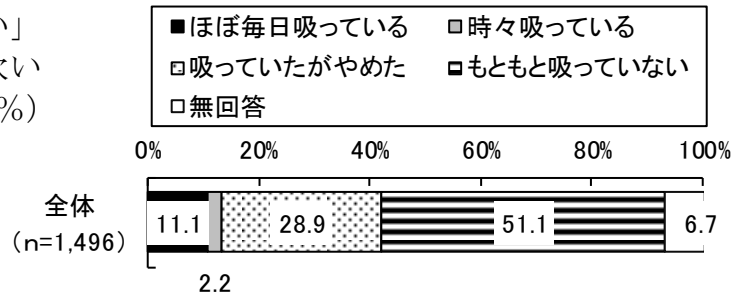
■ 性・年齢別にみると、飲酒頻度は女性より男性で高く、男性では「ほぼ毎日飲む」(37.3%)が4割弱を占める。また、「ほぼ毎日飲む」の割合は男性の65～74歳(41.2%)で最も高く、「時々飲む」とあわせると59.4%と約6割を占める。

(4) 喫煙

問番号	内容	
問7	(6)	タバコは吸っていますか

〔喫煙の頻度〕

■喫煙の頻度は「もともと吸わない」(51.1%)の割合が最も高く、次いで「吸っていたがやめた」(28.9%)となっている。



〔性・年齢別 喫煙の頻度〕

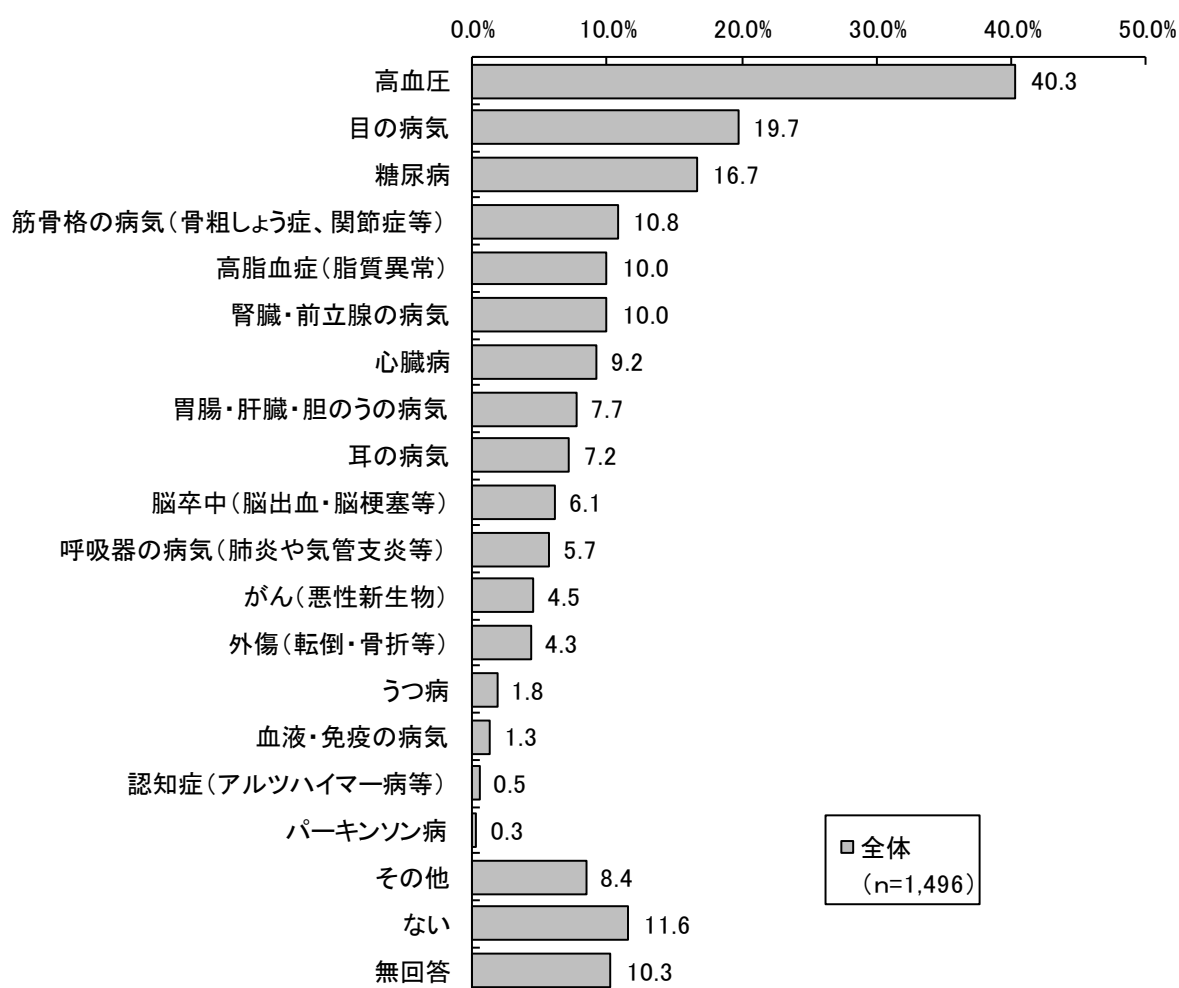
		調査数「人」	ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答
全体		1496	11.1	2.2	28.9	51.1	6.7
性・年齢別	【男性計】	828	17.3	1.9	46.9	27.9	6.0
	65～74歳	490	23.5	2.9	44.7	23.1	5.9
	75～84歳	274	9.9	0.7	49.3	36.1	4.0
	85歳以上	64	1.6	-	53.1	29.7	15.6
	【女性計】	668	3.4	2.5	6.7	79.8	7.5
	65～74歳	298	6.0	3.0	8.1	76.2	6.7
	75～84歳	290	1.7	2.4	5.9	82.1	7.9
	85歳以上	80	-	1.3	5.0	85.0	8.8
無回答		-	-	-	-	-	-

■性・年齢別にみると、喫煙頻度は女性より男性で高く、男性では「ほぼ毎日吸っている」(17.3%)が2割弱を占める。また、「ほぼ毎日吸っている」の割合は男性の65～74歳(23.5%)で最も高く、「時々吸っている」とあわせると26.4%と喫煙者が3割弱を占める。

(5) 疾病の状況

問番号	内容
問7	(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

〔現在治療中、または後遺症のある病気 (複数回答)〕



■ 現在治療中、または後遺症のある病気では「高血圧」(40.3%)の割合が最も高く、次いで「目の病気」(19.7%)、「糖尿病」(16.7%)、「筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)」(10.8%)、「高脂血症 (脂質異常)」と「腎臓・前立腺の病気」(ともに10.0%)が続いている。



## 〔性・年齢別、居住地区別 治療中・後遺症のある病気（主要7疾病）（％）〕

		調査数 〔人〕	高血圧	糖尿病	し 筋 骨 格 の 病 気 （ 骨 粗 鬆 症 等 ）	心 臓 病	が ん （ 悪 性 新 生 物 ）	塞 脳 卒 中 （ 脳 出 血 ・ 脳 梗 塞 等 ）	マ ー 認 知 症 （ ア ル ツ ハ イ 病 等 ）
全 体		1496	40.3	16.7	10.8	9.2	4.5	6.1	0.5
性・ 年 齢 別	【男性 計】	828	40.6	20.0	4.6	12.1	5.0	8.0	0.5
	65～74歳	490	37.8	19.6	3.5	9.6	4.5	6.9	0.4
	75～84歳	274	44.9	22.3	6.6	15.7	6.6	9.1	0.7
	85歳以上	64	43.8	14.1	4.7	15.6	1.6	10.9	—
	【女性 計】	668	40.0	12.6	18.4	5.7	4.0	3.7	0.4
	65～74歳	298	33.6	12.8	11.7	3.4	5.4	3.7	0.3
	75～84歳	290	45.9	14.1	22.4	6.6	3.4	4.1	0.3
	85歳以上	80	42.5	6.3	28.8	11.3	1.3	2.5	1.3
無回答		—	—	—	—	—	—	—	—
全 体		1496	40.3	16.7	10.8	9.2	4.5	6.1	0.5
居 住 地 区	飯塚地区	176	41.5	14.2	12.5	8.5	4.5	5.7	—
	飯塚東地区	107	43.9	15.0	13.1	9.3	4.7	9.3	0.9
	鯉田地区	93	52.7	19.4	10.8	9.7	6.5	2.2	—
	菰田地区	48	47.9	20.8	2.1	12.5	10.4	8.3	2.1
	二瀬地区	210	39.5	17.6	11.4	7.6	4.3	6.7	0.5
	幸袋地区	119	47.1	22.7	7.6	11.8	3.4	10.1	—
	鎮西地区	123	35.8	17.1	8.9	5.7	2.4	5.7	—
	穂波東地区	112	36.6	15.2	13.4	11.6	6.3	6.3	0.9
	穂波西地区	171	35.1	14.0	10.5	11.1	2.9	7.0	—
	筑穂地区	142	38.0	16.2	9.9	9.9	3.5	3.5	0.7
	庄内地区	117	35.9	15.4	9.4	12.0	5.1	3.4	0.9
	颯田地区	78	39.7	17.9	15.4	1.3	6.4	5.1	1.3
	無回答		—	—	—	—	—	—	—

■治療中・後遺症のある病気のうち、主なものについて、性・年齢別及び居住地区別に該当者の割合（有病率）をみる。

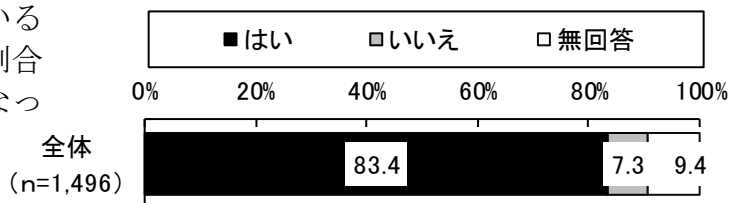
- ・「高血圧」の有病率は、性別による差はみられないが、年齢別にみると75歳以上で4割を超えるなど発症リスクが高まる傾向にある。居住地区別にみると、鯉田地区（52.7％）が他の地区より高くなっている。
- ・「糖尿病」の有病率は、女性（12.6％）より男性（20.0％）で高い。
- ・「筋骨格の病気」の有病率は、男性（4.6％）よりも女性（18.4％）で高い。また、各年齢層別にみても男性を大きく上回り、女性の有病率は75歳以上で2割を超え、85歳以上になると3割弱に達する。
- ・「心臓病」の有病率は、女性（5.7％）より男性（12.1％）でやや高い。
- ・「がん」の有病率は、菰田地区（10.4％）が他の地区より高くなっている。
- ・「脳卒中」の有病率は、女性（3.7％）より男性（8.0％）でやや高くなっている。居住地区別にみると、幸袋地区（10.1％）が他の地区よりやや高くなっている。
- ・「認知症」の有病率は、割合が低いいため特に傾向はみられない。

(6) かかりつけの医師・歯科医師がいるか

問番号	内容	
問7	(8)	かかりつけの医師、歯科医師がいますか

〔かかりつけの医師・歯科医師がいるか〕

■ かかりつけの医師・歯科医師がいるかについて、「はい (いる)」の割合は、全体で83.4%と非常に高くなっている。



〔性・年齢別 かかりつけの医師・歯科医師がいるか (「はい (いる)」の割合)〕

		調査数 〔人〕	はい	いいえ	無回答
全体		1496	83.4	7.3	9.4
性・年齢別	【男性 計】	828	81.8	9.2	9.1
	65~74歳	490	79.2	12.0	8.8
	75~84歳	274	86.9	5.5	7.7
	85歳以上	64	79.7	3.1	17.2
	【女性 計】	668	85.3	4.9	9.7
	65~74歳	298	84.6	7.4	8.1
	75~84歳	290	85.9	3.1	11.0
	85歳以上	80	86.3	2.5	11.3
	無回答	-	-	-	-
居住地区	全体	1496	83.4	7.3	9.4
	飯塚地区	176	81.8	9.1	9.1
	飯塚東地区	107	86.0	6.5	7.5
	鯉田地区	93	83.9	5.4	10.8
	菰田地区	48	87.5	6.3	6.3
	二瀬地区	210	82.9	7.6	9.5
	幸袋地区	119	83.2	9.2	7.6
	鎮西地区	123	84.6	7.3	8.1
	穂波東地区	112	80.4	6.3	13.4
	穂波西地区	171	82.5	7.6	9.9
	筑穂地区	142	85.2	4.2	10.6
	庄内地区	117	84.6	6.8	8.5
	頼田地区	78	80.8	10.3	9.0
	無回答	-	-	-	-

■ 「かかりつけの医師・歯科医師がいる」人の割合については、性・年齢別や居住地区別で特徴の差は見られない。

7 終末期について

ここでは、終末期の過ごし方の意向を把握する。

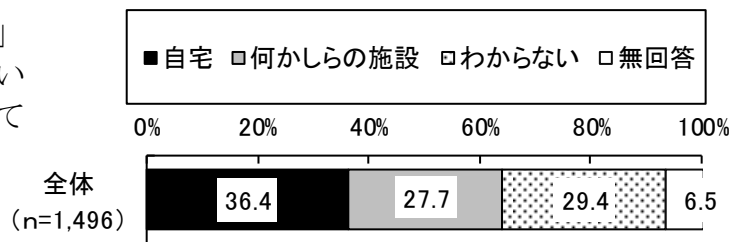
(1) 終末期について

① 最期をどこで迎えたいか

問番号	内容
問8	(1) あなたは、ご自分が病気などで最期を迎えるとしたら、どこで迎えたいと思いますか

〔最期をどこで迎えたいか〕

■最期をどこで迎えたいかは「自宅」(36.4%)の割合が最も高く、次いで「わからない」(29.4%)となっている。



〔世帯構成別、介護状況別 最期をどこで迎えたいか (%)〕

		調査数 [人]	自宅	何かしらの施設	わからない	無回答
全体		1496	36.4	27.7	29.4	6.5
世帯構成別	1人暮らし	412	24.3	33.5	35.0	7.3
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	464	42.2	27.4	24.6	5.8
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	69	34.8	23.2	37.7	4.3
	息子・娘との2世帯	219	45.2	25.6	22.4	6.8
	その他	279	38.4	22.9	33.0	5.7
	無回答	53	35.8	24.5	28.3	11.3
全体		1496	36.4	27.7	29.4	6.5
介護状況	必要なし	1192	35.8	28.1	30.4	5.7
	一部必要	167	38.9	26.9	25.7	8.4
	必要	73	46.6	27.4	19.2	6.8

■世帯構成別にみると、1人暮らしは「自宅」(24.3%)よりも「何かしらの施設」(33.5%)の割合が高い。

■介護状況別にみると、介護が必要な人ほど「自宅」の割合が高くなっている。

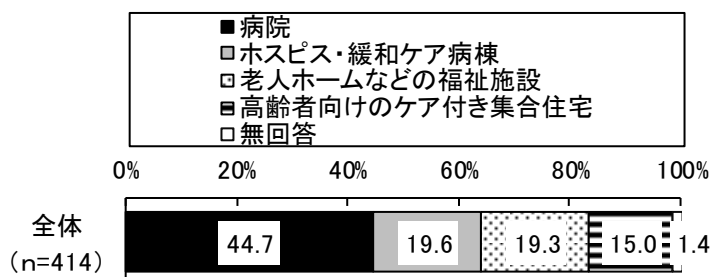
## 第2章 調査結果

### ② どのような施設で最期をどこで迎えたいか

問番号	内容
問8	(2) 【(1)で「2. 何かしらの施設」と回答した方のみ】 どのような施設ですか

#### 〔どのような施設で最期をどこで迎えたいか〕

■何かしらの施設で最期を迎えたい回答者が、どのような施設で最期を迎えたいかについては、「病院」(44.7%)が最も高く、次いで「ホスピス・緩和ケア病棟」(19.6%)となっている。



#### 〔世帯構成別、介護状況別 どのような施設で最期をどこで迎えたいか (%)〕

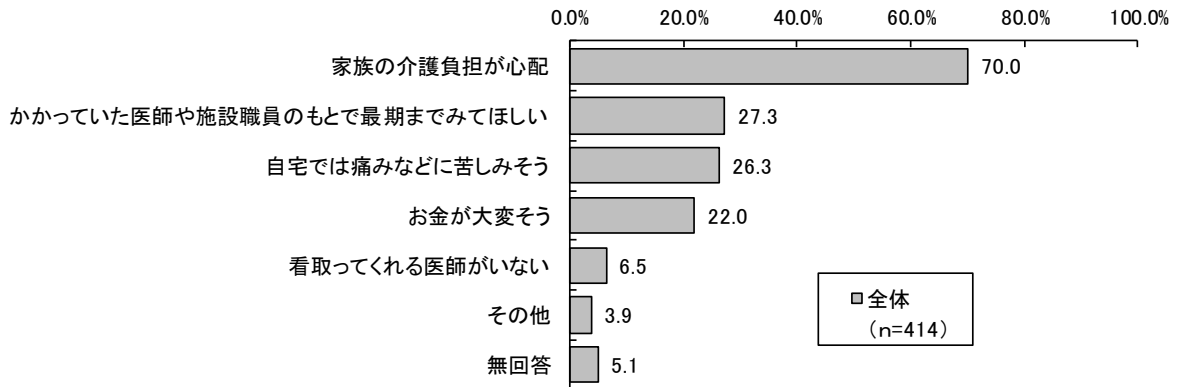
		調査数 「人」	病院	ホスピス・ 緩和ケア病棟	老人ホーム などの福祉施設	高齢者向け 集合住宅	無回答
全体		1496	44.7	19.6	19.3	15.0	1.4
世帯構成別	1人暮らし	412	39.1	18.1	22.5	18.8	1.4
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	464	40.9	20.5	22.0	15.7	0.8
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	69	31.3	37.5	18.8	6.3	6.3
	息子・娘との2世帯	219	58.9	21.4	10.7	7.1	1.8
	その他	279	50.0	17.2	17.2	14.1	1.6
無回答		53	69.2	7.7	7.7	15.4	-
全体		1496	44.7	19.6	19.3	15.0	1.4
介護状況	必要なし	1192	43.9	21.2	18.2	14.9	1.8
	一部必要	167	33.3	20.0	28.9	17.8	-
	必要	73	60.0	-	25.0	15.0	-

■世帯構成別にみると、夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)は、「ホスピス・緩和ケア病棟」(37.5%)が最も高い。

③ 施設を選択した理由

問番号	内容
問8	(3) 【(1)で「2. 何かしらの施設」と回答した方のみ】 施設を選択した理由はなんですか

〔施設を選択した理由（複数回答）〕



■何かしらの施設で最期を迎えたい回答者が、施設を選択した理由は「家族の介護負担が心配」(70.0%)が最も高く、次いで「かかっていた医師や施設職員のもとで最期までみてほしい」(27.3%)と続く。

〔世帯構成別、介護状況別 施設を選択した理由 (%)〕

		調査数「人」	家族の介護負担が心配	かかっていた医師や施設職員のもとで最期までみてほしい	自宅では痛みなどに苦しみそう	お金が大変そう	看取ってくれる医師がない	その他	無回答
全体		1496	70.0	6.5	22.0	26.3	27.3	3.9	5.1
世帯構成別	1人暮らし	412	49.3	6.5	21.7	21.7	33.3	7.2	8.0
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	464	78.0	6.3	18.9	28.3	31.5	2.4	3.9
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	69	93.8	6.3	12.5	18.8	-	-	6.3
	息子・娘との2世帯	219	83.9	1.8	26.8	33.9	14.3	3.6	1.8
	その他	279	81.3	10.9	28.1	28.1	25.0	1.6	3.1
	無回答	53	69.2	7.7	15.4	23.1	23.1	-	7.7
全体		1496	70.0	6.5	22.0	26.3	27.3	3.9	5.1
介護状況	必要なし	1192	72.2	6.3	22.4	27.8	23.0	3.3	4.8
	一部必要	167	71.1	6.7	15.6	17.8	42.2	8.9	6.7
	必要	73	45.0	10.0	20.0	25.0	60.0	5.0	5.0

■世帯構成別にみると、いずれも「家族の介護負担が心配」が最も高いが、1人暮らしは「看取ってくれる医師がない」の割合も高くなっている。

■介護状況別にみると、介護が必要な人ほど「看取ってくれる医師がない」の割合が高くなっている。

8 今後の介護希望について

ここでは、今後の介護希望について把握する。

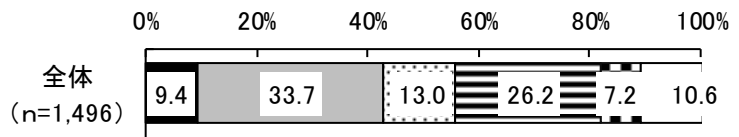
(1) 今後の介護希望について

問番号	内容
問9	(1) あなたは今後どのように介護してほしいと思いますか

〔今後の介護希望について〕

■今後の介護希望については、「家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスを利用したい」(33.7%)の割合が最も高く、次いで「特別養護老人ホームや老人保護施設などに入所したい」(26.2%)となっている。

- 自宅で家族だけで介護してほしい
- 家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスを利用したい
- 自宅で介護保険の在宅サービスだけで生活したい
- 特別養護老人ホームや老人保健施設などに入所したい
- その他
- 無回答



〔世帯構成別、居住地区別 今後の介護希望について (%)〕

	調査数「人」	今後の介護希望について (%)					無回答	
		自宅で家族だけで	家族の介護の他に在宅サービスを利用したい	自宅で介護保険の在宅サービスだけで生活したい	特別養護老人ホームや老人保健施設などに入所したい	その他		
全体	1496	9.4	33.7	13.0	26.2	7.2	10.6	
世帯構成別	1人暮らし	412	4.9	15.5	24.0	31.8	9.5	14.3
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	464	10.3	43.3	7.8	25.9	4.5	8.2
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	69	7.2	43.5	5.8	30.4	5.8	7.2
	息子・娘との2世帯	219	12.3	45.2	7.8	19.2	3.7	11.9
	その他	279	11.5	34.1	11.8	22.9	11.8	7.9
	無回答	53	15.1	28.3	11.3	26.4	3.8	15.1
全体	1496	9.4	33.7	13.0	26.2	7.2	10.6	
居住地区	飯塚地区	176	8.0	29.5	15.9	29.0	10.2	7.4
	飯塚東地区	107	15.0	34.6	11.2	21.5	8.4	9.3
	鯉田地区	93	5.4	35.5	10.8	25.8	8.6	14.0
	菰田地区	48	10.4	37.5	12.5	25.0	4.2	10.4
	二瀬地区	210	11.4	34.3	12.4	23.8	6.7	11.4
	幸袋地区	119	10.9	34.5	11.8	25.2	5.9	11.8
	鎮西地区	123	10.6	37.4	13.8	22.0	8.9	7.3
	穂波東地区	112	7.1	25.0	15.2	32.1	6.3	14.3
	穂波西地区	171	5.8	34.5	13.5	25.1	9.4	11.7
	筑穂地区	142	11.3	35.2	9.2	26.8	5.6	12.0
	庄内地区	117	8.5	36.8	12.8	29.1	4.3	8.5
	頼田地区	78	7.7	32.1	17.9	30.8	2.6	9.0
	無回答	-	-	-	-	-	-	-

■世帯構成別にみると、1人暮らしでは「特別養護老人ホームや老人保護施設などに入所したい」(31.8%)が最も高く、その他の世帯では「家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスを利用したい」が最も高くなっている。

■居住地区別にみると、「特別養護老人ホームや老人保護施設などに入所したい」は穂波東地区(32.1%)で最も高く、「自宅で介護保険の在宅サービスだけで生活したい」は颯田地区(17.9%)で最も高くなっている。

### 第3章 調査票

#### 飯塚市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 【調査票】

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、5月31日(水)までに投函してください。

記入日	平成	年	月	日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。				
1. あて名のご本人が記入				
2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄 )				
3. その他				
4. あて名ご本人の性別 ( 男性 ・ 女性 )				
5. あて名ご本人の年齢 (65～74 歳 ・ 75～84 歳 ・ 85～94 歳) 95～104 歳 ・ 105 歳以上)				

飯塚市 高齢介護課 総務係



## はじめに

皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃から飯塚市の介護保険事業にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

飯塚市では、平成 29 年度に予定している高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定の基礎資料とするため、市内にお住まいの 65 歳以上の方に対し、アンケート調査をお願いすることとしました。

これは「どこに、どのような支援を必要としている方が、どの程度生活されているか」を把握するため、厚生労働省が示した調査項目・方法に準拠して実施するものです。

対象者は、平成 29 年 3 月末時点において、市内に居住する要介護認定 1～5 の方を除く 65 歳以上の方のうち、2,100 名を無作為に抽出しております。

なお、収集した個人情報は、飯塚市個人情報保護条例に基づき適正に取り扱いますことをお約束いたしますので、ご同意の上、調査にご協力くださるようお願い申し上げます。

## 個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

### 【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。  
本調査で得られた情報につきましては、市町村による介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市町村内で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

**問 1** あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください (○はひとつ)

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 1. 1人暮らし               | 2. 夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者 64 歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯           |
| 5. その他                 |                        |

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (○はひとつ)

- |   |                             |
|---|-----------------------------|
| 1. 介護・介助は必要ない                                       | 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている<br>(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) |                             |

【(2) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)

- |                     |                  |               |
|---------------------|------------------|---------------|
| 1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)   | 2. 心臓病           | 3. がん (悪性新生物) |
| 4. 呼吸器の病気 (肺炎腫・肺炎等) | 5. 関節の病気 (リウマチ等) |               |
| 6. 認知症 (アルツハイマー病等)  | 7. パーキンソン病       | 8. 糖尿病        |
| 9. 腎疾患 (透析)         | 10. 視覚・聴覚障害      | 11. 骨折・転倒     |
| 12. 脊椎損傷            | 13. 高齢による衰弱      | 14. その他 ( )   |
| 15. 不明              |                  |               |

【(2) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

②主にどなたの介護、介助を受けていますか。「現在は受けていない」方は、どなたの介護、介助を受けたいですか。(いくつでも)

- |                |            |          |
|----------------|------------|----------|
| 1. 配偶者(夫・妻)    | 2. 息子      | 3. 娘     |
| 4. 子の配偶者       | 5. 孫       | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他 ( ) |          |

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (○はひとつ)

1. 大変苦しい                      2. やや苦しい                      3. ふつう  
4. ややゆとりがある              5. 大変ゆとりがある

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (○はひとつ)

1. 持家 (一戸建て)                      2. 持家 (集合住宅)  
3. こうえいちんたいじゅうたく 公営賃貸住宅                      4. みんかんちんたいじゅうたく 民間賃貸住宅 (一戸建て)  
5. みんかんちんたいじゅうたく 民間賃貸住宅 (集合住宅)                      6. 借家  
7. その他

## 問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○はひとつ)

1. できるし、している              2. できるけどしていない              3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○はひとつ)

1. できるし、している              2. できるけどしていない              3. できない

(3) 15分位続けて歩いていますか (○はひとつ)

1. できるし、している              2. できるけどしていない              3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○はひとつ)

1. 何度もある                      2. 1度ある                      3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○はひとつ)

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか (○はひとつ)

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○はひとつ)

1. とても減っている 2. 減っている  
3. あまり減っていない 4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか (○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)

1. 病気 2. 障がい (脳卒中<sup>のうそっちゅう</sup> 中の<sup>こういしょう</sup>後遺症など)  
3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配 (失禁など)  
5. 耳の障がい (聞こえの問題など) 6. 目の障がい  
7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない  
9. 交通手段がない 10. その他 ( )

(9) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)

1. 徒歩                                      2. 自転車                                      3. バイク
4. 自動車 (自分で運転)                      5. 自動車 (人に乗せてもらう)              6. 電車
7. 路線バス                                      8. 病院や施設のバス                      9. 車いす
10. 電動車いす (カート)                      11. 歩行器・シルバーカー
12. タクシー                                      13. その他 (                                      )

**問3** 食べることについて

(1) 身長・体重

身長    cm

体重    kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○はひとつ)

1. はい    2. いいえ

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか (○はひとつ)

1. はい    2. いいえ

(4) 口の渇きが気になりますか (○はひとつ)

1. はい    2. いいえ

(5) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか (○はひとつ)

1. はい    2. いいえ



(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (○はひとつ)

1. はい

2. いいえ

(4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (○はひとつ)

1. できるし、している

2. できるけどしていない

3. できない

(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○はひとつ)

1. できるし、している

2. できるけどしていない

3. できない

(6) 自分で食事の用意をしていますか (○はひとつ)

1. できるし、している

2. できるけどしていない

3. できない

①【(6)において「1. できるし、している」以外の方のみ】

食事はどのように用意していますか (いくつでも)

1. だいたい家族がつくる

2. 外食かスーパーやコンビニで惣菜を買う

3. 配食弁当を利用する

4. その他 ( )

(7) 自分で請求書の支払いをしていますか (○はひとつ)

1. できるし、している

2. できるけどしていない

3. できない

(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○はひとつ)

1. できるし、している

2. できるけどしていない

3. できない

(9) 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか (○はひとつ)

1. はい

2. いいえ

(10) 新聞を読んでいますか (○はひとつ)

1. はい

2. いいえ

(11) 本や雑誌を読んでいますか (○はひとつ)

1. はい

2. いいえ

(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか (○はひとつ)

1. はい

2. いいえ

(13) 友人の家を訪ねていますか (○はひとつ)

1. はい

2. いいえ

(14) 家族や友人の相談にのっていますか (○はひとつ)

1. はい

2. いいえ

(15) 病人を見舞うことができますか (○はひとつ)

1. はい

2. いいえ

(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか (○はひとつ)

1. はい

2. いいえ

(17) 趣味はありますか (○はひとつ)

1. 趣味あり  $\longrightarrow$  ( )

2. 思いつかない

(18) 生きがいがありますか (○はひとつ)

1. 生きがいあり  $\longrightarrow$  ( )

2. 思いつかない

(19) 現在暮らしている地域に、足りないと思うものはなんですか (いくつでも)

1. 特になし

2. 交通手段

3. 医療機関

4. 薬局

5. スーパー

6. 集いの場

7. その他 ( )



**問5** 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか  
 ※① - ⑦それぞれに回答してください (回数の下番号に○を付けてください)

	週4回 以上	週2 ~3回	週1回	月1 ~3回	年に 数回	参加して いない
(回答例) ボランティアのグループ	①	2	3	4	5	6
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループや クラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑥ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑦ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (○はひとつ)

1. 是非参加したい                      2. 参加してもよい                      3. 参加したくない

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営 (お世話役) として参加してみたいと思いますか (○はひとつ)

1. 是非参加したい                      2. 参加してもよい                      3. 参加したくない

**問6****たすけあいについて**

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

- |                |               |           |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者         | 2. 同居の子ども     | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣         | 6. 友人     |
| 7. その他( )      | 8. そのような人はいない |           |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)

- |                |               |           |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者         | 2. 同居の子ども     | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣         | 6. 友人     |
| 7. その他( )      | 8. そのような人はいない |           |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)

- |                |               |           |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者         | 2. 同居の子ども     | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣         | 6. 友人     |
| 7. その他( )      | 8. そのような人はいない |           |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人(いくつでも)

- |                |               |           |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者         | 2. 同居の子ども     | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣         | 6. 友人     |
| 7. その他( )      | 8. そのような人はいない |           |

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください  
(いくつでも)

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ    | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー          | 4. 医師・歯科医師・看護師  |
| 5. 地域包括支援センター・役所・役場 | 6. その他          |
| 7. そのような人はいない       |                 |

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (〇はひとつ)

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある    | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない  |            |

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。  
同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(〇はひとつ)

- |             |          |         |
|-------------|----------|---------|
| 1. 0人 (いない) | 2. 1～2人  | 3. 3～5人 |
| 4. 6～9人     | 5. 10人以上 |         |

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)

- |                   |               |            |
|-------------------|---------------|------------|
| 1. 近所・同じ地域の人      | 2. 幼なじみ       | 3. 学生時代の友人 |
| 4. 仕事での同僚・元同僚     | 5. 趣味や関心が同じ友人 |            |
| 6. ボランティア等の活動での友人 |               |            |
| 7. その他            | 8. いない        |            |

(9) あなたのご家族が日常生活上支援が必要となったとき、地域の人にどのような支援をしてほしいと思いますか (いくつでも)

- |              |                      |          |
|--------------|----------------------|----------|
| 1. 外出の際の移動手段 | 2. 買い物               | 3. ごみ出し  |
| 4. 掃除・洗濯・炊事  | 5. 急病など緊急時の手助け       |          |
| 6. 病院などの付き添い | 7. 安否確認等の定期的な声かけ・見守り |          |
| 8. 災害時の手助け   | 9. その他 ( )           | 10. 特にない |

(10) となり近所に、高齢や病気・障がい等で困っている家庭があった場合、あなたはどのような支援ができると思いますか。(いくつでも)

- |              |                      |          |
|--------------|----------------------|----------|
| 1. 外出の際の移動手段 | 2. 買い物               | 3. ごみ出し  |
| 4. 掃除・洗濯・炊事  | 5. 急病など緊急時の手助け       |          |
| 6. 病院などの付き添い | 7. 安否確認等の定期的な声かけ・見守り |          |
| 8. 災害時の手助け   | 9. その他 ( )           | 10. 特にない |

## 問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○はひとつ)

- |          |         |            |         |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (○はひとつ)  
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても 不幸											とても 幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

(5) お酒は飲みますか (○はひとつ)

1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない  
4. もともと飲まない

(6) タバコは吸っていますか (○はひとつ)

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた  
4. もともと吸っていない

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

1. ない 2. 高血圧 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)  
4. 心臓病 5. 糖尿病 6. 高脂血症 (脂質異常)  
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気  
9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)  
11. 外傷 (転倒・骨折等) 12. がん (悪性新生物) 13. 血液・免疫の病気  
14. うつ病 15. 認知症 (アルツハイマー病等) 16. パーキンソン病  
17. 目の病気 18. 耳の病気 19. その他 ( )

(8) かかりつけの医師、歯科医師がいますか (○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

## 問8 終末期について

(1) あなたは、ご自分が病気などで最期を迎えるとしたら、どこで迎えたいと思いますか (○はひとつ)

- 1. 自宅
- 2. 何かしらの施設
- 3. わからない

① 【(1)で「2.何かしらの施設」と回答した方のみ】  
どのような施設ですか (○はひとつ)

- 1. 病院
- 2. ホスピス・緩和ケア病棟
- 3. 老人ホームなどの福祉施設
- 4. 高齢者向けのケア付き集合住宅

② 【(1)で「2.何かしらの施設」と回答した方のみ】  
施設を選択した理由はなんですか (いくつでも)

- 1. 家族の介護負担が心配
- 2. 看取ってくれる医師がいない
- 3. お金が大変そう
- 4. 自宅では痛みなどに苦しみそう
- 5. かかっていた医師や施設職員のもとで最期までみてほしい
- 6. その他 ( )

## 問9 今後の介護希望について

(1) あなたは今後どのように介護してほしいと思いますか (○はひとつ)

- 1. 自宅で家族だけで介護してほしい
- 2. 自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスを利用したい
- 3. 自宅で介護保険の在宅サービスだけで生活したい
- 4. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設に入所したい
- 5. その他 ( )

高齢者福祉や介護保険について、ご意見・ご要望がございましたら自由にご記入ください。

回答者に○をつけてください。( 本人 家族 その他 )

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■

# 飯塚市在宅介護実態調査 調査結果報告書

平成29年8月

飯塚市



## < 目 次 >

第1章	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査設計及び回収結果	1
3.	調査結果の見方	1
第2章	調査結果	2
1.	基本属性	2
(1)	性別	2
(2)	年齢	2
(3)	要介護度	3
(4)	世帯類型	3
2.	対象者本人の介護について	4
(1)	家族・親族からの介護の頻度	4
(2)	主な介護者	5
(3)	主な介護者の性別	5
(4)	主な介護者の年齢	6
(5)	主な介護者が行っている介護	7
(6)	介護を理由として仕事を辞めた家族・親族の有無	10
(7)	介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況	11
(8)	今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス	14
(9)	施設等への入所・入居の検討状況	17
(10)	現在抱えている傷病	18
(11)	訪問診療の利用状況	20
(12)	住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービス利用状況	21
(13)	介護保険サービスを利用していない理由	22
3.	主な介護者の就労と今後の介護について	24
(1)	主な介護者の就労状況	24
(2)	働き方の調整等の有無	25
(3)	仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先からの支援	27
(4)	今後の介護継続意向	29
(5)	主な介護者が不安に感じる介護	31
4.	市独自質問（今後の介護希望・終末期について）	34
(1)	今後の介護希望について	34
(2)	最期をどこで迎えたいか	36
(3)	どのような施設で最期をどこで迎えたいか	37
(4)	施設を選択した理由	38
第3章	調査票	40
1.	手法Ⅰ（訪問）	40
2.	手法Ⅱ（郵送）	47

## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

平成29年度に予定している第7期飯塚市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の基礎資料として、「高齢者の適切な在宅生活の継続」と「介護者（ご家族等）の就労の継続」の実現（いわゆる介護離職ゼロ）等を検討することを目的とする。

### 2. 調査設計及び回収結果

調査対象と 標本数	手法Ⅰ：平成29年3月末時点において、市内に居住する要支援・要介護認定者 手法Ⅱ：平成29年4月17日時点において、市内に居住する要支援・要介護認定者
調査方法	手法Ⅰ：訪問による聞き取り（600件） 手法Ⅱ：郵送調査（1,100件）
有効回収数 （率）	手法Ⅰ：470件（78.3%） 手法Ⅱ：697件（63.4%） 計 1,167件（68.6%）
調査期間	手法Ⅰ：平成29年4月1日～6月16日 手法Ⅱ：平成29年5月2日～5月31日

### 3. 調査結果の見方

- 回答は、原則として各質問の調査数を基数（n）とした百分率（%）で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- 「世帯類型別」「要介護度別」等の他の質問の回答別に集計したグラフでは、副問（サブクエスチョン）等の回答者が限定される質問もあるため、図表中の基数（n）を合計しても、必ずしも調査の有効回収数にならない場合がある。
- クロス集計等において、基数（n）となる調査数が少数となる場合は参考までに数値を見る程度に留め、結果の利用には注意を要する。
- 本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「第3章 調査票」を参照のこと。

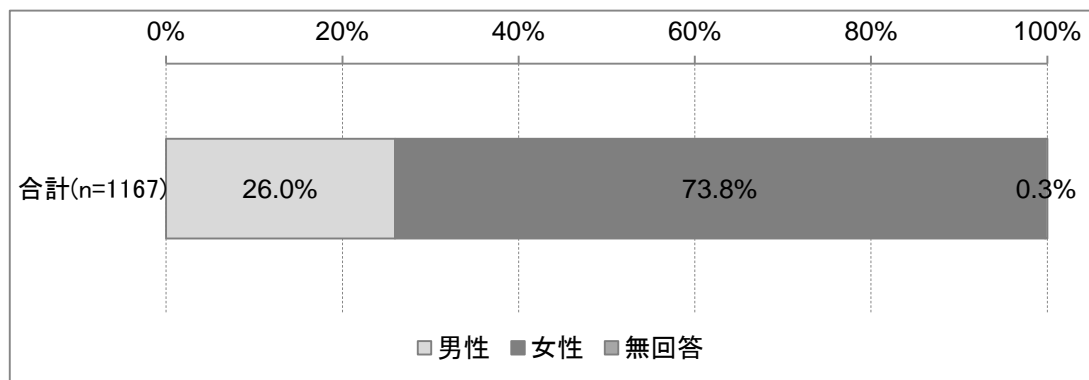
## 第2章 調査結果

### 1. 基本属性

#### (1) 性別

回答者の性別は、「男性」26.0%、「女性」73.8%と、女性の割合が高い。

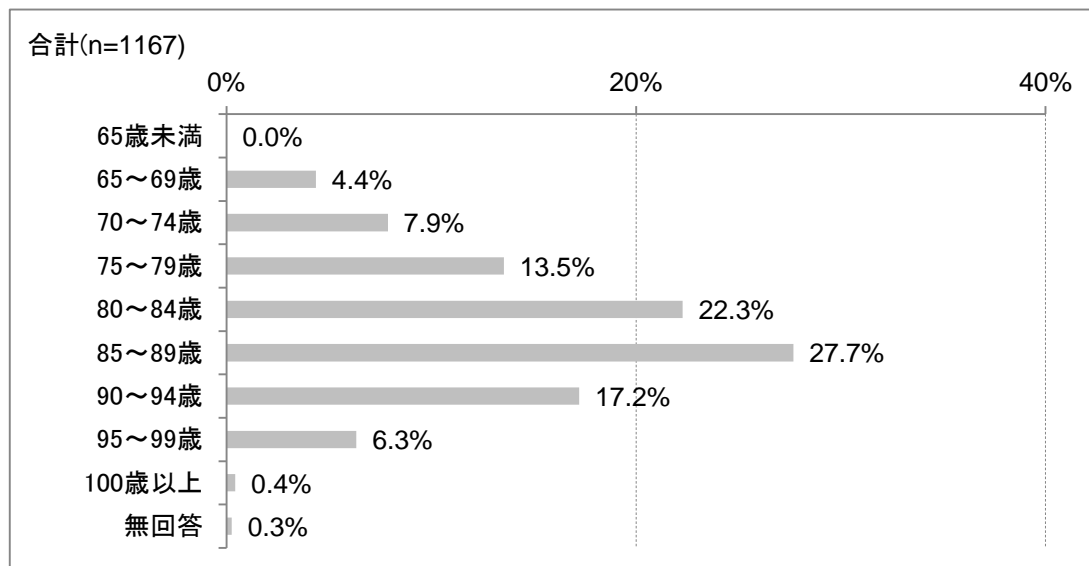
図表－1 性別



#### (2) 年齢

年齢をみると、「85～89歳」(27.7%)が最も多く、次いで「80～84歳」(22.3%)、「90～94歳」(17.2%)となっており、80歳以上の割合が73.9%となっている。

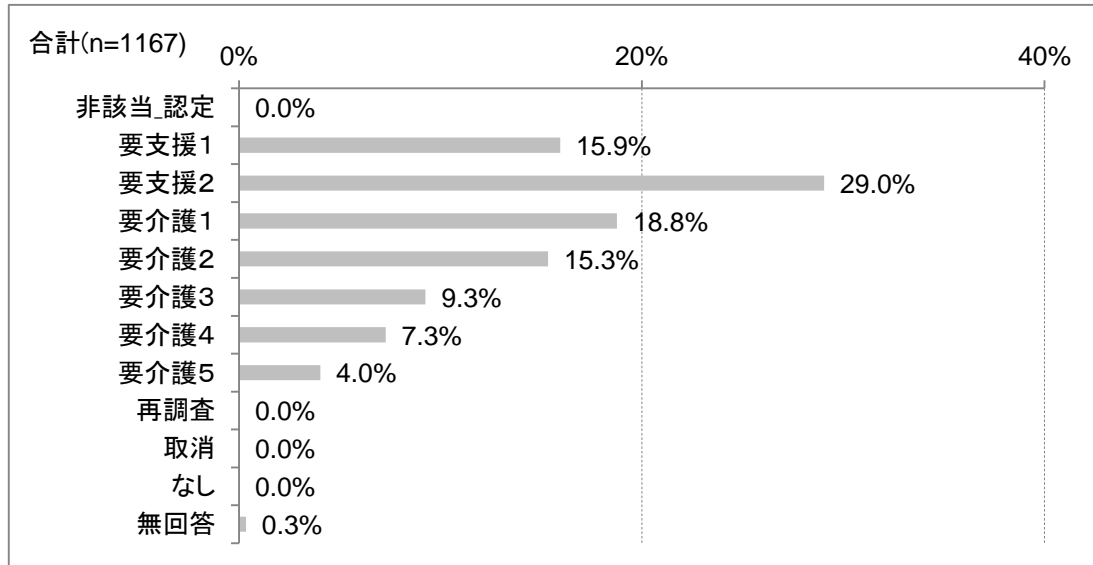
図表－2 年齢



## (3) 要介護度

要介護度をみると、「要支援2」(29.0%)が最も多く、次いで「要介護1」(18.8%)、「要支援1」(15.9%)となっており、「要介護1」以下の割合が63.7%と、比較的軽度の割合が高い。

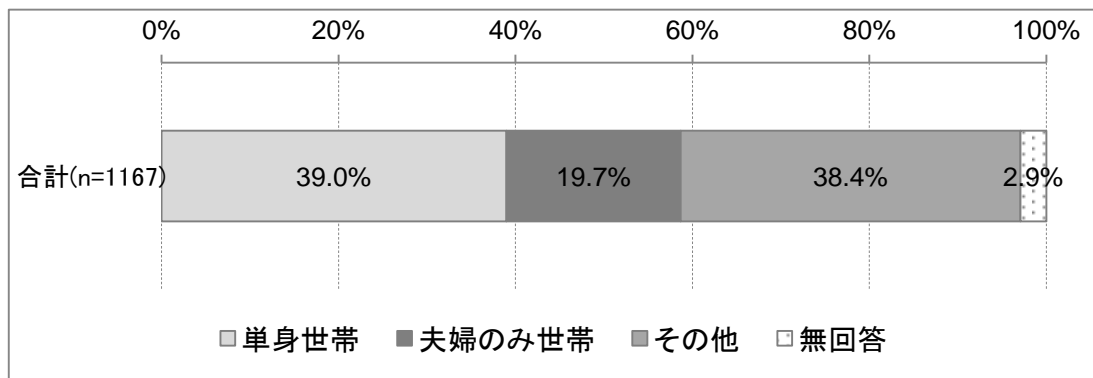
図表-3 要介護度



## (4) 世帯類型

世帯類型では、「単身世帯」(39.0%)が最も多く、次いで「その他」(38.4%)、「夫婦のみ世帯」(19.7%)となっている。

図表-4 世帯類型



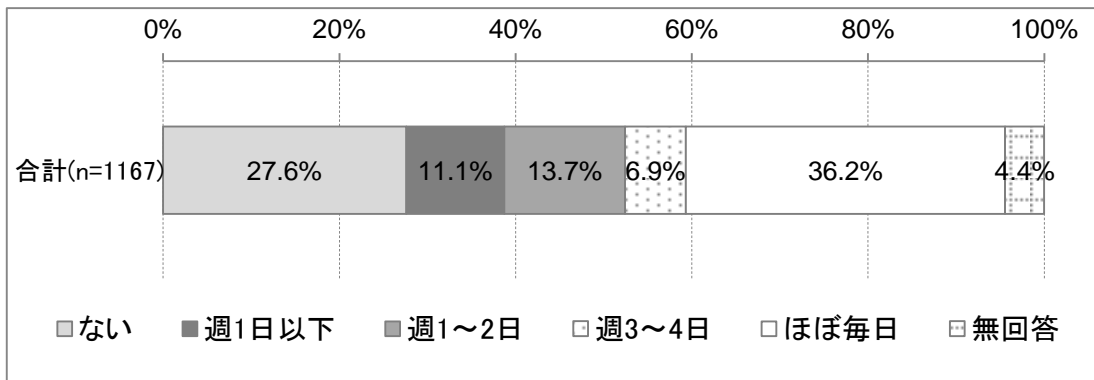
2. 対象者本人の介護について

(1) 家族・親族からの介護の頻度

A 票問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族からの介護を含む）（1つを選択）

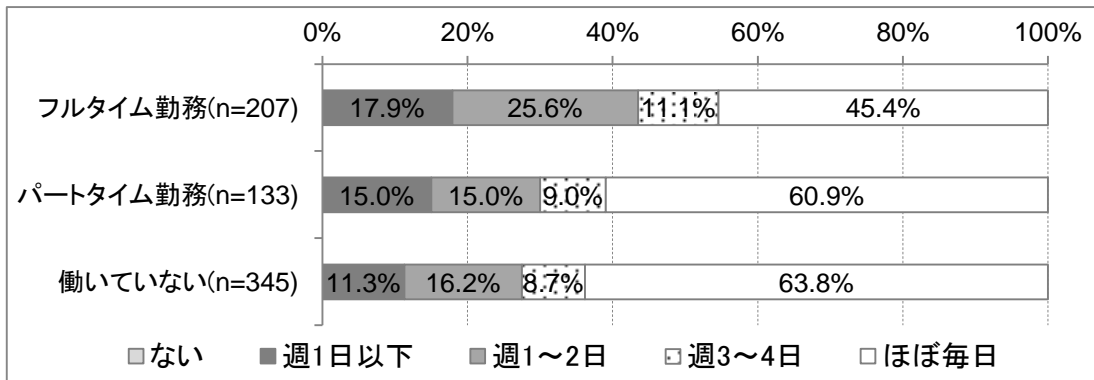
家族・親族からの介護の頻度では、「ほぼ毎日」(36.2%)が最も多く、次いで「ない」(27.6%)、「週1～2日」(13.7%)、「週1日以下」(11.1%)、「週3～4日」(6.9%)となっており、「ない・週1日以下」の割合が約4割となっている。

図表－5 家族・親族からの介護の頻度

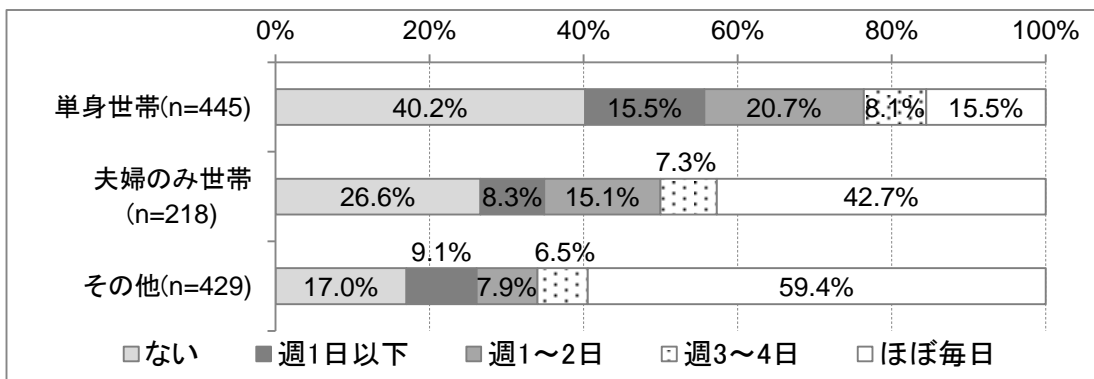


介護者の就労状況別にみると、就労時間が長くなるほど「ほぼ毎日」の割合が少なくなり、「ない」の割合は多くなる。

図表－6 介護者の就労状況別、世帯類型別 家族・親族からの介護の頻度 (%)



世帯類型別にみると、単身世帯は同居世帯に比べて「ほぼ毎日」の割合が少なく、「ない」の割合は多い。

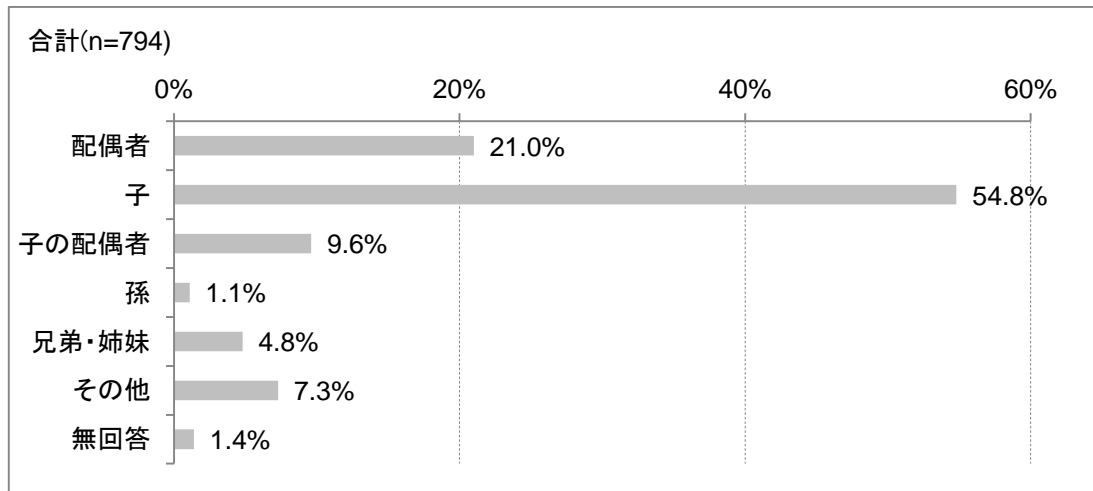


## (2) 主な介護者

## A 票問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

主な介護者では、「子」(54.8%)が最も多く、次いで「配偶者」(21.0%)、「子の配偶者」(9.6%)、「兄弟・姉妹」(4.8%)、「孫」(1.1%)となっており、子または配偶者で75.8%を占める。

図表－7 主な介護者

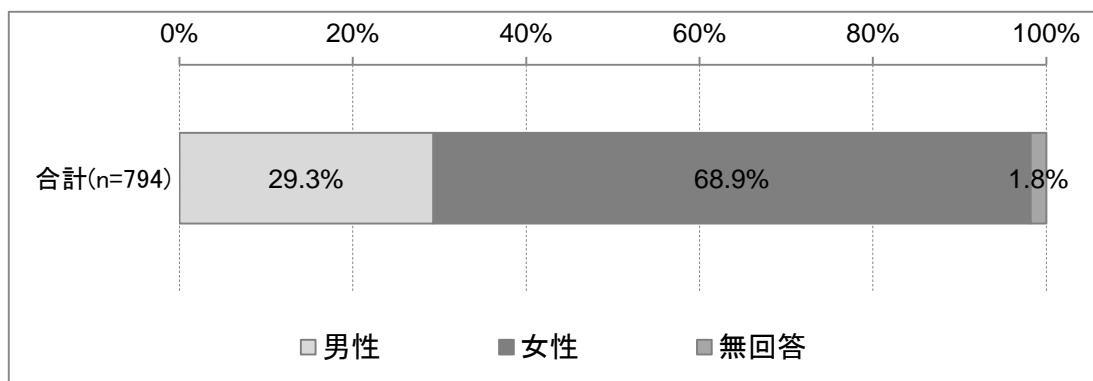


## (3) 主な介護者の性別

## A 票問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

主な介護者の性別では、「女性」が68.9%、「男性」が29.3%となっており、女性の割合が高い。

図表－8 主な介護者の性別



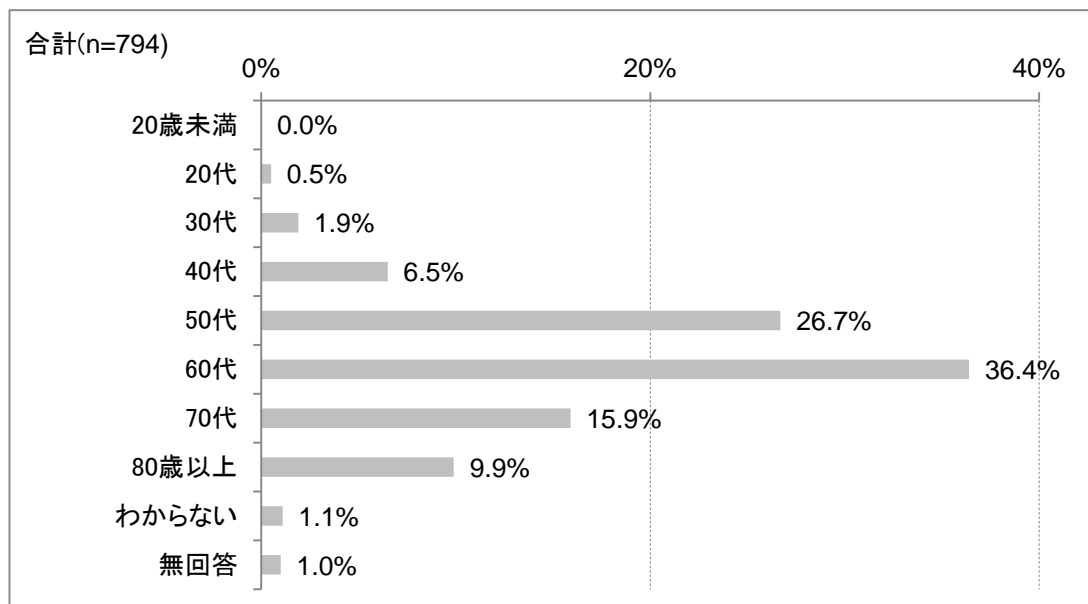
## 第2章 調査結果

### (4) 主な介護者の年齢

#### A 票問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

主な介護者の年齢では、「60代」(36.4%)が最も多く、次いで「50代」(26.7%)、「70代」(15.9%)、「80歳以上」(9.9%)、「40代」(6.5%)、「30代」(1.9%)、「20代」(0.5%)となっており、60代以上の割合が62.2%となっている。

図表－9 主な介護者の年齢

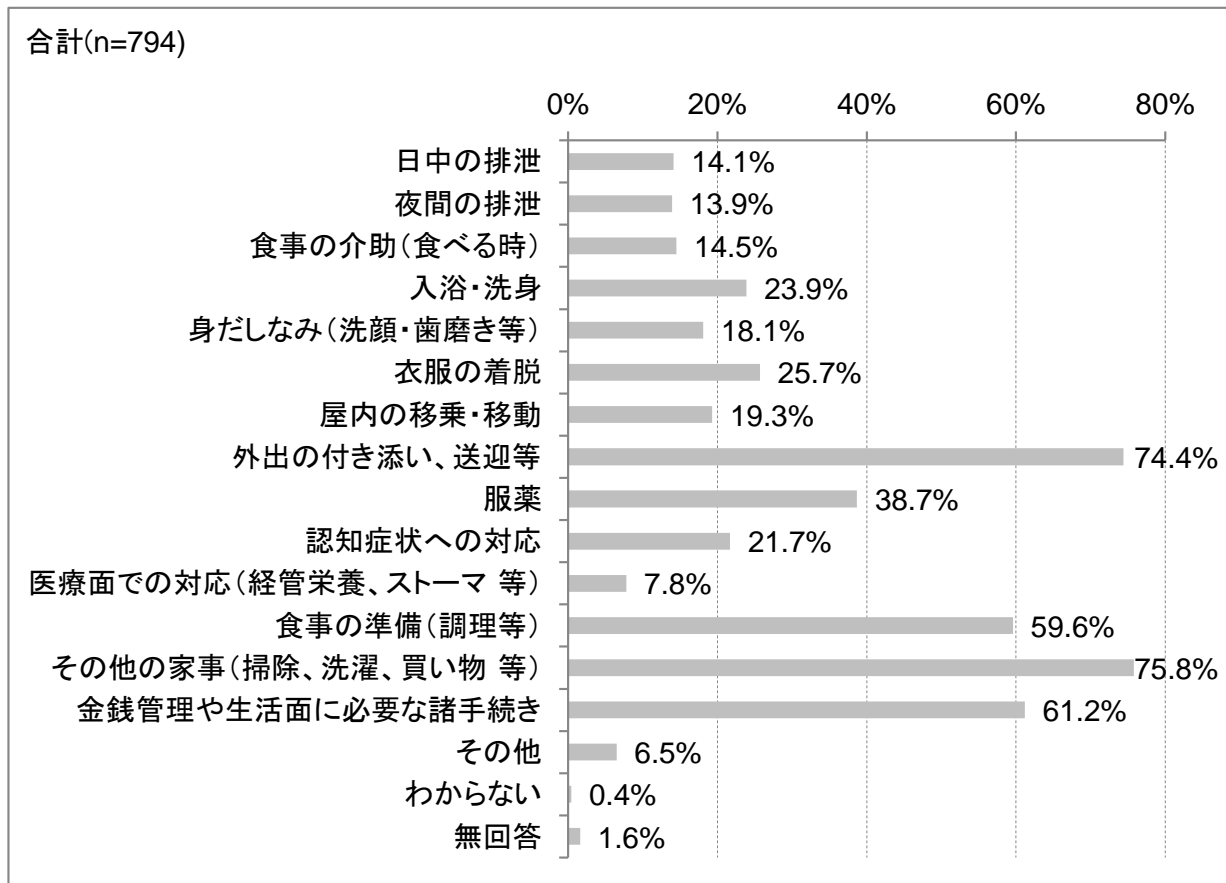


## (5) 主な介護者が行っている介護

A 票問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

主な介護者が行っている介護では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（75.8%）が最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」（74.4%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（61.2%）、「食事の準備（調理等）」（59.6%）、「服薬」（38.7%）となっている。

図表－10 主な介護者が行っている介護

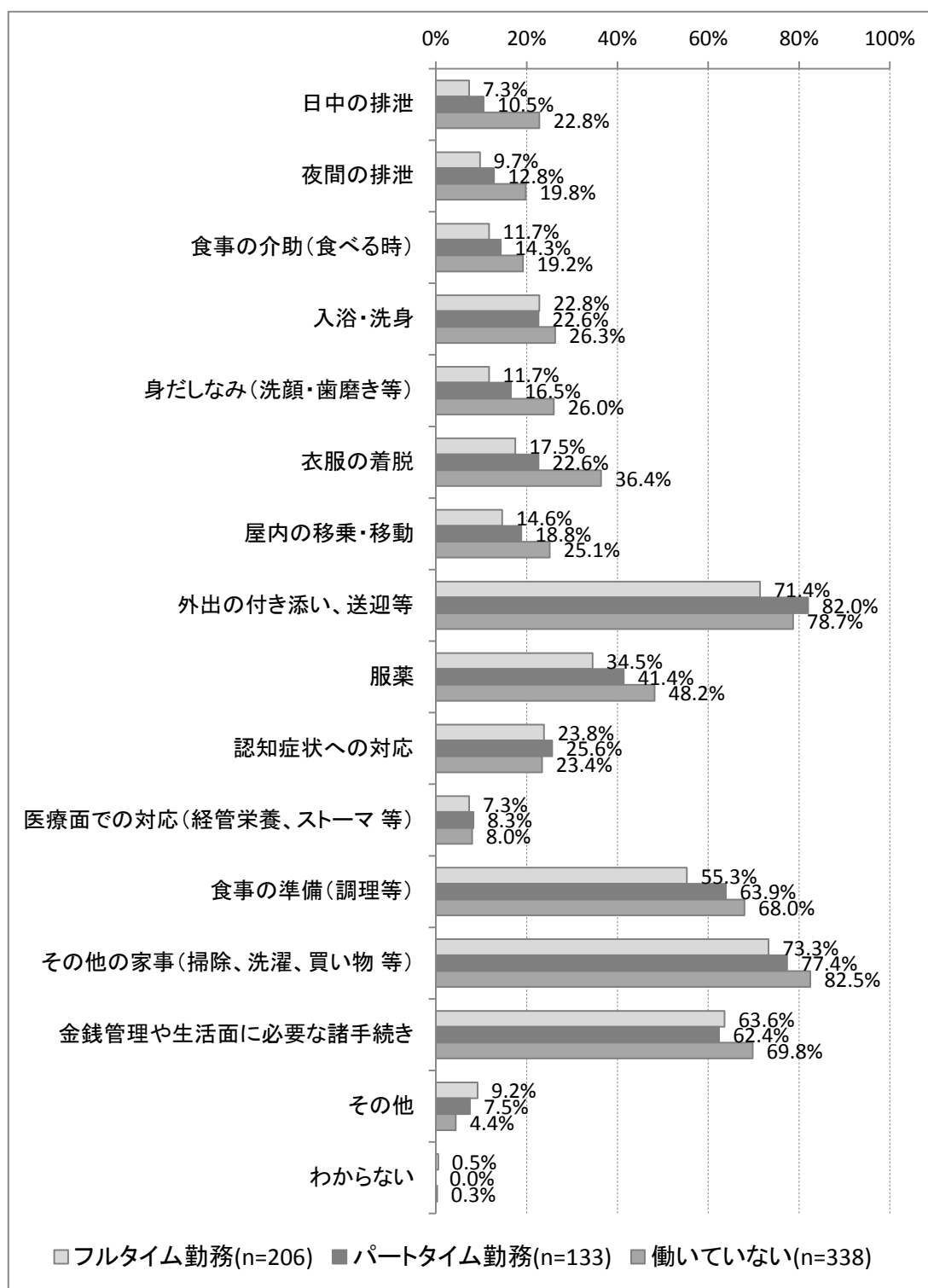




## 第2章 調査結果

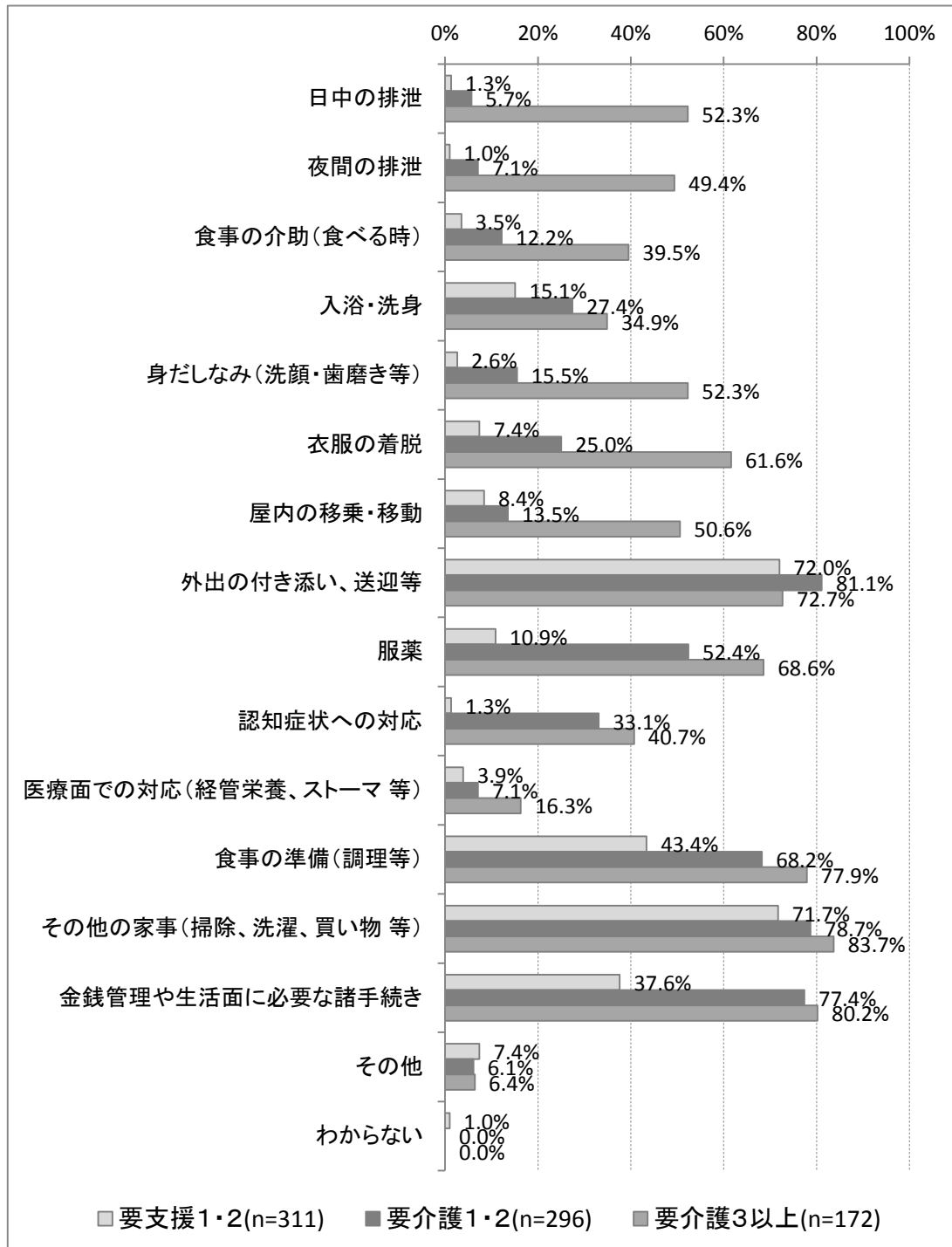
介護者の就労状況別にみると、「入浴・洗身」「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」「医療面での対応（経管栄養・ストーマ等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」「その他」を除く全てで、就労時間が短くなるほど介護を行っている割合が高くなっている。

図表－11 介護者の就労状況別 主な介護者が行っている介護（％）



要介護度別にみると、「外出の付き添い、送迎等」「その他」を除く全てで、要介護度が重度であるほど介護を行っている割合が高くなっている。

図表－12 要介護度別 主な介護者が行っている介護（％）

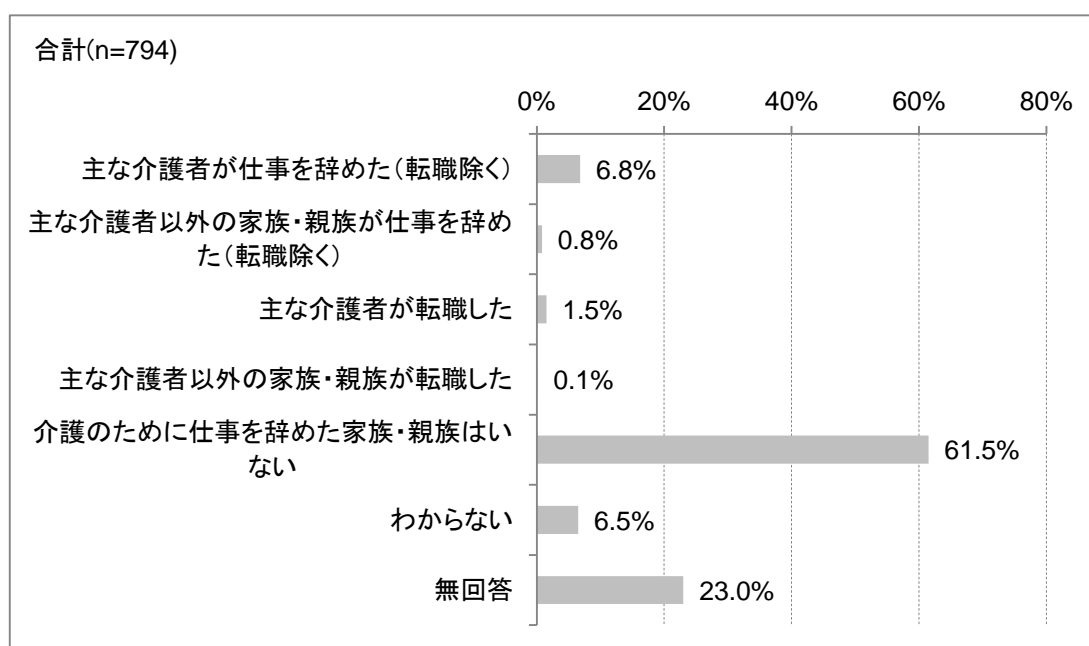


(6) 介護を理由として仕事を辞めた家族・親族の有無

A 票問7 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）  
（複数選択可）

介護を理由として仕事を辞めた家族・親族の有無では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」（61.5%）が最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（6.8%）、「わからない」（6.5%）、「主な介護者が転職した」（1.5%）、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」（0.8%）、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」（0.1%）となっており、介護を理由として、主な介護者やそれ以外の家族・親族が仕事を辞めた、または転職したのはいずれも1割未満である。

図表－13 介護を理由として仕事を辞めた家族・親族の有無

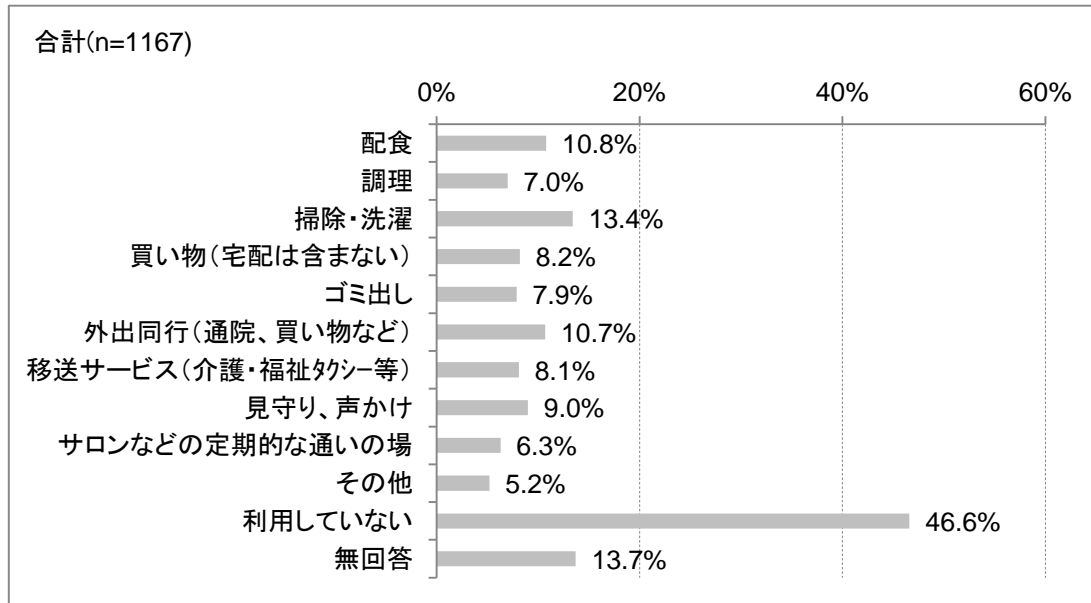


## (7) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況

A 票問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況では、「利用していない」（46.6%）が最も多く、次いで「掃除・洗濯」（13.4%）、「配食」（10.8%）、「外出同行（通院、買い物など）」（10.7%）、「見守り、声かけ」（9.0%）となっている。

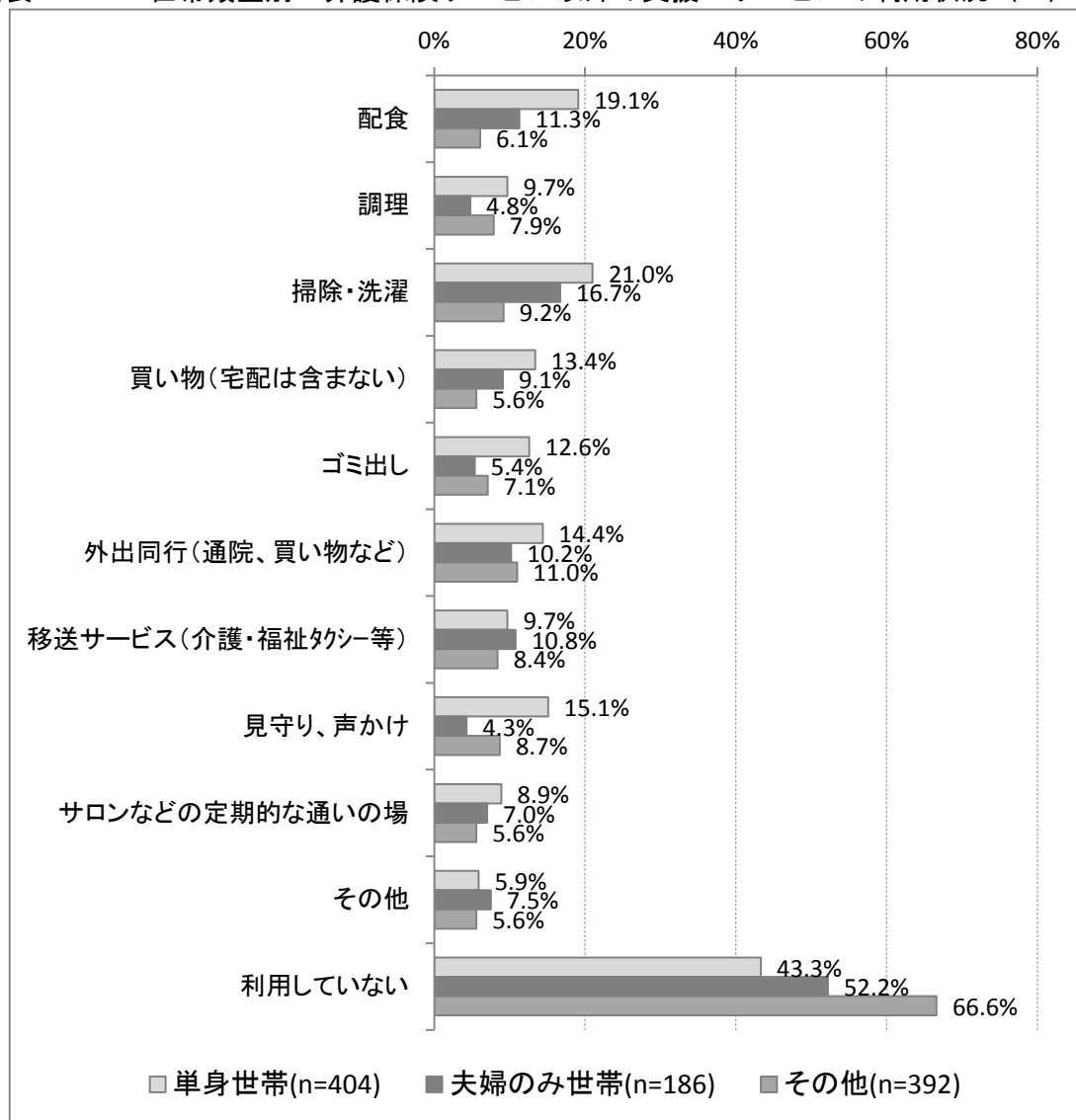
図表－14 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況



## 第2章 調査結果

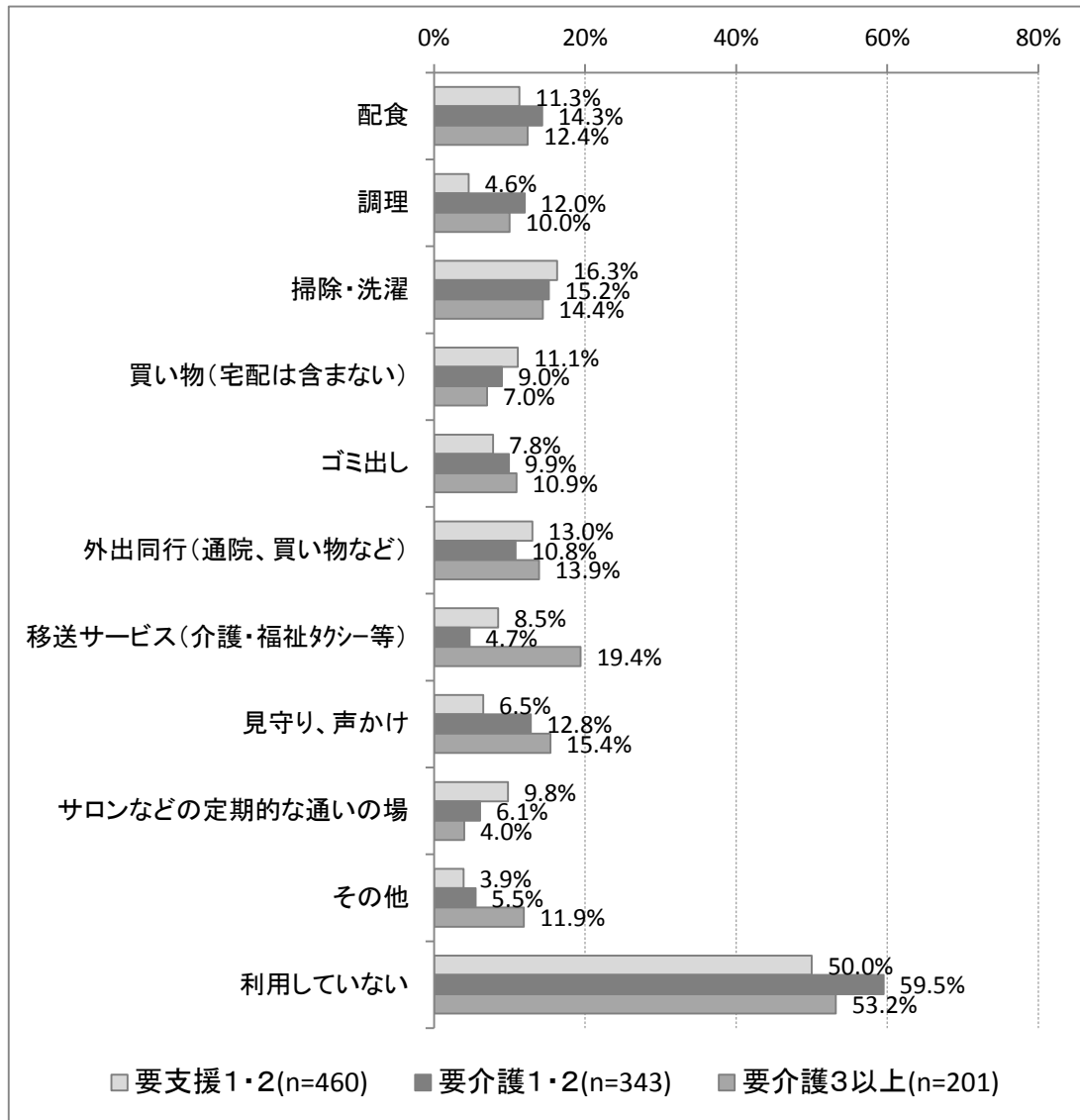
世帯類型別にみると、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「その他」を除く全てで、同居世帯より単身世帯の方が、介護保険サービス以外の支援・サービスの利用率が高い。

図表－15 世帯類型別 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況（％）



要介護度別にみると、「掃除・洗濯」「買い物（宅配は含まない）」「サロンなどの定期的な通いの場」は軽度であるほど利用率が高い。一方、「ゴミ出し」や「見守り・声かけ」は重度であるほど利用率が高い。

図表－16 要介護度別 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況（％）

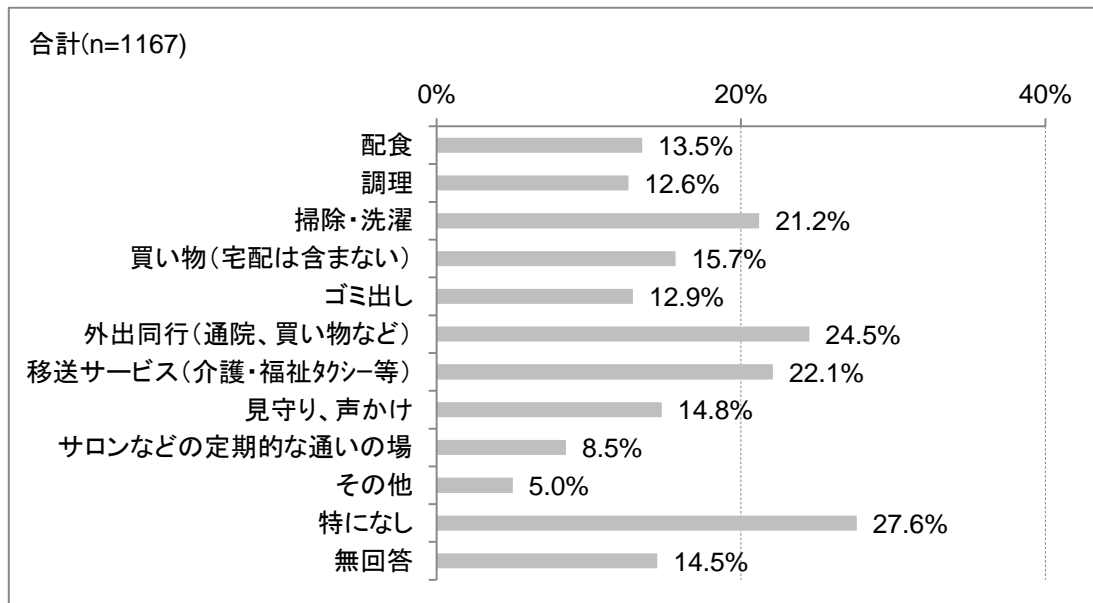


(8) 今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス

A 票問9 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

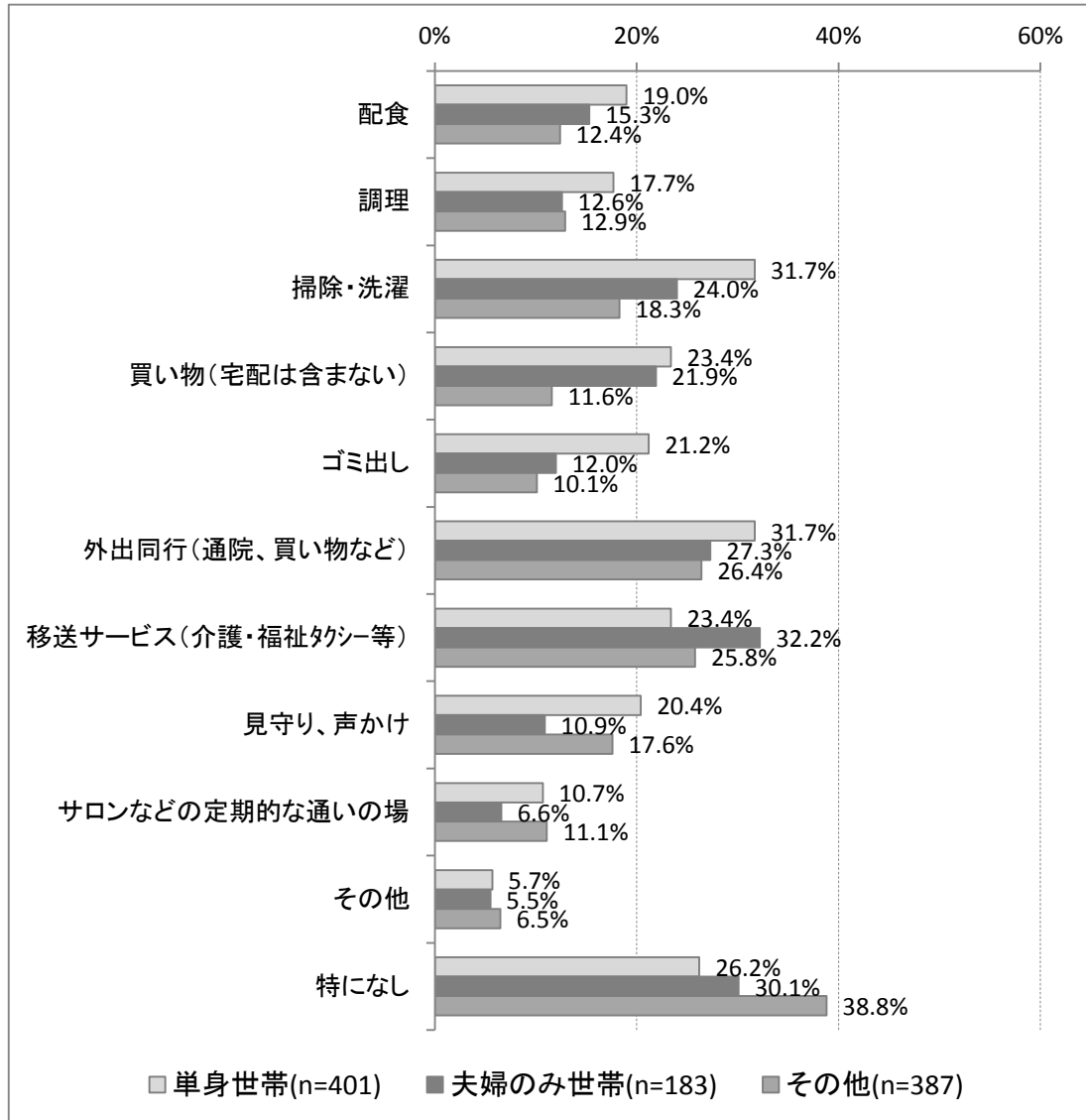
今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービスでは、「特になし」（27.6%）が最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」（24.5%）、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（22.1%）、「掃除・洗濯」（21.2%）となっている。

図表－17 今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス



世帯類型別にみると、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「サロンなどの定期的な通いの場」「その他」を除く全てのサービスで、同居世帯より単身世帯の方が、今後の在宅生活の継続に必要なと感じている割合が高い。

図表－18 世帯類型別 今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス（%）

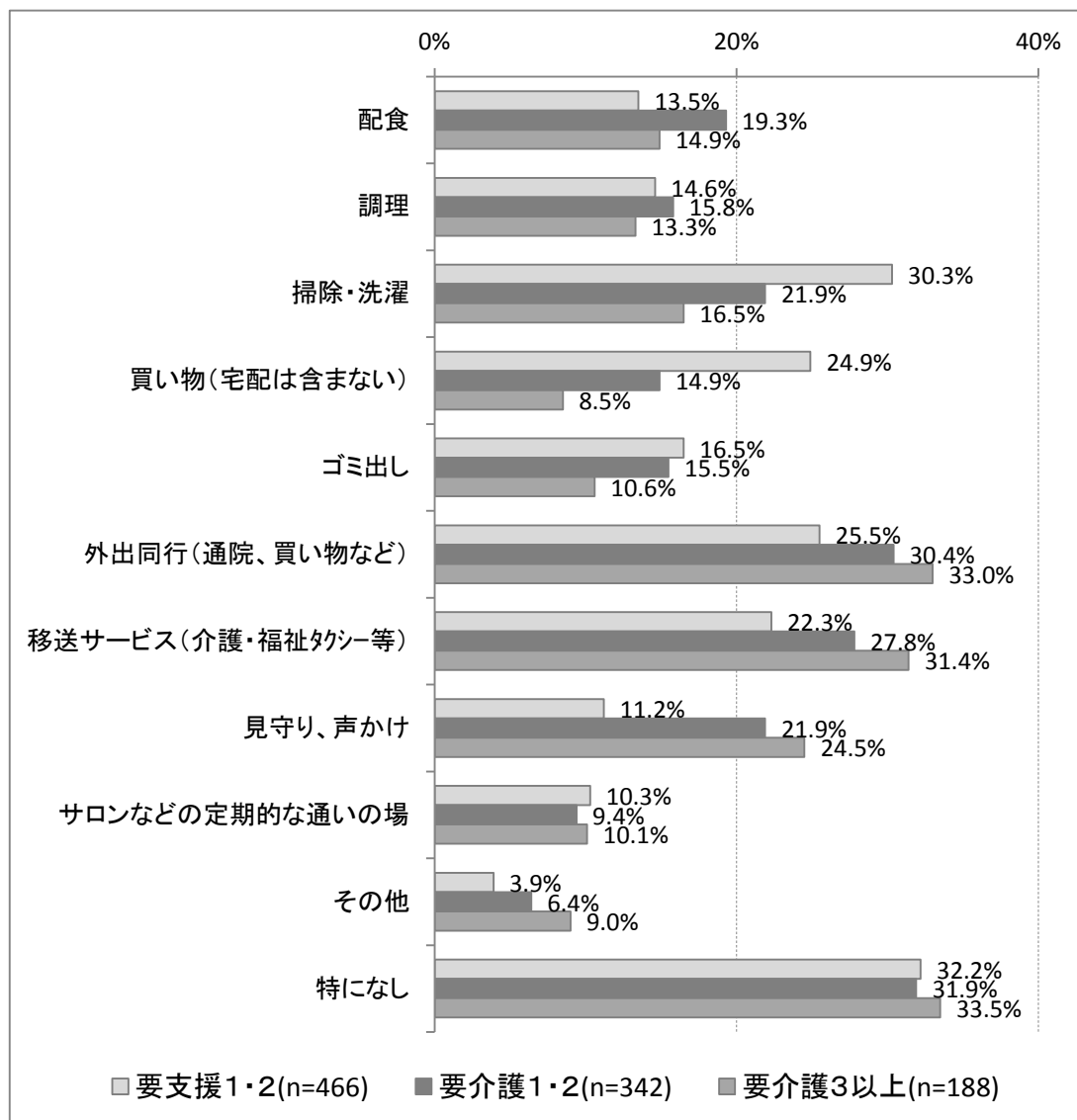




## 第2章 調査結果

要介護度別にみると、「掃除・洗濯」「買い物（宅配は含まない）」「ゴミ出し」は軽度であるほど、今後の在宅生活の継続に必要なと感じる割合が高い。一方、「外出同行（通院・買い物など）」や「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「見守り・声かけ」は重度であるほど、今後の在宅生活の継続に必要なと感じる割合が高い。

図表－19 要介護度別 今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス（％）

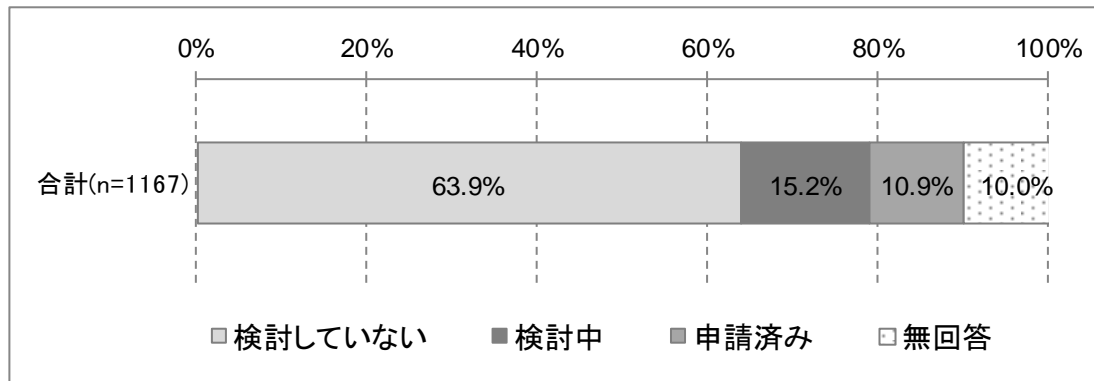


(9) 施設等への入所・入居の検討状況

A 票問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください  
(1つを選択)

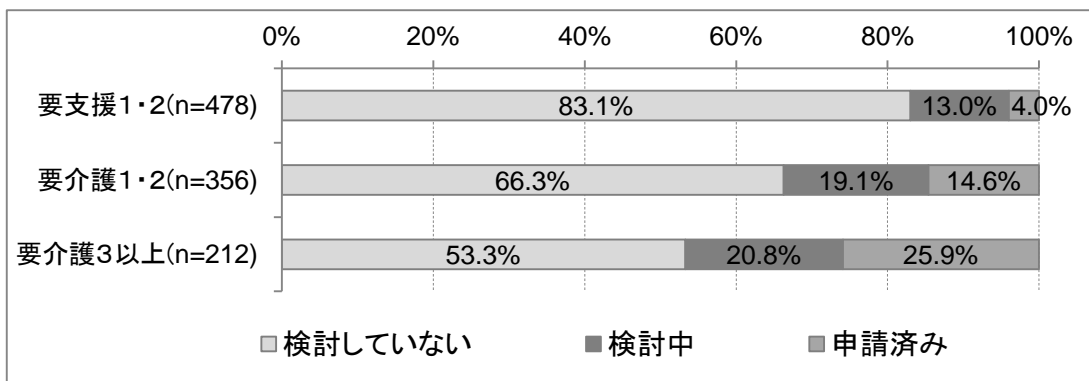
施設等への入所・入居の検討状況では、「検討していない」(63.9%)が最も多く、次いで「検討中」(15.2%)、「申請済み」(10.9%)となっており、入所・入居を検討中、申請済みを含めて26.1%を占める。

図表-20 施設等への入所・入居の検討状況

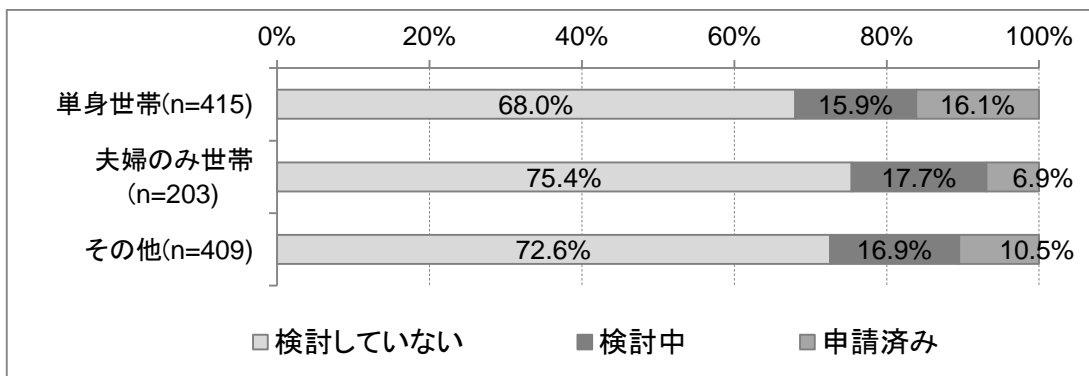


要介護度別にみると、重度であるほど「検討中」「申請済み」の割合が高い。

図表-21 要介護度別、世帯類型別 施設等への入所・入居の検討状況 (%)



世帯類型別にみると、単身世帯は同居世帯に比べて「申請済み」の割合が高い。

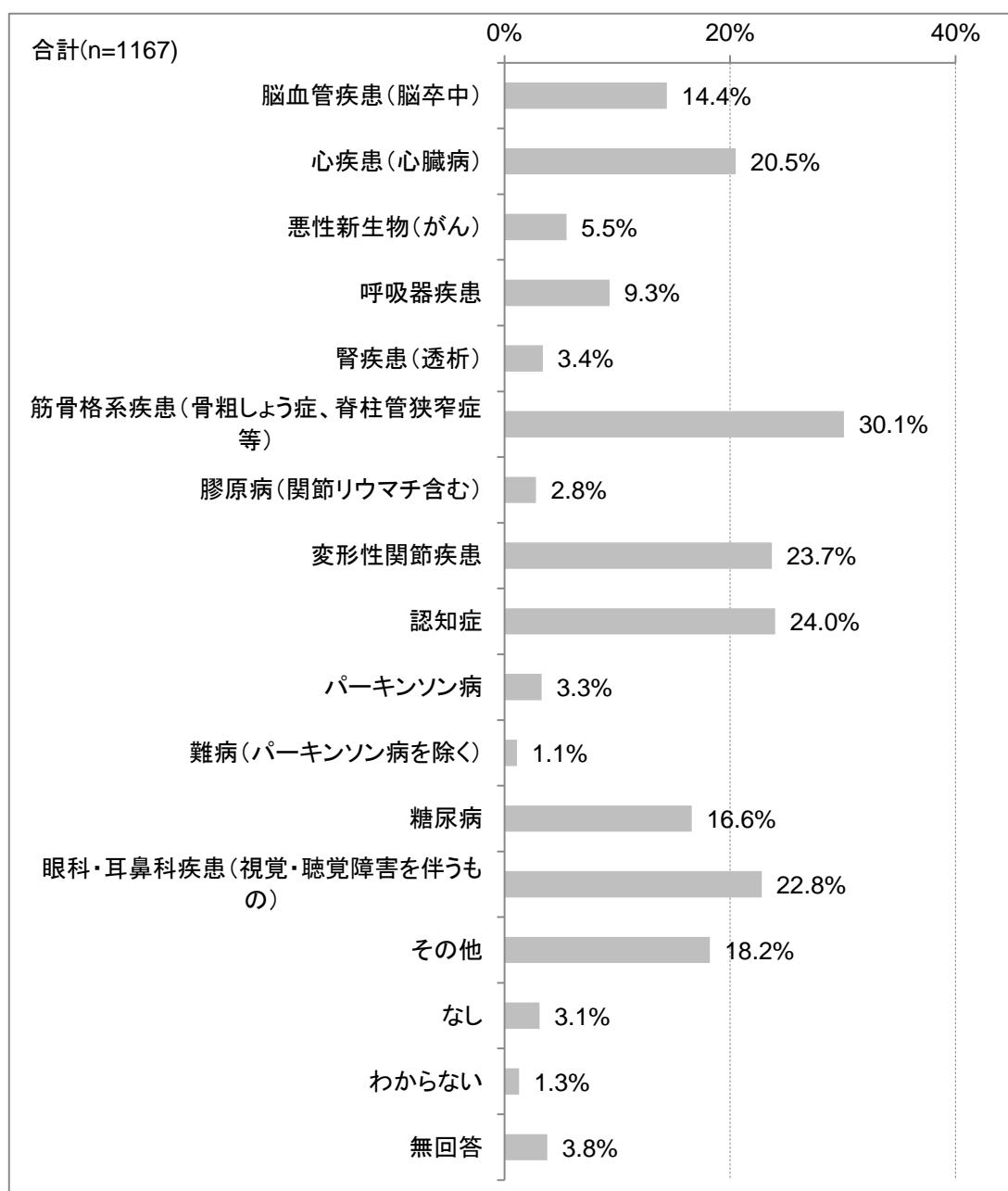


(10) 現在抱えている傷病

A 票問11 ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）

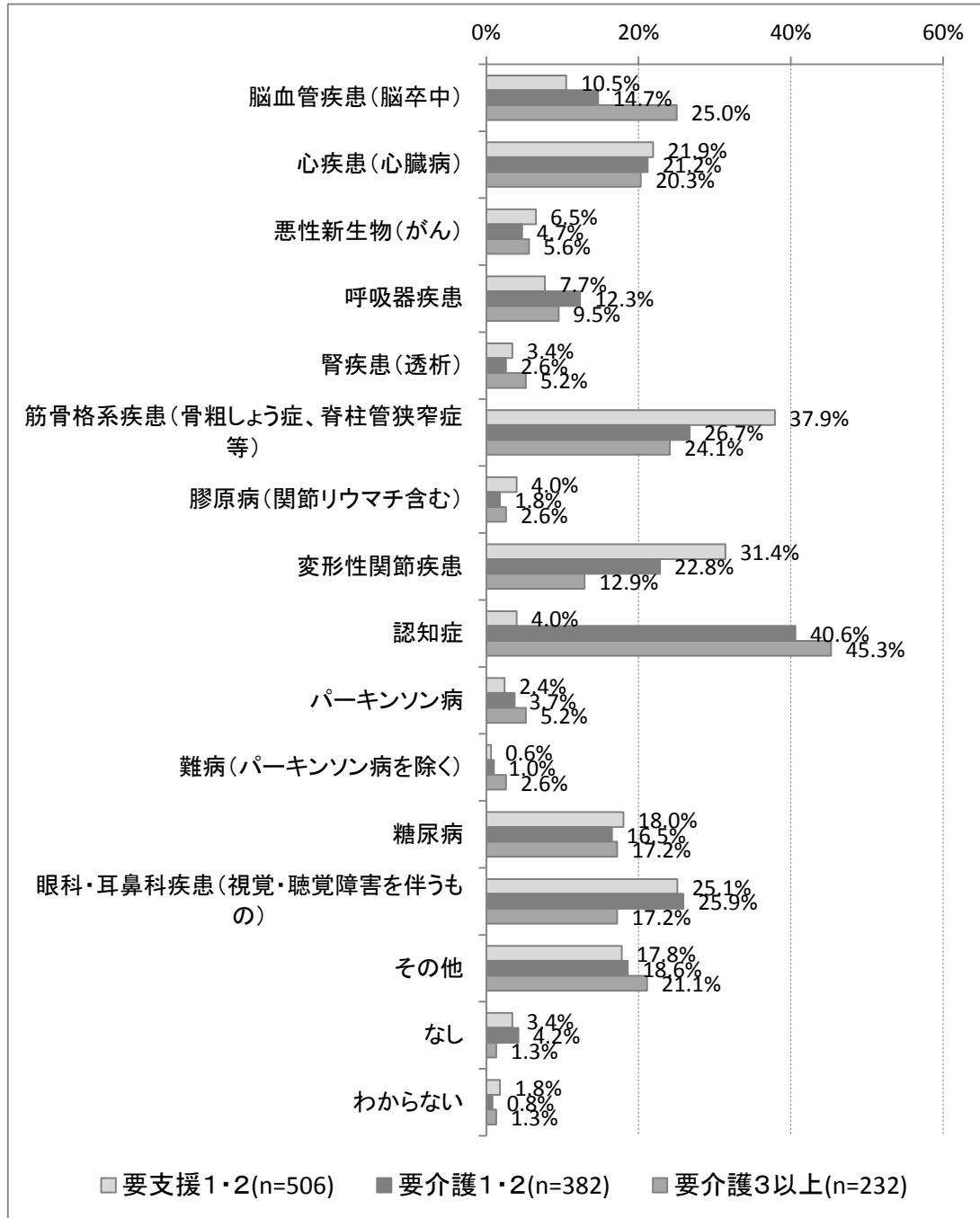
現在抱えている傷病では、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」（30.1%）が最も多く、次いで「認知症」（24.0%）、「変形性関節疾患」（23.7%）、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」（22.8%）、「心疾患（心臓病）」（20.5%）となっている。

図表－22 現在抱えている傷病



要介護度別にみると、「心疾患（心臓病）」「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」「変形性関節疾患」は軽度であるほど有病率が高く、「脳血管疾患（脳卒中）」「認知症」「パーキンソン病」「難病（パーキンソン病を除く）」は重度であるほど有病率が高い。

図表－23 要介護度別 現在抱えている傷病（％）



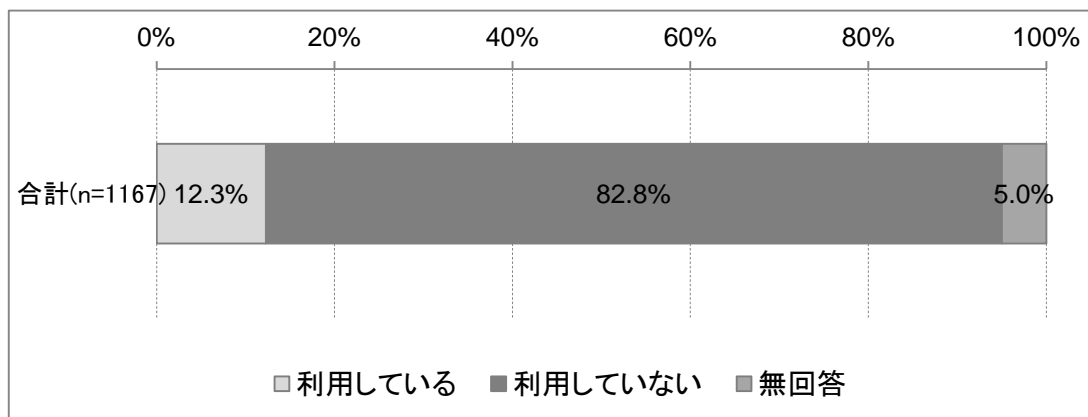
## 第2章 調査結果

### (11) 訪問診療の利用状況

A 票問12 ご本人は、現在、訪問診療（医療保険による往診）を利用していますか（1つを選択）

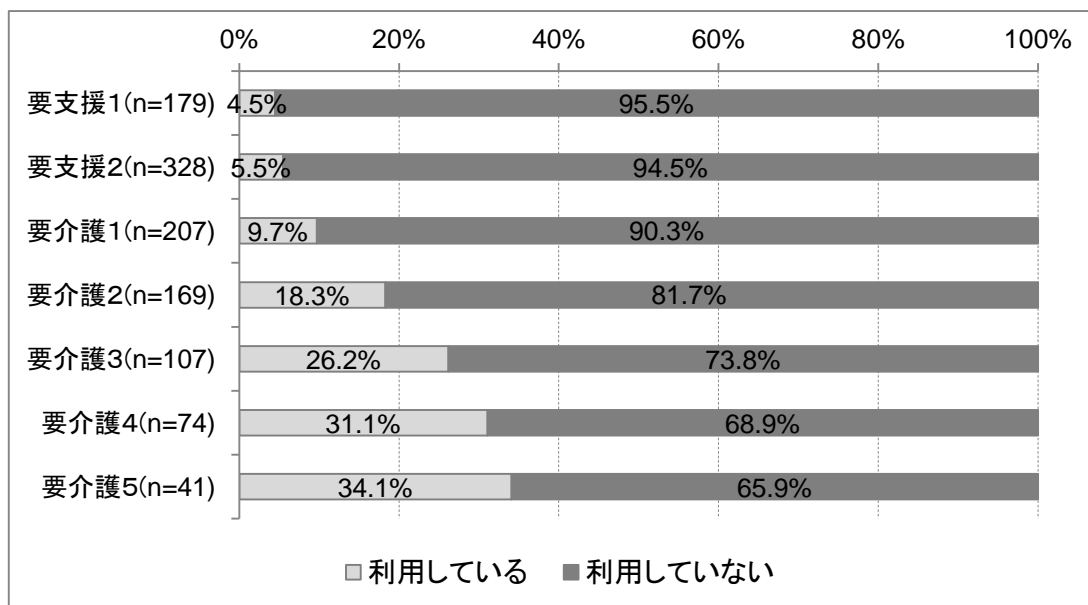
訪問診療の利用状況では、「利用していない」が82.8%、「利用している」が12.3%となっており、非利用者の割合が高い。

図表－24 訪問診療の利用状況



要介護度別にみると、重度であるほど訪問診療の利用率が高い。

図表－25 要介護度別 訪問診療の利用状況（%）

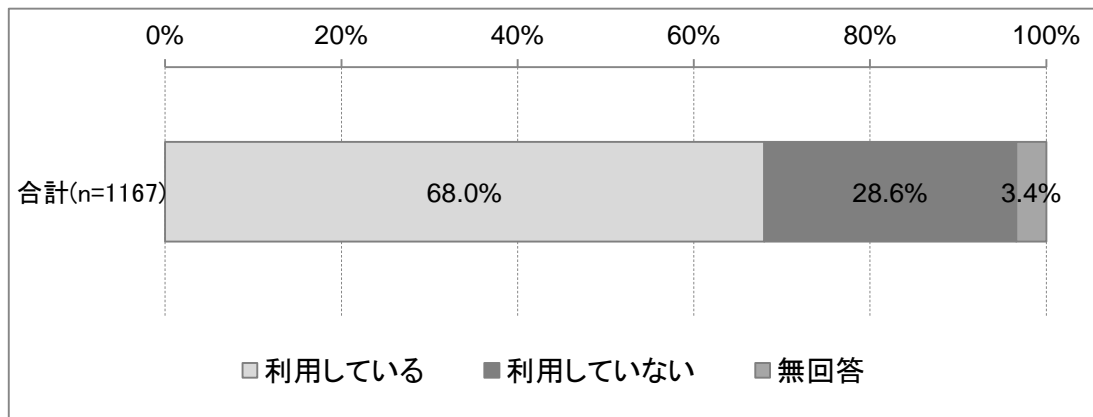


## (12) 住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービス利用状況

A 票問13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外)の介護保険サービスを利用していますか  
(1つを選択)

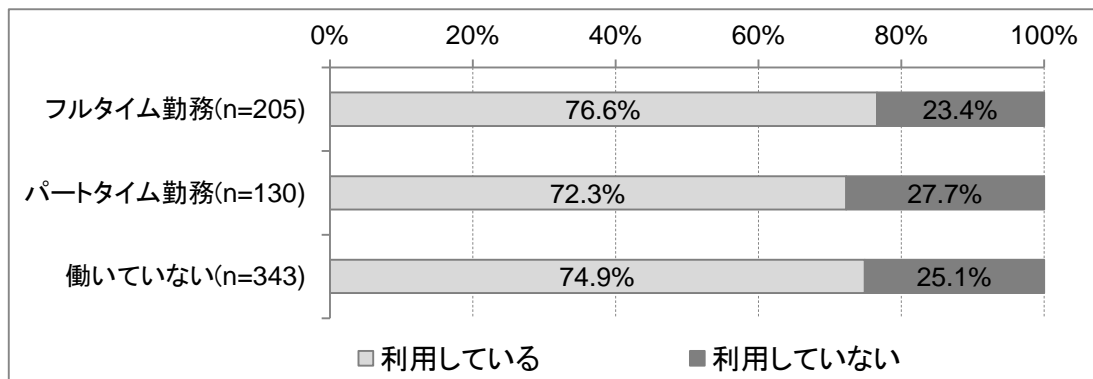
住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービス利用状況では、「利用している」が68.0%、「利用していない」が28.6%となっており、利用者の割合が高い。

図表-26 住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービス利用状況



介護者別の就労状況別では、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外のサービスの利用状況に差はみられず、いずれも利用者が7割を超えている。

図表-27 介護者の就労状況別 住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービス利用状況 (%)



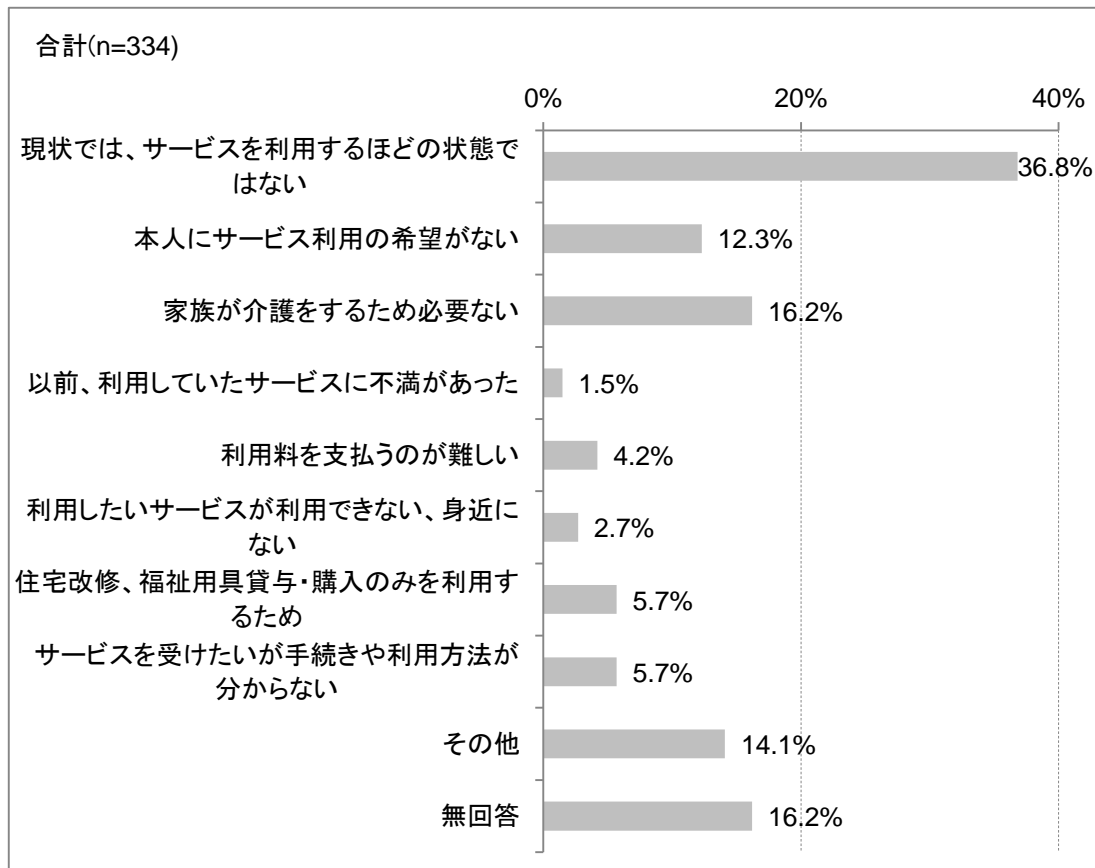
(13) 介護保険サービスを利用していない理由

**A 票問13で「2.」を回答した人のみにお伺いします。**

**A 票問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）**

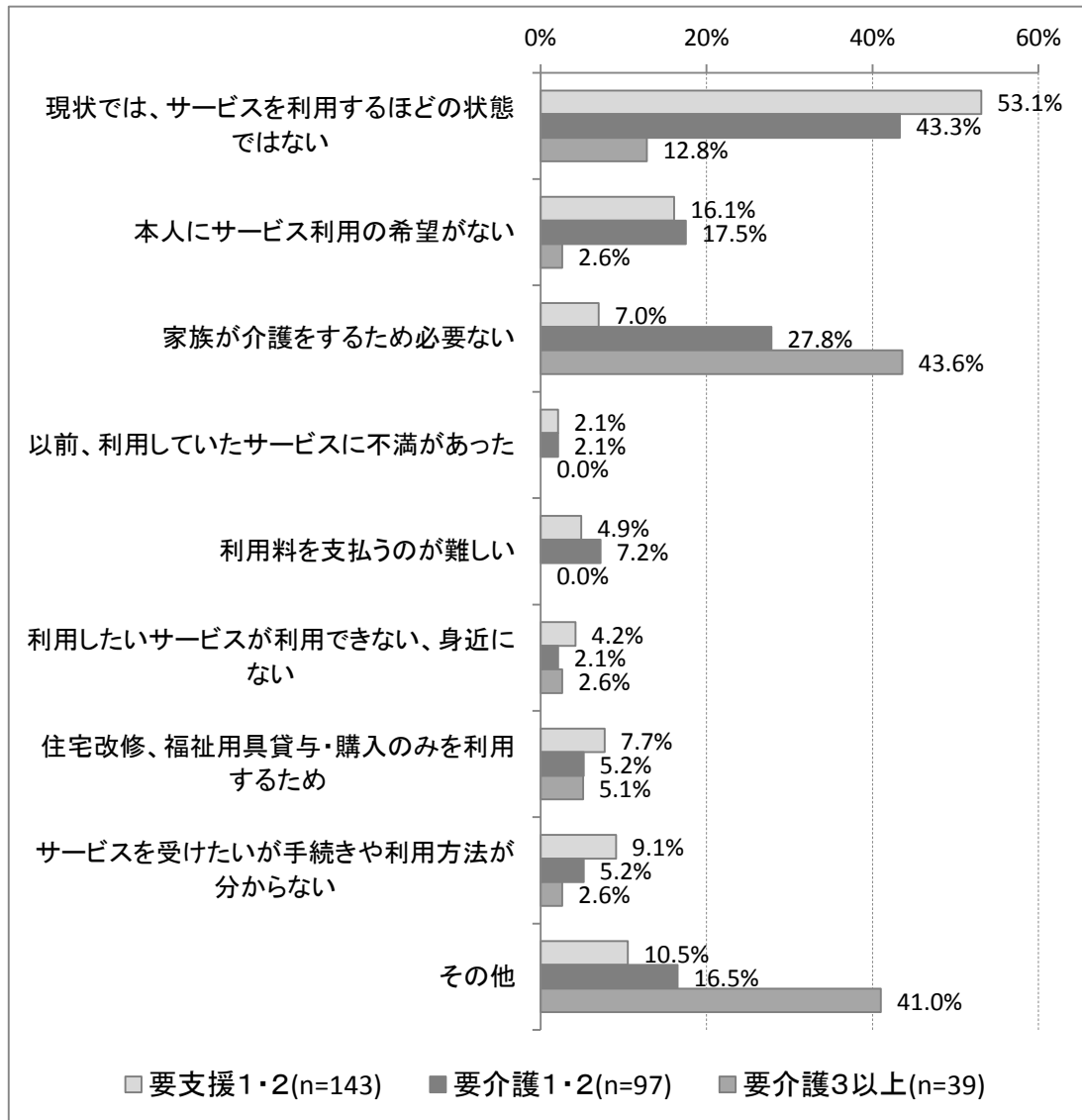
介護保険サービスを利用していない理由では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(36.8%)が最も多く、次いで「家族が介護をするため必要ない」(16.2%)、「本人にサービス利用の希望がない」(12.3%)となっている。

図表-28 介護保険サービスを利用していない理由



要介護度別にみると、軽度であるほど「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」の割合が高く、重度であるほど「家族が介護をするため必要ない」の割合が高い。

図表-29 要介護度別 介護保険サービスを利用していない理由(%)





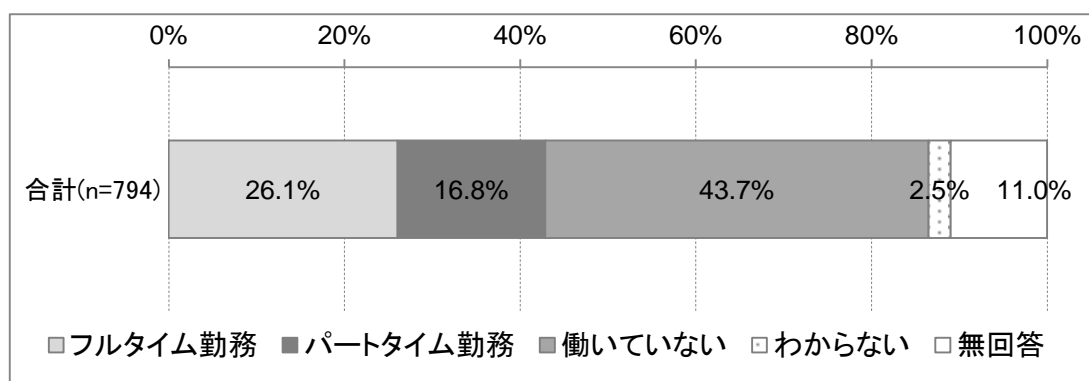
3. 主な介護者の就労と今後の介護について

(1) 主な介護者の就労状況

B 票問1 主な介護者（ご家族やご親族等）の方の現在の勤務形態について、ご回答ください  
（1つを選択）

主な介護者の就労状況では、「働いていない」（43.7%）が最も多く、次いで「フルタイム勤務」（26.1%）、「パートタイム勤務」（16.8%）となっており、主な介護者が何らかの職に就いている割合は、42.9%となっている。

図表－30 主な介護者の就労状況



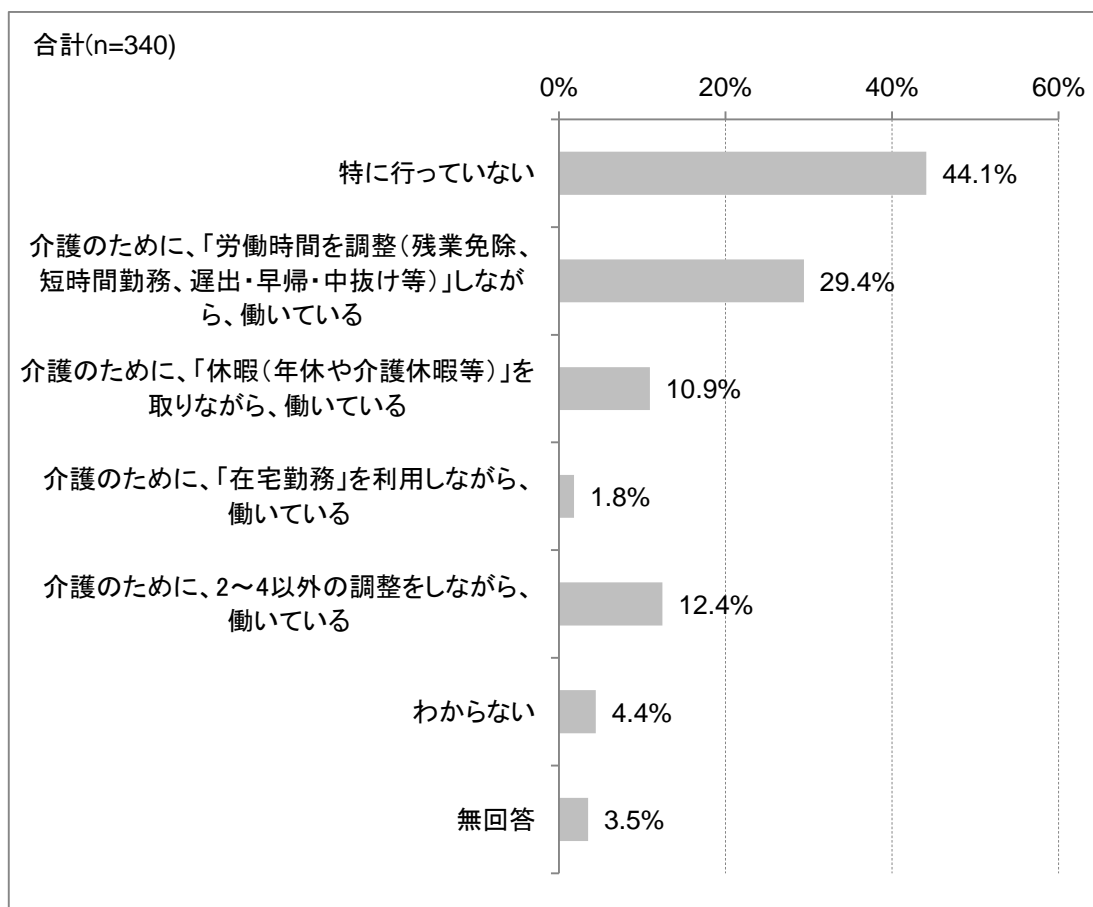
## (2) 働き方の調整等の有無

**B 票問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。**

**B 票問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしてい  
ますか（複数選択可）**

働き方の調整等の有無では、「特に行っていない」（44.1%）が最も多く、次いで『介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、退出・早帰・中抜け等）」しながら働いている』（29.4%）、『介護のために、2～4（労働時間・休暇・在宅勤務）以外の調整をしながら働いている』（12.4%）、『介護のために「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている』（10.9%）、『介護のために、「在宅勤務」を利用しながら働いている』（1.8%）となっている。

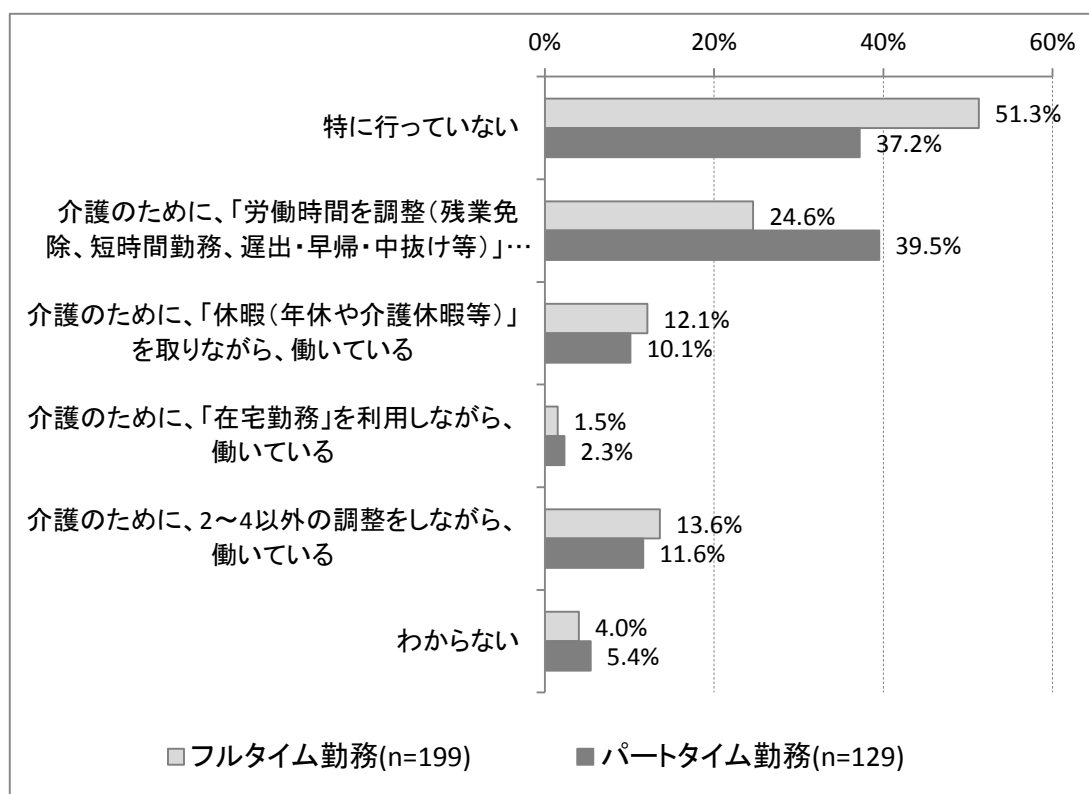
図表－31 働き方の調整等の有無



## 第2章 調査結果

主な介護者の就労状況別にみると、パートタイム勤務に比べてフルタイム勤務は、「特に行っていない」『介護のために「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている』『介護のために、2～4（労働時間・休暇・在宅勤務）以外の調整をしながら働いている』の割合が高い。一方、フルタイム勤務に比べパートタイム勤務は、『介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている』『介護のために、「在宅勤務」を利用しながら働いている』の割合が高い。

図表－3 2 主な介護者の就労状況別 働き方の調整等の有無（％）



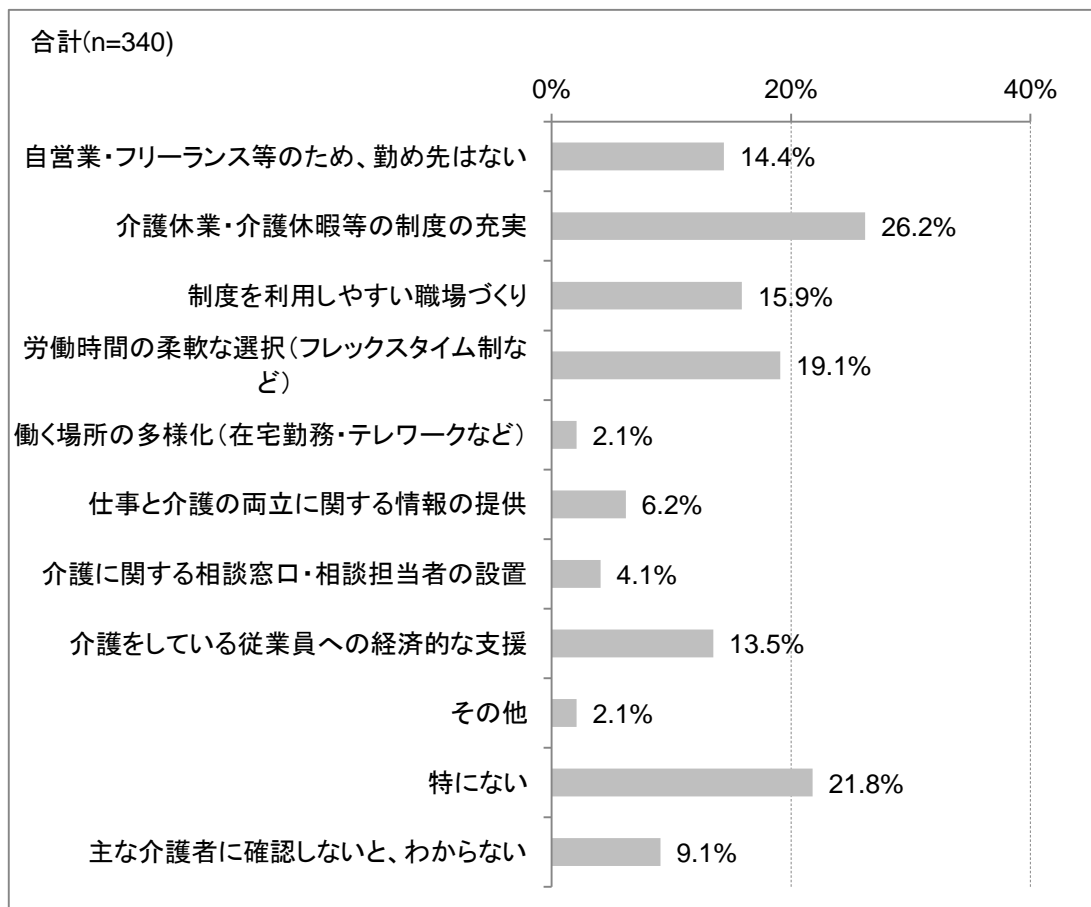
## (3) 仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先からの支援

**B票問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。**

**B票問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）**

仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先からの支援では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(26.2%)が最も多く、次いで「特にない」(21.8%)、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」(19.1%)、「制度を利用しやすい職場づくり」(15.9%)となっている。

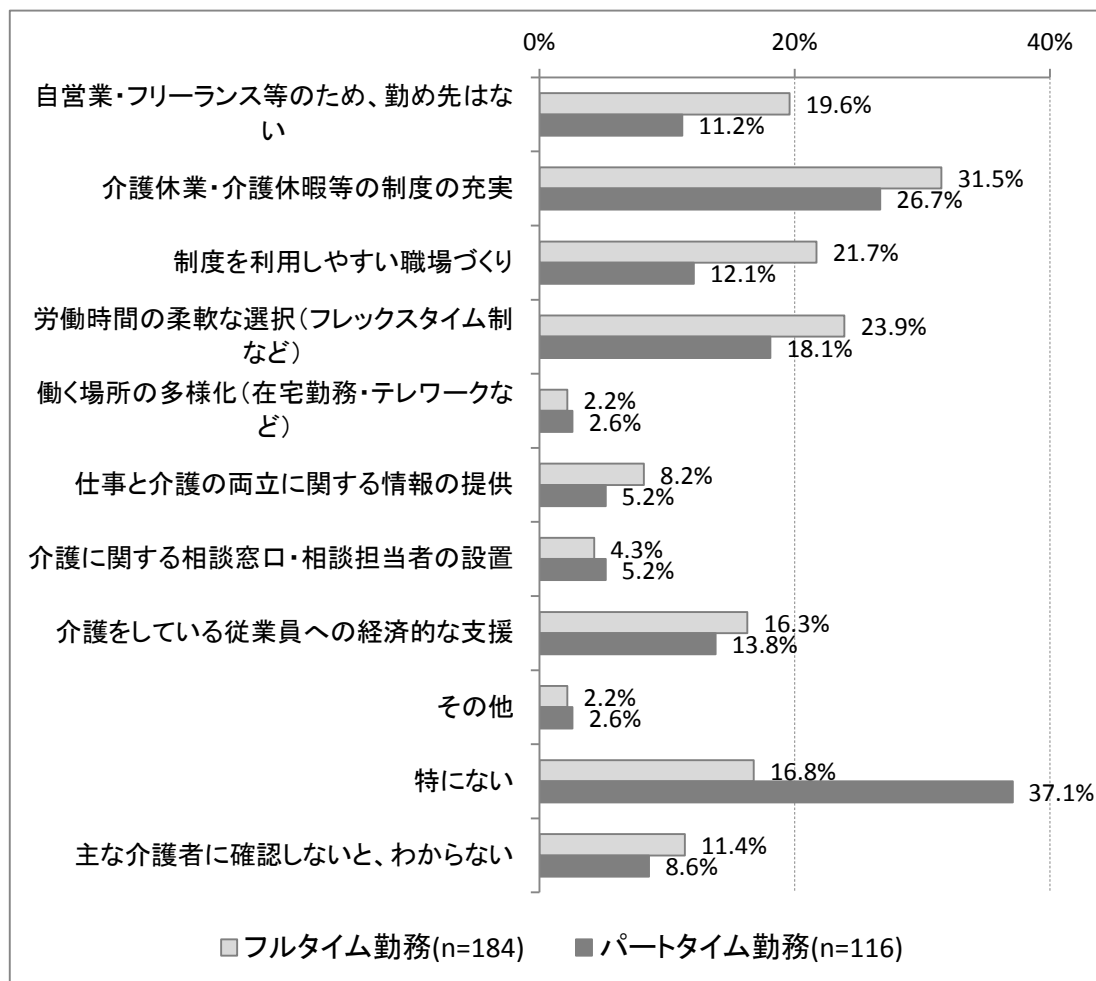
図表－33 仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先からの支援



## 第2章 調査結果

介護者の就労状況別にみると、「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）」「介護に関する相談窓口・相談担当者の設置」「その他」を除く全ての支援で、パートタイム勤務に比べてフルタイム勤務の方が仕事と介護の両立に効果があると思う割合が高い。

図表－34 介護者の就労状況別 仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先からの支援（％）



## (4) 今後の介護継続意向

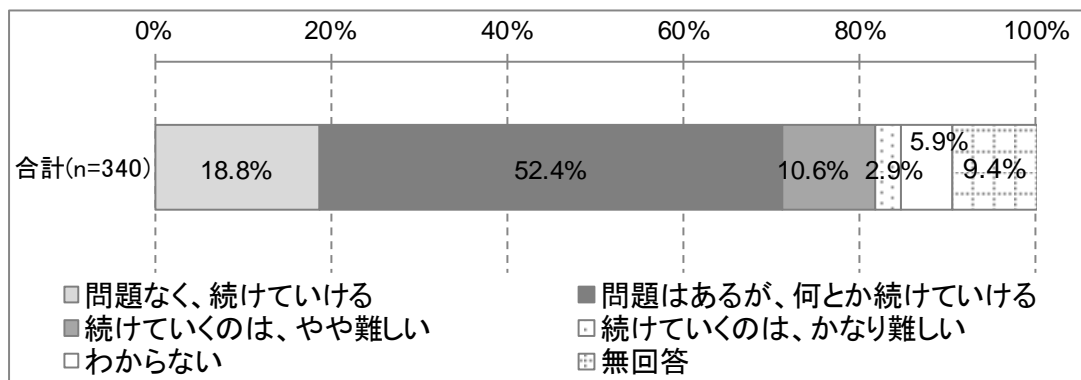
**B票問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。**

**B票問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）**

主な介護者が今後も働きながら介護を継続できるかたずねたところ、「問題はあるが、何とか続けていける」(52.4%)が最も多く、次いで「問題なく、続けている」(18.8%)、「続けていくのは、やや難しい」(10.6%)、「続けていくのは、かなり難しい」(2.9%)となっている。

この結果、今後も働きながら介護を続けていくことが『難しい』（「続けていくのは、やや難しい」＋「続けていくのは、かなり難しい」）と考える人の割合は13.5%を占めている。

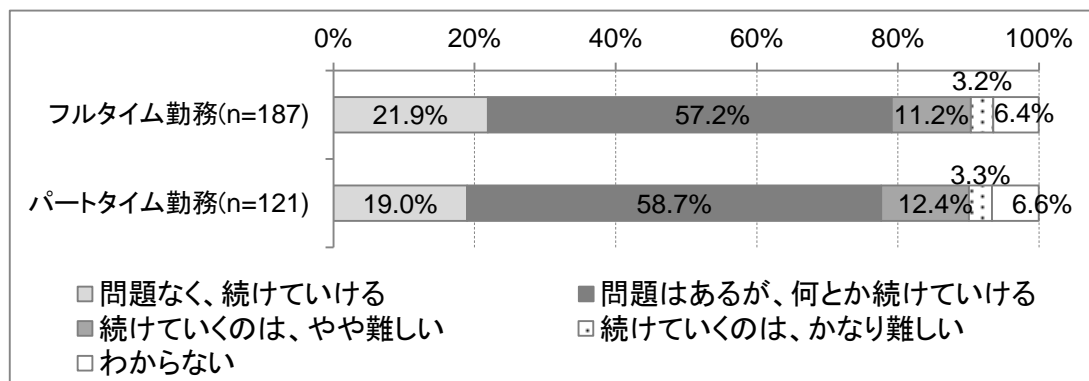
図表－35 今後の介護継続意向



## 第2章 調査結果

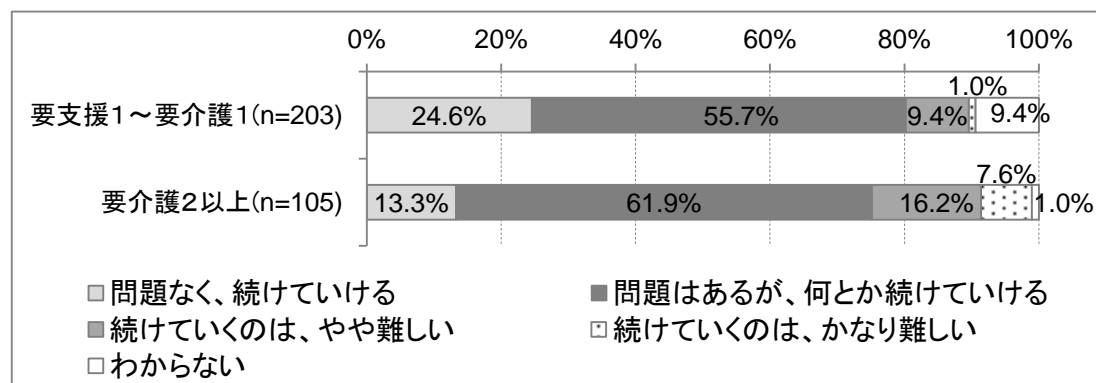
介護者の就労状況別にみると、今後の介護継続意向に差はみられず、いずれも「問題はあるが、何とか続けていける」が約6割となっている。

図表－36 介護者の就労状況別 今後の介護継続意向（％）



要介護度別にみると、重度であるほど『難しい』（「続けていくのは、やや難しい」＋「続けていくのは、かなり難しい」）と考える人の割合が高い。

図表－37 要介護度別 今後の介護継続意向【フルタイム勤務＋パートタイム勤務】（％）

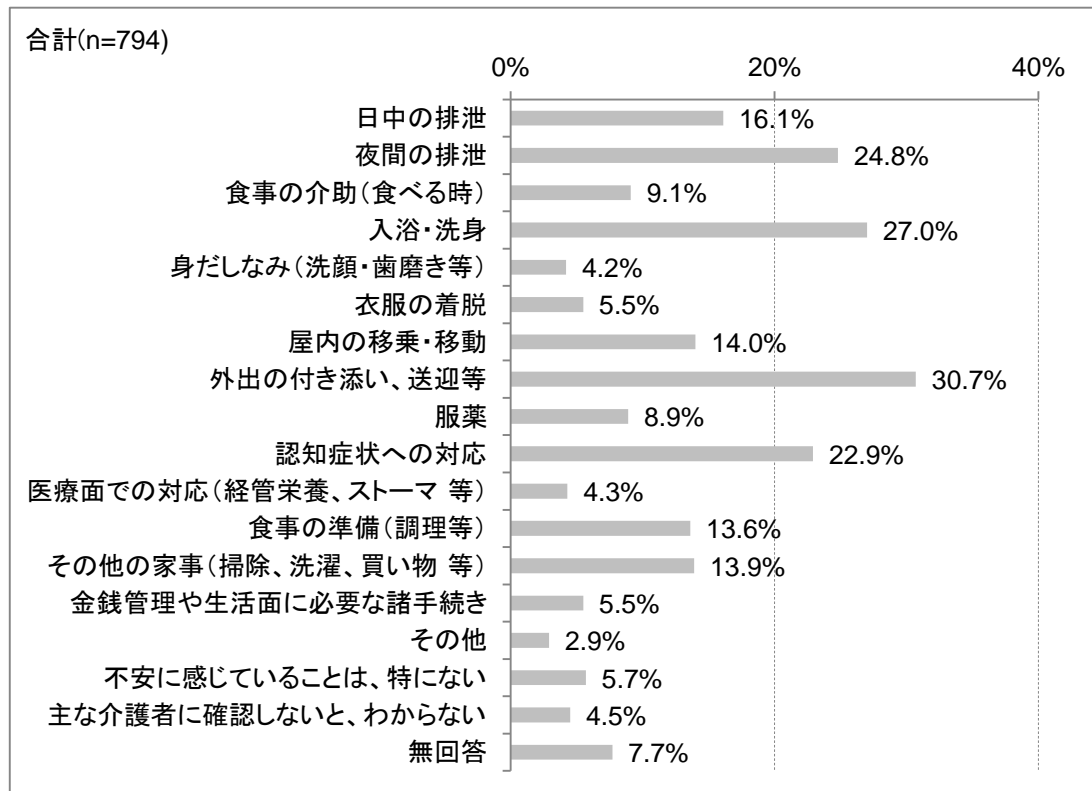


## (5) 主な介護者が不安に感じる介護

B 票問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

主な介護者が不安に感じる介護では、「外出の付き添い、送迎等」（30.7%）が最も多く、次いで「入浴・洗身」（27.0%）、「夜間の排泄」（24.8%）「認知症状への対応」（22.9%）となっている。

図表－38 主な介護者が不安に感じる介護

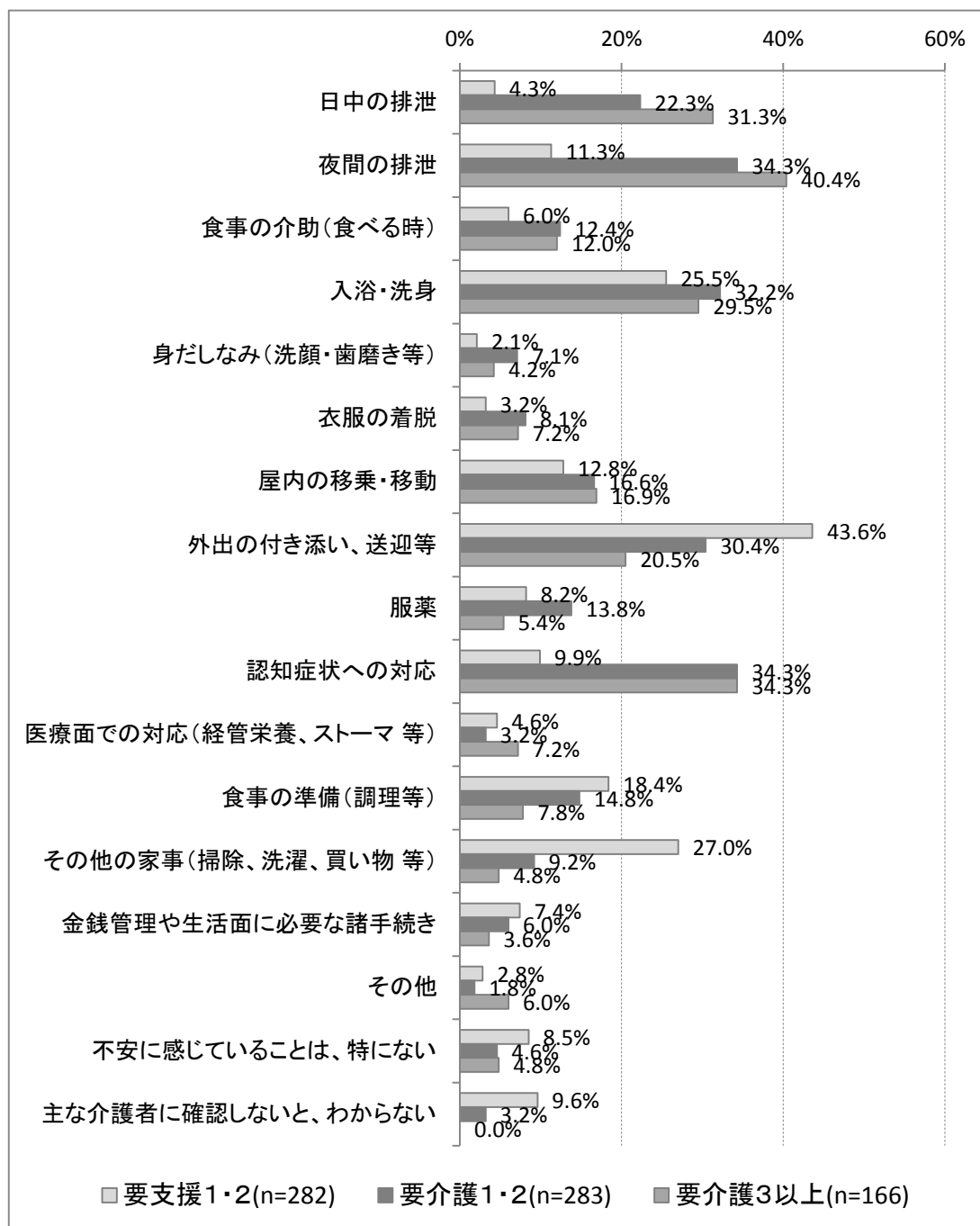




## 第2章 調査結果

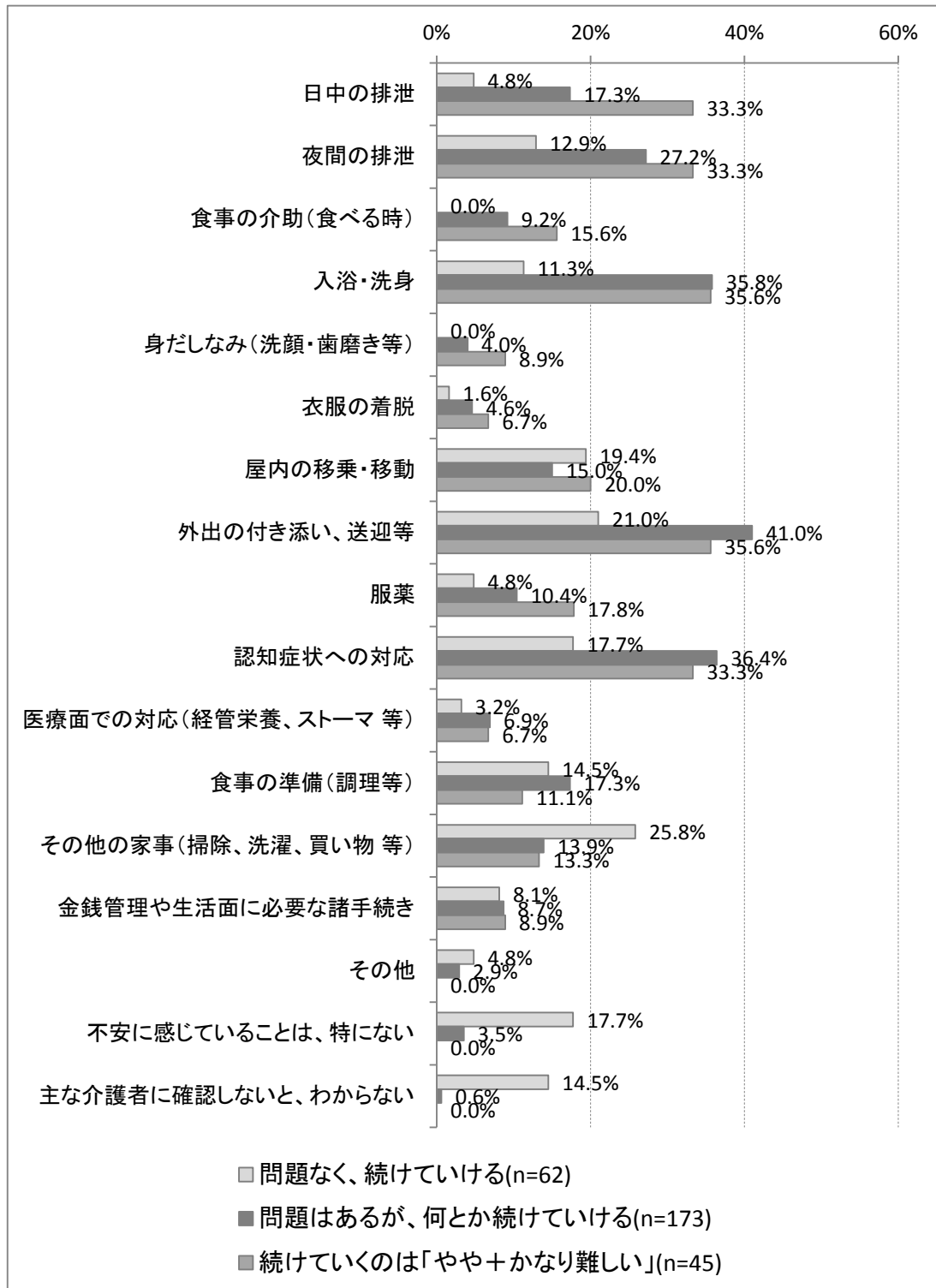
要介護度別にみると、「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備（調理等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」は要介護度が軽度であるほど、介護者が不安を感じる割合が高い。一方、「日中の排泄」「夜間の排泄」「屋内の移乗・移動」「認知症状への対応」は要介護度が重度であるほど、介護者が不安を感じる割合が高い。

図表-39 要介護度別 主な介護者が不安を感じる介護（％）



介護継続意向別にみると、「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」「衣服の着脱」「服薬」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」は、介護を続けることが難しいと考える人ほど、不安を感じる割合が高い。

図表－４０ 介護継続意向別 主な介護者が不安を感じる介護（％）



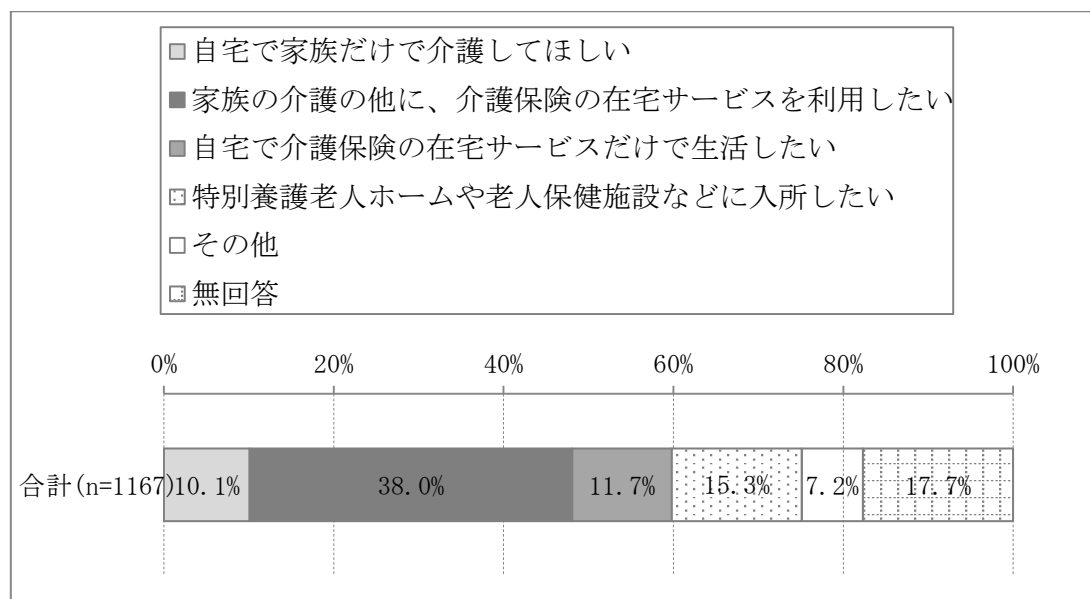
4. 市独自質問（今後の介護希望・終末期について）

(1) 今後の介護希望について

B票問6 あなたは今後どのように介護してほしいと思いますか。（1つを選択）

今後の介護希望では、「家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスを利用したい」（38.0%）が最も多く、次いで「特別養護老人ホームや老人保健施設などに入所したい」（15.3%）、「自宅で介護保険の在宅サービスだけで生活したい」（11.7%）、「自宅で家族だけで介護してほしい」（10.1%）となっており、在宅で何らかの介護を希望する人は59.8%となっている。

図表－41 今後の介護希望



要介護度別にみると、要支援者は要介護者に比べ「自宅で介護保険の在宅サービスだけで生活したい」の割合が高い。

世帯類型別にみると、単身世帯は同居世帯に比べ「自宅で介護保険の在宅サービスだけで生活したい」「特別養護老人ホームや老人保健施設などに入所したい」の割合が高い。

図表－４２ 要介護度別 世帯類型別 今後の介護希望（％）

		調査数（人）	自宅で家族だけで介護してほしい	家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスを利用したい	自宅で介護保険の在宅サービスだけで生活したい	特別養護老人ホームや老人保健施設などに入所したい	その他	無回答
全体		1167	10.1	38.0	11.7	15.3	7.2	17.7
要介護度別	要支援1	186	11.3	31.2	18.3	13.4	6.5	19.4
	要支援2	339	9.1	42.8	15.6	14.2	6.8	11.5
	要介護1	219	7.8	43.4	8.7	16.0	5.0	19.2
	要介護2	179	11.2	40.8	7.3	17.9	6.7	16.2
	要介護3	108	14.8	28.7	9.3	13.0	8.3	25.9
	要介護4	85	10.6	28.2	5.9	21.2	7.1	27.1
	要介護5	47	8.5	36.2	4.3	12.8	21.3	17.0
	無回答	4	-	25.0	-	25.0	25.0	25.0
世帯類型別	単身世帯	455	4.0	31.2	19.1	18.7	6.2	20.9
	夫婦のみ世帯	230	10.4	47.4	7.8	9.6	6.5	18.3
	その他	448	16.5	41.1	6.0	14.5	8.5	13.4
	無回答	34	5.9	26.5	11.8	20.6	8.8	26.5

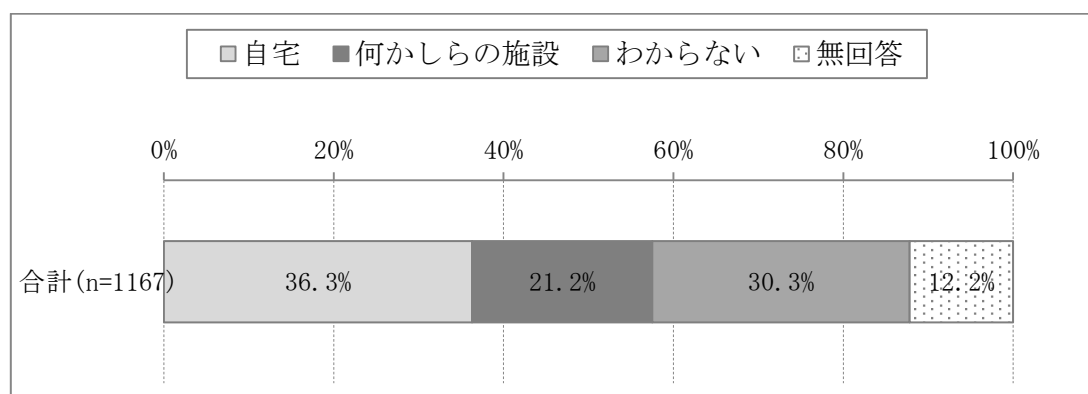
## 第2章 調査結果

### (2) 最期をどこで迎えたいか

B 票問7 あなたは、ご自分が病気などで最期を迎えたとしたら、どこで迎えたいですか  
(1つを選択)

最期をどこで迎えたいかについては、「自宅」(36.3%)が最も多く、次いで「わからない」(30.3%)、「何かしらの施設」(21.2%)となっている。

図表-43 最期をどこで迎えたいか



要介護度別にみると、「何かしらの施設」は比較的軽度の人で割合が高い。

世帯類型別にみると、単身世帯は同居世帯に比べて「何かしらの施設」の割合が高く、同居世帯は単身世帯に比べて、「自宅」の割合が高い。

図表-44 要介護度別 世帯類型別 最期をどこで迎えたいか (%)

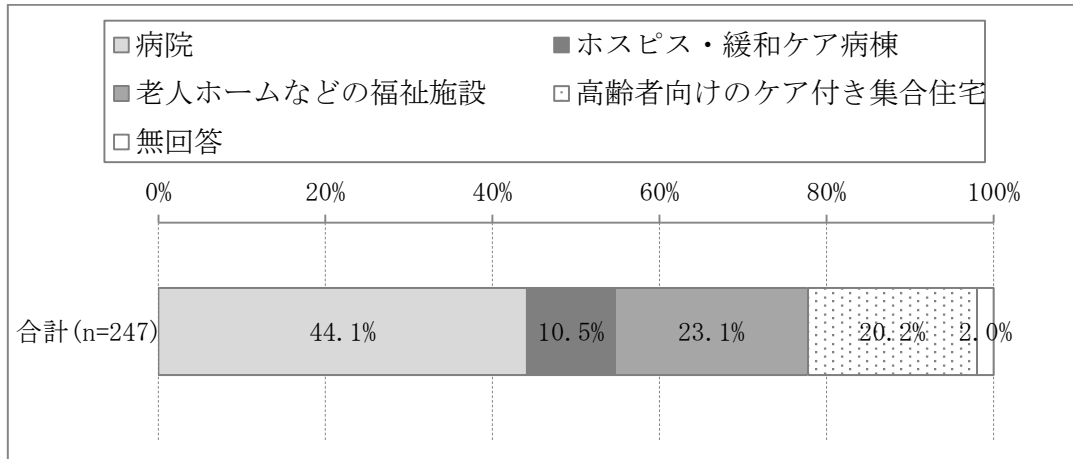
		調査数 (人)	自宅	何かしらの 施設	わからない	無回答
全体		1167	36.3	21.2	30.3	12.2
要介護 度別	要支援1	186	40.3	23.7	25.3	10.8
	要支援2	339	38.3	23.0	32.7	5.9
	要介護1	219	29.2	23.3	34.2	13.2
	要介護2	179	39.7	19.6	26.8	14.0
	要介護3	108	37.0	16.7	26.9	19.4
	要介護4	85	31.8	14.1	32.9	21.2
	要介護5	47	34.0	19.1	29.8	17.0
	無回答	4	25.0	-	50.0	25.0
世帯類 型別	単身世帯	455	28.6	24.6	33.0	13.8
	夫婦のみ世帯	230	41.7	21.3	25.7	11.3
	その他	448	42.6	17.9	29.7	9.8
	無回答	34	20.6	17.6	35.3	26.5

(3) どのような施設で最期をどこで迎えたいか

**B票問7で「2.」と回答した方にお伺いします。**  
**B票問7-2 どのような施設ですか。(1つを選択)**

施設で最期を迎えたい人が、どのような施設で迎えたいかについては、「病院」(44.1%)が最も多く、次いで「老人ホームなどの福祉施設」(23.1%)、「高齢者向けのケア付き集合住宅」(20.2%)、「ホスピス・緩和ケア病棟」(10.5%)となっている。

図表-45 どのような施設で最期を迎えたいか



世帯類型別にみると、単身世帯は同居世帯に比べ、「老人ホームなどの福祉施設」や「高齢者向けのケア付き集合住宅」の割合が高く、同居世帯は単身世帯に比べ「病院」の割合が高い。

図表-46 要介護度別 世帯類型別 どのような施設で最期をどこで迎えたいか (%)

		調査数 (人)	病院	ホスピス・緩和ケア病棟	老人ホームなどの福祉施設	高齢者向けのケア付き集合住宅	無回答
全体		247	44.1	10.5	23.1	20.2	2.0
要介護度別	要支援1	44	43.2	18.2	22.7	15.9	-
	要支援2	78	46.2	10.3	24.4	17.9	1.3
	要介護1	51	47.1	3.9	27.5	19.6	2.0
	要介護2	35	45.7	5.7	20.0	25.7	2.9
	要介護3	18	27.8	16.7	27.8	27.8	-
	要介護4	12	41.7	25.0	8.3	8.3	16.7
	要介護5	9	44.4	-	11.1	44.4	-
	無回答	-	-	-	-	-	-
世帯類型別	単身世帯	112	33.0	11.6	26.8	25.9	2.7
	夫婦のみ世帯	49	57.1	6.1	22.4	14.3	-
	その他	80	51.3	11.3	17.5	17.5	2.5
	無回答	6	50.0	16.7	33.3	-	-

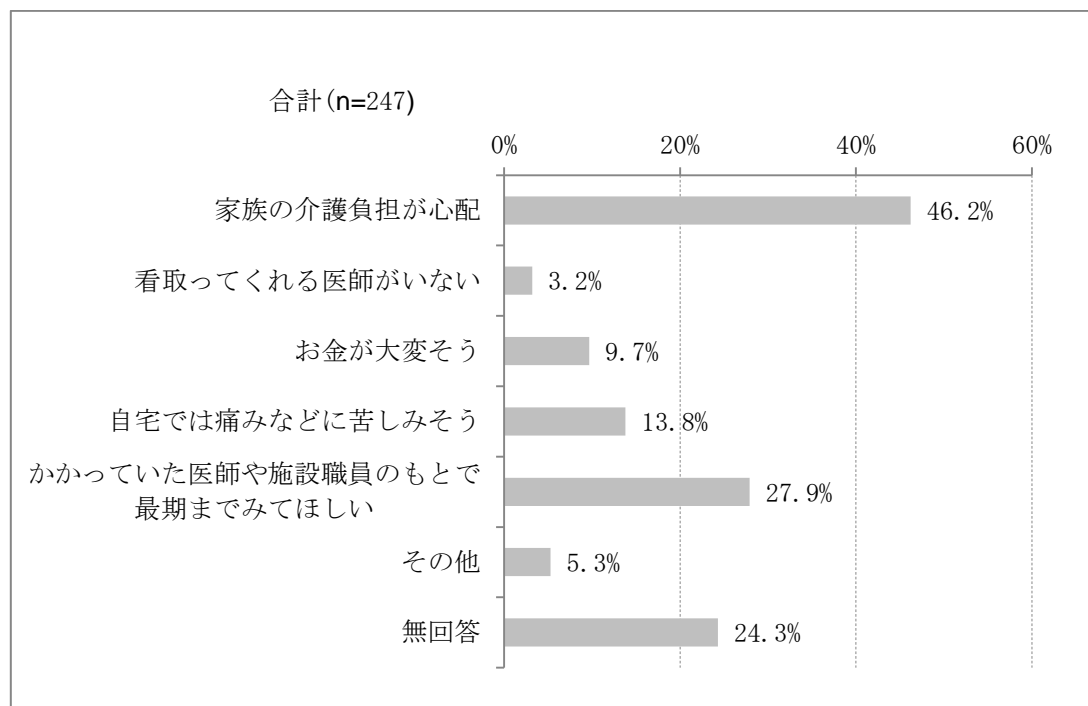
### (4) 施設を選択した理由

**B票問7で「2.」と回答した方にお伺いします。**

**B票問7-3 施設を選択した理由はなんですか。(複数選択可)**

施設で最期を迎えたい人が、施設を選択した理由については、「家族の介護負担が心配」(46.2%)が最も多く、次いで「かかっていた医師や施設職員のもとで最期までみてほしい」(27.9%)、「自宅では痛みなどに苦しみそう」(13.8%)、「お金が大変そう」(9.7%)、「看取ってくれる医師がいない」(3.2%)となっている。

図表-47 施設を選択した理由



世帯類型別にみると、単身世帯は同居世帯に比べ、「お金が大変そう」「かかっていた医師や施設職員のもとで最期までみてほしい」の割合が高く、同居世帯は単身世帯に比べ、「家族の介護負担が心配」「看取ってくれる医師がいない」「自宅では痛みなどに苦しみそう」の割合が高い。

図表－48 要介護度別 世帯類型別 施設を選択した理由（％）

		調査数（人）	配家族の介護負担が心配	が看取ってくれる医師がいない	お金が大変そう	苦しみでは痛みなどに	期施設職員のもとで最期までみてほしい	かかっていた医師や施設職員のもとで最期までみてほしい	その他	無回答
全体		247	46.2	3.2	9.7	13.8	27.9	5.3	24.3	
要介護度別	要支援1	44	31.8	6.8	9.1	15.9	29.5	4.5	27.3	
	要支援2	78	47.4	5.1	11.5	11.5	30.8	9.0	20.5	
	要介護1	51	51.0	-	2.0	11.8	25.5	2.0	27.5	
	要介護2	35	60.0	-	11.4	20.0	31.4	-	20.0	
	要介護3	18	50.0	-	11.1	16.7	22.2	5.6	27.8	
	要介護4	12	33.3	-	25.0	8.3	8.3	16.7	33.3	
	要介護5	9	33.3	11.1	11.1	11.1	33.3	-	22.2	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	
世帯類型別	単身世帯	112	40.2	0.9	10.7	9.8	28.6	7.1	25.0	
	夫婦のみ世帯	49	53.1	12.2	8.2	20.4	26.5	2.0	20.4	
	その他	80	51.3	1.3	7.5	16.3	27.5	2.5	26.3	
	無回答	6	33.3	-	33.3	-	33.3	33.3	16.7	



第3章 調査票

1. 手法I（訪問）

第7期

訪問

飯塚市在宅介護実態調査

【調査票】

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票記入後は、6月16日(金)までにご提出ください。

記入日	平成	年	月	日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。				
1. あて名のご本人が記入				
2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄 )				
3. その他				
4. 性別 ( 男性 ・ 女性 )				

飯塚市 高齢介護課 総務係

\_\_\_\_\_ 圏域

## 飯塚市在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号〔 \_\_\_\_\_ 〕

【性別： 男性 女性】

【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人       | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. 調査対象者のケアマネジャー    |
| 5. その他           |                     |

### A票 調査員が、聞き取りや把握している情報により記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

- |         |           |        |
|---------|-----------|--------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 |
|---------|-----------|--------|

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

- |                            |           |
|----------------------------|-----------|
| 1. ない                      | } 問8(裏面)へ |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない | } 問3～問13へ |
| 3. 週に1～2日ある                |           |
| 4. 週に3～4日ある                |           |
| 5. ほぼ毎日ある                  |           |

問3 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)

- |        |          |          |
|--------|----------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子     | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫   | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他   |

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代   | 3. 30代   |
| 4. 40代   | 5. 50代   | 6. 60代   |
| 7. 70代   | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)

〔身体介護〕

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄                 | 2. 夜間の排泄       |
| 3. 食事の介助(食べる時)           | 4. 入浴・洗身       |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)        | 6. 衣服の着脱       |
| 7. 屋内の移乗・移動              | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬                    | 10. 認知症状への対応   |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) |                |

〔生活援助〕

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等)       | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き |                         |

〔その他〕

- |         |           |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

- |                          |                               |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)    | 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した            | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した         |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない | 6. わからない                      |

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● ここから再び、全員に調査してください。

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)

- |                       |             |                   |
|-----------------------|-------------|-------------------|
| 1. 配食                 | 2. 調理       | 3. 掃除・洗濯          |
| 4. 買い物(宅配は含まない)       | 5. ゴミ出し     | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ  | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他               | 11. 利用していない |                   |

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

- |                       |            |                   |
|-----------------------|------------|-------------------|
| 1. 配食                 | 2. 調理      | 3. 掃除・洗濯          |
| 4. 買い物(宅配は含まない)       | 5. ゴミ出し    | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他               | 11. 特になし   |                   |

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問11 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

1. 脳血管疾患(脳卒中)
2. 心疾患(心臓病)
3. 悪性新生物(がん)
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患(透析)
6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)
7. 膠原病(関節リウマチ含む)
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病(パーキンソン病を除く)
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)
14. その他
15. なし
16. わからない

問12 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

1. 利用している
2. 利用していない

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外)介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

1. 利用している
2. 利用していない

● 問13で「2.」を回答した場合は、問14も調査してください。

問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他

● 問2で「2.」～「5.」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いしてください。

● 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人(調査対象者の方)にご回答・ご記入をお願いしてください(ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です)。

**B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目**

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

- |                       |   |         |
|-----------------------|---|---------|
| 1. フルタイムで働いている        | } | 問2～問5へ  |
| 2. パートタイムで働いている       |   |         |
| 3. 働いていない             | } | 問5(裏面)へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない |   |         |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)
5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

⇒ 皆様、裏面へお進みください

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄                 | 2. 夜間の排泄       |
| 3. 食事の介助(食べる時)           | 4. 入浴・洗身       |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)        | 6. 衣服の着脱       |
| 7. 屋内の移乗・移動              | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬                    | 10. 認知症状への対応   |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) |                |

〔生活援助〕

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等)       | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き |                         |

〔その他〕

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他                | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない |                      |

問6 あなたは、今後どのように介護してほしいと思いますか。(1つを選択)

1. 自宅で家族だけで介護してほしい
2. 自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスを利用したい
3. 自宅で介護保険の在宅サービスだけで生活したい
4. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設に入所したい
5. その他( )

問7 あなたは、ご自分が病気などで最後を迎えるとしたら、どこで迎えたいですか(1つを選択)

1. 自宅
2. 何かしらの施設
3. わからない。

問7-2 問7で「2. 」と回答した方にお伺いします。どのような施設ですか。(1つを選択)

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. 病院           | 2. ホスピス・緩和ケア病棟    |
| 3. 老人ホームなどの福祉施設 | 4. 高齢者向けのケア付き集合住宅 |

問7-3 問7で「2. 」と回答した方にお伺いします。施設を選択したい理由はなんですか。

(複数選択可)

- |                               |                   |
|-------------------------------|-------------------|
| 1. 家族の介護負担が心配                 | 2. 看取ってくれる医師がいない  |
| 3. お金が大変そう                    | 4. 自宅では痛みなどに苦しみそう |
| 5. かかっていた医師や施設職員のもとで最期までみてほしい |                   |
| 6. その他( )                     |                   |

高齢者福祉や介護保険について、ご意見・ご要望がございましたら自由にご記入ください。

回答者に○をつけてください。( 本人 家族 その他)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

## 2. 手法Ⅱ（郵送）

## 飯塚市在宅介護実態調査

## 【調査票】

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、5月31日(水)までに投函してください。

記入日	平成	年	月	日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。				
1. あて名のご本人が記入				
2. ご家族が記入				
(あて名のご本人からみた続柄)				
3. その他				

飯塚市 高齢介護課 総務係



はじめに

皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃から飯塚市の介護保険事業にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

飯塚市では、平成 29 年度に予定している高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定の基礎資料とするため、市内にお住まいの要支援・要介護認定者の方に対し、アンケート調査をお願いすることとしました。

これは「適切な在宅生活の継続のためにどのようなサービスが必要であるか」を把握するため、厚生労働省が示した調査項目・方法に準拠して実施するものです。

対象者は、平成 29 年 3 月末時点において、市内に居住する要支援・要介護認定者の方のうち、1,100 名を無作為に抽出しております。

なお、収集した個人情報は、飯塚市個人情報保護条例に基づき適正に取り扱いますことをお約束いたしますので、ご同意の上、調査にご協力くださるようお願い申し上げます。

**個人情報の取り扱いについて**

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

**【個人情報の保護および活用目的について】**

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市町村による介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市町村内で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。



問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)

〔身体介護〕

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄                 | 2. 夜間の排泄       |
| 3. 食事の介助(食べる時)           | 4. 入浴・洗身       |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)        | 6. 衣服の着脱       |
| 7. 屋内の移乗・移動              | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬                    | 10. 認知症状への対応   |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) |                |

〔生活援助〕

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等)       | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き |                         |

〔その他〕

- |         |           |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

- |                          |                               |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)    | 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した            | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した         |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない | 6. わからない                      |

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)

- |                       |             |                   |
|-----------------------|-------------|-------------------|
| 1. 配食                 | 2. 調理       | 3. 掃除・洗濯          |
| 4. 買い物(宅配は含まない)       | 5. ゴミ出し     | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ  | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他               | 11. 利用していない |                   |

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

- |                       |            |                   |
|-----------------------|------------|-------------------|
| 1. 配食                 | 2. 調理      | 3. 掃除・洗濯          |
| 4. 買い物(宅配は含まない)       | 5. ゴミ出し    | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他               | 11. 特になし   |                   |

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問11 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

1. 脳血管疾患(脳卒中)
2. 心疾患(心臓病)
3. 悪性新生物(がん)
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患(透析)
6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)
7. 膠原病(関節リウマチ含む)
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病(パーキンソン病を除く)
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障がいを伴うもの)
14. その他
15. なし
16. わからない

問12 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

1. 利用している
2. 利用していない

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外)の介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

1. 利用している
2. 利用していない

● 問13で「2.」を回答した人のお伺いします。

問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他

● 調査対象者(あて名ご本人)がご家族やご親族から介護を受けている方 ⇒ 次頁のB票へ  
(A票問2で「2」～「5」と回答された方)

● 上記以外の方 ⇒ 最終頁(高齢者福祉や介護保険についてのご意見・ご要望)へ

**B票 主に介護者について、お伺いします**

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

- |                       |   |        |
|-----------------------|---|--------|
| 1. フルタイムで働いている        | } | 問2～問5へ |
| 2. パートタイムで働いている       |   |        |
| 3. 働いていない             | } | 問5へ    |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない |   |        |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

- |                           |                            |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない  | 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実        |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり         | 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) |
| 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど) | 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供       |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置    | 8. 介護をしている従業員への経済的な支援      |
| 9. その他                    | 10. 特になし                   |
| 11. 主な介護者に確認しないと、わからない    |                            |

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける        | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい      | 4. 続けていくのは、かなり難しい   |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない |                     |

● **ここから再び、全員の方にお伺いします。**

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄                 | 2. 夜間の排泄       |
| 3. 食事の介助(食べる時)           | 4. 入浴・洗身       |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)        | 6. 衣服の着脱       |
| 7. 屋内の移乗・移動              | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬                    | 10. 認知症状への対応   |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) |                |

〔生活援助〕

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等)       | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き |                         |

〔その他〕

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他                | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない |                      |

● **ご本人様について、お伺いします。**

問6 あなたは、今後どのように介護してほしいと思いますか(1つを選択)

1. 自宅で家族だけで介護してほしい
2. 自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスを利用したい
3. 自宅で介護保険の在宅サービスだけで生活したい
4. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設に入所したい
5. その他( )

問7 あなたは、ご自分が病気などで最後を迎えるとしたら、どこで迎えたいですか(1つを選択)

1. 自宅
2. 何かしらの施設
3. わからない

問7-2 問7で「2. 」と回答した方にお伺いします。どのような施設ですか(1つを選択)

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. 病院           | 2. ホスピス・緩和ケア病棟    |
| 3. 老人ホームなどの福祉施設 | 4. 高齢者向けのケア付き集合住宅 |

問7-3 問7で「2.」と回答した方にお伺いします。施設を選択したい理由はなんですか。

(複数選択可)

- |                               |                   |
|-------------------------------|-------------------|
| 1. 家族の介護負担が心配                 | 2. 看取ってくれる医師がない   |
| 3. お金が大変そう                    | 4. 自宅では痛みなどに苦しみそう |
| 5. かかっていた医師や施設職員のもとで最期までみてほしい |                   |
| 6. その他( )                     |                   |

高齢者福祉や介護保険について、ご意見・ご要望がございましたら自由にご記入ください。

回答者に○をつけてください。( 本人 家族 その他)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

## 平成 29 年度「新しい学びプロジェクト授業研究会 in 飯塚」開催要項

### 1 目的

新しい学びプロジェクト研究協議会への参画主体として、協調学習の考えに基づいた授業実践を行い、研究の深化と成果の普及を図る。

### 2 主催

飯塚市教育委員会

### 3 共催

東京大学 CoREF

### 4 期日

平成 29 年 10 月 27 日（金）、10 月 28 日（土）

### 5 会場

(1) 10 月 27 日（金）

○ 公開授業及び分科会

- ・ 飯塚市立鯉田小学校

〒820-0001 福岡県飯塚市鯉田 1263 番地 電話：0948-22-3299

- ・ 飯塚市立飯塚小学校

〒820-0031 福岡県飯塚市西徳前 2 番 6 号 電話：0948-22-3026

- ・ 飯塚市立飯塚第一中学校

〒820-0004 福岡県飯塚市新立岩 16 番 18 号 電話：0948-22-0553

- ・ 飯塚市立小中一貫校穎田校

〒820-1112 福岡県飯塚市鹿毛馬 1667 番地 2 電話：09496-2-0126

○ 全体会及び情報交換会

- ・ のがみプレジデントホテル

〒820-0004 福岡県飯塚市新立岩 12 番 37 号 電話：0948-22-3840

(2) 10 月 28 日（土）

○ CoREF 主催の研修会

- ・ 飯塚市役所 多目的ホール

〒820-8501 福岡県飯塚市新立岩 5 番 5 号 電話：0948-22-5500



## 6 講師

### 【全体講評及び指導講話】

東京大学 CoREF 教授 白水 始

### 【授業別分科会指導助言】

東京大学 CoREF 教授 白水 始

特任助教 齊藤 萌木

特任助教 飯窪 真也

協力研究員 堀 公彦

国立九州工業大学 助教 近藤 秀樹

国立福岡教育大学 講師 森山 一昌

飯塚市立飯塚東小学校 校長 末永 喜美子

飯塚市教育委員会学校教育課 主任指導主事 吉村 浩一

## 7 参加対象者

- 新しい学びプロジェクト参加団体等の教育関係者及び教職員
- 市内小中学校の教職員
- 県内外の教職員等の参加希望者

## 8 日程・内容

### (1) 10月27日(金)【「新しい学びプロジェクト研究協議会」授業研究会】

- 公開授業・分科会 会場：各小中学校
- 全体会・情報交換会 会場：のがみプレジデントホテル

時 程	研 修 内 容
12:50 13:15	【受付】
	【公開授業】 小学校45分、中学校50分
14:05 14:20	休息
	【授業別分科会】
15:00 15:40	のがみプレジデントホテルへ移動、休息
15:50	【開会行事】 飯塚市長挨拶
	【講演】 <講師> 東京大学 CoREF 教授 白水 始 氏 演 題「協調学習で実現する新学習指導要領の理念：ICT、プログラミング、 小中一貫教育も見据えて」
16:50	【閉会行事】 飯塚市教育委員会挨拶
17:00 17:30	休息
19:30	【情報交換会】

(2) 10月28日(土)【「新しい学びプロジェクト」教科別等研修会】

○ CoREF 主催の研修会 会場：飯塚市役所多目的ホール

時 程	研 修 内 容
8:30	【受付】
9:00	【開会行事】
9:10	
	【CoREF 主催の研修会】
12:20	【閉会行事】
12:30	

## 9 公開授業

学校(会場)	学年	教科	単元・題材等	授業者	指導・助言者
飯塚市立 鯉田小学校	小2	生活	作って ためして	小出 正子	森山 一昌
	小4	理科	自然の中の水	三浦 由梨	堀 公彦
飯塚市立 飯塚小学校	小5	社会	これからの食料生産	桑岡 貴志	飯窪 真也
	小6	総合的な 学習の時間	飯塚市のよさを伝えよう ～知識構成型ジグソー法の枠組みを 活用したプログラミング学習～	森方 辰史	近藤 秀樹
飯塚市立 飯塚第一中学校	中2	数学	一次関数	齊藤 啓亮	吉村 浩一
	中3	英語	Chapter 3 Project 尊敬する人についてスピーチを しよう	松崎 綾	白水 始
飯塚市立 小中一貫校 穎田校	小5	社会	世界とつながる日本の工業	児玉 正昌	末永 喜美子
	中3	社会	グローバル化する日本経済	石川 直也	齊藤 萌木

## 10 その他

### (1) 会場へのアクセス

#### ○ 公共交通機関利用の場合

##### ア 飛行機利用の場合

##### ① 福岡空港 ⇒ 博多駅

##### ※博多駅までバス利用の場合

国内線 1F バス乗り場より、博多駅・天神行バスが運行しております。

国内線→博多駅 博多駅バスターミナル：約 15 分 260 円

##### ※博多駅まで地下鉄利用の場合

国内線旅客ターミナルビル地下の地下鉄福岡空港駅より 2 駅となっております。博多駅まで：約 5 分 260 円

##### ② 博多駅 ⇒ 新飯塚駅

※筑豊本線（福北ゆたか線）直方方面行き 約 50 分 740 円

##### ③ 新飯塚駅 ⇒ 全大会会場（のがみプレジデントホテル）

※送迎バスで駅から全体会場（ホテル）まで送ります。（要予約）また、徒歩でも 5 分の距離です。

※大きな荷物をお持ちの方は、ホテルに荷物を預けて授業会場校に向かわれてください。

##### ④ 全大会会場（のがみプレジデントホテル） ⇒ 各授業会場校

※送迎バスで送ります。

##### ⑤ 授業会場校 ⇒ 全体会場（のがみプレジデントホテル）

※送迎バスで送ります。（要予約）

※のがみプレジデントホテルから新飯塚駅までは徒歩 5 分ほどです。

※2 日目の会場（飯塚市役所）はのがみプレジデントホテルの正面です。

##### イ JR 利用の場合

※上記「飛行機利用の場合」の②以降を参照してください。

#### ○ 自家用車等利用の場合

九州自動車道 福岡 IC より約 40 分、若宮 IC より約 30 分

### (2) 情報交換会について

10 月 27 日（金）17：30 から、のがみプレジデントホテルにおいて情報交換会を予定しています。参加申込の際に出欠をお知らせください。参加費は、5,000 円です。

# 新しい学びプロジェクト授業研究会 in 飯塚

【本物志向・未来志向】 東京大学×飯塚

平成29年10月27日(金)、10月28日(土)

飯塚市の花「コスモス」

飯塚市では、21世紀を生きる子どもたちに必要な「コミュニケーション能力」「コラボレーション能力」「イノベーション能力」を育成するために、平成23年度より、東京大学 CoREF、全国の参加市町・団体の皆様と連携し、知識構成型ジグソー法による「協調学習」の授業づくりを推進してまいりました。本年度は各自治体の皆様と広く実践の交流を行い、更なる研究の深化と成果の普及を図るため、本市において授業研究会を開催する運びとなりました。皆様ご多用な折とは存じますが、何卒本授業研究会にご参加いただき、ご指導ならびにご助言くださいますようお願い申し上げます。



ジグソー活動を行う児童の様子

平成29年10月27日(金) 午後

【授業公開・分科会】 ※ 4会場 8学級で実施

会場：鯉田小学校、飯塚小学校、

飯塚第一中学校、小中一貫校穎田校

【全体会】

講演：東京大学 高大接続研究開発センター

教授 白水 始 氏

会場：のがみプレジデントホテル

平成29年10月28日(土) 午前

【CoREFによる研修会】

会場：飯塚市役所（新庁舎）

多目的ホール1・2

※27日の全体会会場および28日の研修会会場（新庁舎）は、どちらも最寄りの駅（JR新飯塚駅）より徒歩で5分ほどの場所にあります。



飯塚市役所（新庁舎）

※ JR新飯塚駅から各小中学校会場及び全体会会場への送迎バスを準備する予定です。

※ 本授業研究会の開催通知につきましては、詳細が決まり次第、後日発送いたします。

主催：飯塚市教育委員会 福岡県飯塚市新立岩5番5号 TEL：0948-22-5500（代表）

担当：学校教育課 吉村浩一 E-mail h-yoshimura33@city.iizuka.lg.jp